

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755

## 登りました！平標山

### 歩く会9月例会



〈3面に詳報〉



## 秋の夜長に日本酒を楽しむ 9月の月次会、講師は酒匠金井さん

9月月次会は『日本酒の楽しみ方・日本酒の面白さについて』という事で、去る9月22日、桐生倶楽部2階大広間において18時30分より行われました。参加人数は48名で、近年まれにみる大盛況でした。

講師は本倶楽部の社員でもある金井強さんで、群馬県内の5つの酒蔵より厳選した5種類の地酒がふるまわれました。

金井さんは株式会社金井屋の代表取締役であり、酒匠（さかしょう）の資格取得者です。酒匠とは日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会が認定している日本酒の資格のことで、同じく日本酒の資格である「唎酒師（ききざけし）」の上位資格であり、難易度は高く唎酒師に比べると約100分の1の人数しかいません。

そんな金井さんが厳選したお酒ですので、参加の皆さんはたいへんおいしく日本酒を楽しむこと

が出来ました。また、酒のつまみであるお惣菜、その後のお蕎麦も大変好評で、社員の皆様に秋の夜長を楽しんでいただきました。（酒井豊 記）



## 東京文化財研所長 桐生倶楽部を視察

大川美術館の田中淳館長が新任挨拶で阿部前理事長を訪ねた時、偶々「桐生倶楽部を重要文化財にしたい」という話になったそうだ。実は、田中氏が東京文化財研究所所長の亀井伸雄氏に大川美術館館長になる話をした際、「桐生には桐生倶楽部というすごい建物がある、という話題になり、亀井所長が桐生に来られる時に、桐生倶楽部を是非見て頂きたい、という事になった」と阿部前理事長からお話があった。

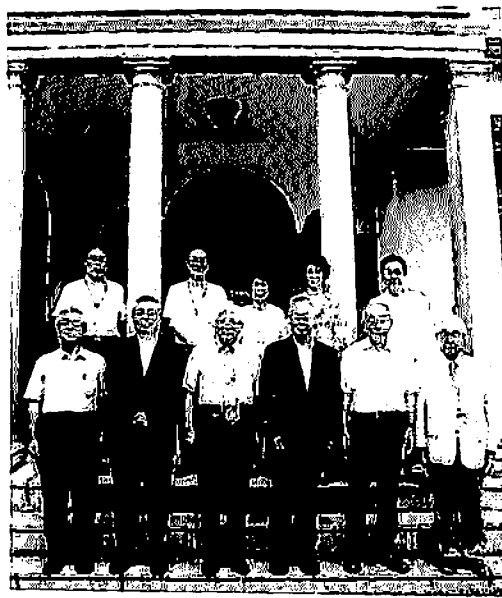
東京文化財研究所（独立行政法人/上野公園内）は画家の黒田清輝（1866-1924）が私財を残して研究所を作るよう遺言して出来たもので、主に絵画の文化財研究を行っている。所長の亀井伸雄氏は文化庁文化財指定の仕事をしており、近代建築の権威でもある。8月31日、亀井（写真中央）、田中の両氏が倶楽部を訪ねた際、森理事長、前原副理事長、佐藤理事、村田（豊）理事、担当として特別委員会の大西委員長、彦部副委員長、井置委員、管理の永井さんで出迎え、対応した。

この日は桐生市教育委員会文化財保護課において無理に1時間の予定を取って頂いたが、そ



の内40分程は両氏に桐生倶楽部会館建物の内外を真剣に見て頂いた。その姿から、難しい状況にあると思っていた「重要文化財についての見通し」が少し明るくなった。

その後、大川美術館田中館長を通じて重要文化財への道を探りたいと考え、教育委員会文化財保護課と高橋教育長を訪問した所、「百周年」に向かっの最後のチャンスとして、一体で取り組むことになった。（大西康之 記）



### = 倶楽部だより =

#### 【8月】

- ・理事会 (7日)
- ・正副理事長会議 (25日)

#### 【9月】

- ・正副理事長会議 (6日)  
(顧問・百年史纂副委員長・会計理事参加)
- ・歩く会例会「谷川岳 平標山」 (10日)
- ・理事会 (11日)
- ・旅行部会 (12日)
- ・歩く会世話人会 (14日)
- ・ぶらりまち歩き部会 (15日)
- ・歴史探訪部会 (16日)
- ・月次会「日本酒の楽しみ方」 (22日)

【返社社員】 森島 純男 上林 貞一

一般社団法人 桐生倶楽部 第221号  
2017年(平成29年) 10月発行  
発行人 森 壽作  
編集責任者 前原 勝良  
印刷 刷 ツボノ印刷株式会社

# 9月晴れに精鋭7人 平標山

9月例会は、9月10日(日)に谷川岳の前衛峰「平標山」を登山しました。

参加者は、7名と精鋭メンバーになりました。AM5時30分予定通り、小型バスで桐生倶楽部を出発し途中高速を使い、赤城高原SAで休憩し、湯沢インターから戻るような形で国道17号を南下して、7時35分に登山口駐車場に着きました。天気はこの何ヶ月もなかった素晴らしい晴天に恵まれ、気持ち良く頂上を目指し出発しました。

直後から急登が続き、一時間足らずで、歩調が合わなくなり、ここで二班に別れ、一班は松手山を目指すことにしました。途中3度ほど休憩を取りながら、また苗場スキー場方面の景色を楽しみながら、ひたすら下を見ながら頂上を目指し、11時20分に到着しました。途中までは素晴らしい快晴でしたが、着くと同時くらいにガスってきて視界が「ゼロ」になり非常に残念でした。頂上には流石に有名な山なので、30名近くの方が三五々楽しそうに昼食を取っていました。

我々もここで食事を取り、11時50分に出発し、登りとは逆の急な木道階段を、ひざを気にし

ながら下山しました。「平標山の家」でひきたてのコーヒーを、雄大な熊笹や草紅葉を眺めながら、ゆったりした気分で美味しく頂きました。思い出に残る一瞬でした。そこからしばらくは急な下りを降り、林道を一時間ほど歩いて、登山口駐車場に、2時40分に着きました。松手山グループもうまい具合にほどなく着き、2時45分に出発することが出来ました。

帰りのバスの中で、珍しく今回の反省を個々にすることとなり、皆が思い思いの感想を気兼ねなく語り合い、究極は皆が安心・安全に戻れるのが一番だと言う結論になり、皆で納得しました。そしてまた、歩く会に参加しようとなりました。

桐生倶楽部には予定よりも早い、PM5時15分に着きました。

今回は大変な山行でしたが、終わってみれば楽しい充実した山行でした。

バスの運転手の小幡様安全運転有難うございました。そして参加者の皆様本当にお疲れ様でした。

(腰塚 記)



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755

## 名演奏、歌唱を楽しむ



月次会報告(11月)

### 恒例の蓄音機コンサート

第5回目の蓄音機コンサートが11月26日に大広間で開かれた。月次会としては第3回、30名弱の来場者で残念であったが、催事自身は充実していた。

第1部はソプラノ集で、20世紀の名演奏の古盤ばかりであった。ベルディに愛されたというパ

ッティのものや、幻の世界的歌手クル子の曲芸師的な歌唱による「やさしい雲雀」など8曲。その激しさや切れのよさは、すぐそばで歌っているかのような迫りを感じた。

第2部はクリスマス・ソング数盤で締めくくられた。(佐藤 記)

## 「自称、桐生応援団」元朝日新聞支局長 大道裕宣氏が講演



### 月次会報告(10月)

10月月次会は17日、桐生倶楽部二階大広間に於いて一般公開講座として行われました。講師の元朝日新聞社桐生支局長の大道裕宣氏は記者として日本各地を回られ9年前に桐生の地に赴任されました。昨年朝日新聞社を退職し、今までの経験を生かし何か桐生の役に立ちたいとLaboratoryを立ち上げ現在も桐生菱町地内に住居を置いております。

今回のお話では出身地の九州大牟田市での生い立ちから、新聞社に入社してからの全国各地を回る中でいろいろな街のことや、人々との交流のお話など多岐にわたり聞くことができました。特に経済部の担当者の頃は日本有数な大企業の社長や幹部との仕事を越えた交流のお話に皆聞き入っていたようです。

桐生を知るきっかけは、本町三丁目祇園祭においてもっと祇園祭の成り立ちや歴史を広く知っていただく、後世に残していこうと本町三丁目自治会から冊子の依頼を受け、物を書く自分の能力が生かせるのであればと、私たちの宝「翁鈴」——本町三丁目「祇園祭」の執筆をしたことからだそうです。

どこの街でも祭りも多く存在します。その祭りの継承や存続など様々な問題を抱え地域の方々は皆苦労しています。我が桐生の本町三丁目の人たちも多分に同様問題は蓄積されておりました。

でも桐生は他の地域の方と違いました。執筆を始めるにあたり桐生や本町三丁目の歴史などの文

献を調べたり、自治会の方々からのインタビューする中で街を愛し、祭りをこよなく愛する気持ち、先人たちの思いを後世に残したいことなどが強く伝わり、何か桐生気質に触れたような思いが書く者として真剣に取り組みました。

「今回の執筆作業では桐生のほんの一部を知ることができましたが、もっと桐生を知り本当の桐生応援団になればと思っています、今後私にも応援をおねがいたします。」と締めくくりました。  
(参加者29人 小林康人記)

### 秋季囲碁大会結果

秋季囲碁大会は10月14日、参加者6名の総当たりリーグ戦で行われました。結果は次の通りです。

▽優勝=井上孝之 ▽2位=福永儀一 ▽第3位=岸田信克

### 秋のゴルフコンペ結果

平成29年度秋のゴルフコンペは晴天の中、絶好のゴルフ日和に恵まれました。

すがすがしいシーズンのため、ゴルフ場が大変混雑していて、なかなか予約の取れない状況でありましたが、幸い参加者が19名と、過去最高を記録して、コンペ及び懇親会が盛大に開催できました事は、会員皆様の協力の賜物と思っております。

来年度、倶楽部100周年という記念の年と聞いております。何かゴルフ部でもできることが無いかと、現在思いをめぐらせているところです。ぜひ来年も、引き続き大勢の方の参加を頂き、大いに盛り上げたいと思いますので、参加のほど宜しくお願いします。  
(森田 記)

▽優勝=津久井貞澄 ▽準優勝=長尾洋子  
▽第3位=森田良徳 ▽ベストグロ=朝倉富美夫



# 秋の山歩きを満喫 歩く会例会 10月11日



## 紅葉の安達太良山

10月の例会は1日福島県にある日本百名山の安達太良山登山です。

朝5時まだ暗い中参加者13名、バスで桐生倶楽部を出発。2度サービスエリアで休憩し、8時30分奥岳温泉駐車場に到着。

雲一つない最高の登山日和になり、早くもロープウェイの乗り口は長蛇の列ができていました。安達太良山は紅葉の山として有名で、例年よりも早く紅葉が進んでいて、頂上付近は見頃を迎えている様子、皆さん期待が高まります。ロープウェイを降り、9時15分大勢の登山者の列に入り薬師岳を出発。整備された木道を歩くが、途中から徐々に傾斜をまし、歩きづらいガレた道となる。混雑と悪路の為時間がかかってしまったが、やがて前方に乳首山と呼ばれる山頂部の岩峰が大きく迫ってくる。

11時15分直下の岩場を登り1,700mの頂上に立つと、遮るものない360度の眺めが広がります。東北の山々が美しく、胸のすく様な山岳風景を楽しめました。

昼食後11時55分に下山開始。下りはルートを変えて、くろがね小屋経由でロープウェイを使わずに奥岳温泉に戻ります。ここから牛の背までの西側は今までの景色とは一変し、三方を岩壁に取り囲まれ月面のクレーターを彷彿させる火口底の沼の平がはるか下に見えます。登りの紅葉とこの荒涼とした風景の対比がとても強烈で、安達太良山を我々に強く印象付けました。

(栗原 記)

## 十二山経由で根本山

11月例会は、11月5日(日)に地元梅田町の根本山に登りました。

参加者は9名の予定でしたが、当日風邪等で体調を崩し2名が欠席になり、7名となりました。今回は事前に下見し、難所のある沢コースとは別のルートを選択しました。

AM7:00に2台の乗用車に分乗して、快晴の中桐生倶楽部を出発。皆沢～飛駒を経て、佐野市作原町にある、蓮山ログビレッジで休憩を取り、きれいに舗装されている急峻な林道を、紅葉盛りの景色を見ながら、40分位走り、標高1100m位にある、作原・沢入線の峠駐車場に着きました。

AM8:40に準備を整えて山に入りました。入ると、この辺は紅葉もすでに終り足元の登山道は、10～20cm落ち葉が積もっていて時々道が判らなくなるぐらいでした。少し肌寒く、高低差はほとんど感じられませんが、谷川側は相当急傾斜の道を、90分で、標高1199mの根本山山頂に到着しました。少し休憩し、十二山経由して、熊鷹山には、AM11:10に着きました。ここで昼食をとり、赤城山・男体山・冠雪の日光白根山等を快晴のなか見渡しました。

AM11:55に出発し、もと来た道を戻りました。下山には同行のおる君(年長5才)がいたので、安全を考えて、手をつないで降りることにしました。

駐車場には、PM1:00に到着。PM3:55に桐生倶楽部にほぼ予定どおり着きました。今回は会員のことを考えて比較的楽な山行でしたが、いかがでしたか?でも、やはり、お疲れ様でしたかね。  
(腰塚 記)



# 彦部家住宅で初例会 歴史探訪部会が活動開始



今夏、新部会が5件増設された中での“歴史探訪部会”。初例会は、京都から来桐されて450年になる国の重要文化財“彦部家住宅”に決めさせて頂きました。

丁度、幸運なことに11月23日は、彦部家恒例の「紅葉狩りウィーク」の期間にあたり、当日は“箕輪城の甲冑披露”また、幻想的なアルパ演奏の行事。期間限定の彦部家伝統の銀杏ごはん、けんちん汁の昼食、雨上がりの鮮やかな邸内の紅葉の木々、参加者20名も大感激!!

本題の彦部氏による会議室での彦部家1300年の歴史の話も、非常に簡単な大筋ではありませんでしたが、平安時代の紫式部、清少納言等、藤原氏迄さかのぼり興味はつきないものがありました。又、心から実感したのは、広大な敷地と重文の建物を民間の人が維持管理し、つないでゆく情熱も並大抵なことではないと痛感しました。

今回、彦部氏には大変お世話になりました。午前10時半から午後2時半迄の4時間、流れるようなスケジュールで見事でした。有難うございました。  
(部会長 田中 一枝 記)

## ＝ 倶楽部だより ＝

### 【10月】

- ・歩く会例会「安遠太良山」 (1日)
- ・行事・交流委員会 (5日)
- ・歩く会世話人会 (5日)
- ・理事会 (10日)
- ・秋季囲碁大会 (14日)
- ・月次会「自称、桐生応援団」 (17日)
- ・重要文化財特別委員会 (19日)
- ・長期修繕計画等検討準備会 (23日)

### 【11月】

- ・秋のゴルフコンペ (4日)
- ・歩く会例会「根本山」 (5日)
- ・歩く会世話人会 (9日)
- ・理事会 (13日)
- ・旅行部会 (21日)
- ・歴史探訪部会「彦部家住宅」 (23日)
- ・月次会「蓄音機コンサート」 (26日)
- ・創立100周年記念事業 総務部会 (27日)

一般社団法人 桐生倶楽部 第222号  
2017年(平成29年) 12月発行  
発行人 森 壽作  
編集責任者 前原勝良  
印刷 ツボノ印刷株式会社



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755

## 創立100周年・新たな船出 記念式典は10月27日



### 新年互礼会・森理事長語る

平成30年度桐生倶楽部新年互礼会が1月4日に開催されました。

昨年2月に新理事長に就任した森理事長は年頭の挨拶のなかで、「創立100周年を迎える今年、記念行事に向けて各部会で動き始めています、社員全員の参加・協力をお願いしたい。また創立記念式典を10月27日に開催する」と話された。

続いて歴史的、文化的価値のある桐生倶楽部建物の保存活動を永続的に進めるに当たり、「長期修繕計画委員会により建物の管理、修繕を効率的に行い、それと同時に桐生倶楽部の力の源である社員増強を図り、また月次会や趣味の会を通じて社員相互の交流を図りたい」と抱負を述べた。

(栗原 記)

# われら!ぶらりまち歩き部会



## まずは七福神めぐりから

ぶらりまち歩き・桐生七福神めぐり・そのⅠ

新設された「ぶらりまち歩き部会」の活動を実施いたしました。

最初の記念すべき活動であることから目出度く始めたいと考えてコースを「桐生七福神めぐり」とし、実施に当ってはコースを二分割にして29年12月に三寺3福神を、30年1月に四寺4福神を巡り「桐生七福神めぐり」を完歩することにしました。

12月3日(日)記念すべき初活動日。午後1時参加者13人、鳳仙寺(毘沙門天)本堂に集合。

参加者で担当理事でもある坪井住職の鳳仙寺の説明と堂宇見学・押印をしてぶらりと出発。2番目は西方寺(布袋尊)をお参り・押印して途中の梅原館跡を見学して3番目の久昌寺(恵比寿神)をお参り・押印の後鳳仙寺へ戻り予定通り午後3時解散。

このたった2時間の短い時間のぶらりでしたが桐生六郎(桐生氏)の居館であったといわれる「梅原館跡」、桐生氏菩提寺の「西方寺」、桐生氏を滅ぼした由良成繁公菩提寺の「鳳仙寺」、鳳仙寺の末寺の「久昌寺」、又根本山信仰の丁石と、普段、自動車では通り過ぎてしまう桐生史跡それぞれの歴史に想い感じるぶらりであったと思います。「聞いていたけど来たのは初めて」と云う声もありましたが、見過ごされていた所に立ち止まっただけのことでとても新鮮味があった「ぶらりまち歩き」と思います。

「後ろから車があるよ」、「ここ見てください」と声掛けがあったりと安全に楽しく歩けたことに感謝いたします。ありがとうございました。

(新井 記)

## 吾妻山で初顔合わせ 歩く会 新春恒例



晴天微風の好天に恵まれた1月14日、9時30分に吾妻公園駐車場に集合した12名の参加者。初参加の森理事長のご挨拶と簡単な行程説明の後、記念写真を撮ってから、ゆっくりと各人のペースで登山を開始。都合により3名の方は途中で一行と別れ下山。

写真

10時40分前後に9名全員頂上に到着。頂上には沢山のグループや登山者で一杯でした。

くっきりと浮かぶ富士山や、見えるか見えないか微妙な東京スカイツリーを眺め、記念写真を撮った後下山開始。下山ルートは鳴神山に続く急な段階状の道を下り、女吾妻山を経由後、上り下りを繰り返したのち村松沢の分岐を下って昼食会場にはほぼ12時30分頃に到着。参加者10名のミニ新年会の後解散。天候にも恵まれ楽しい初登山でした。

今年も“歩く会の行事”に多数の方の参加をお待ちしております。

(吉田 記)

## 大國魂神社を散策 2017年最後の歩く会

2017年最後の“歩く会”は東京府中市大國魂神社他を散策した。小型バスにて7:00 桐生倶楽部を出発、9:20 最初の訪問地「大國魂神社」へ到着。日本書紀には「景行天皇41年(西暦111年)の創建」と書かれているが、科学的には怪しい。祭神は出雲大社の大国主で、由緒があることだけは確かである。

「府中」には律令時代(奈良・平安)、国の出

先役所があって武蔵国の政治・文化・経済の中心地だったそうだ。この日は“友引”で遅めの七五三祝客や結婚式などで境内は賑わっていた。参加者全員で記念写真の後、本殿参拝、境内散策の他、宝物館で日本一大きいという太鼓(直径約2.5m、重量約2.5t)や御輿、重要文化財の数々を見学した。

中でも参加者の眼を引いたのは、16世紀末桐生新町の造営を行った大野八右衛門がこの神社に寄贈した“御蛇丸”と名付けられた大太刀(長さ145センチ)である。詳細が平成25年10月25日付桐生タイムスに掲載されており、この宝刀が桐生に貸し出されて展示され、その時見た人が大勢いたとのこと。

二番目の訪問地は「府中市郷土の森博物館」、明治時代の古い建物を移築・配した武蔵野を偲ぶ広大な庭園である。広辞苑によれば「埼玉県川越以南、東京都府中までの間に広がる地域を武蔵野という」そうで、この庭園で昼食、散策など晩秋の趣きを楽しんだ。

最後の訪問地は隣町・調布市の「武者小路実篤記念館」。武者小路実篤(1885-1976)は雑誌『白樺』を創刊、一貫して人生の讚美・人間愛を語り続けた。実篤が昭和30年~51年迄、晩年の20年間を過ごした邸宅(現・実篤公園)に隣接して記念館がある。当日は企画展「武者小路実篤と民藝」をやっている、浜田庄司など民芸運動に参加した作家の作品、白樺同人で民芸運動の提唱者・柳宗悦の収集品が展示されていた。

18:00全員無事に倶楽部帰着、忙中閑あり、楽しい晩秋のバス旅行であった。

(村田 記)



盛大にクリスマス祭  
食事やショーを楽しむ



桐生倶楽部恒例のクリスマス祭とパーティーが  
12月9日に開催され、子供19人を含む81人が参加



ようこそ倶楽部へ  
＝ 新入社員紹介 ＝ (敬称略)



した。

クリスマス祭では静かな雰囲気の中、聖歌の斉唱を挟んで森壽壽長による聖書朗読があった。つづくパーティーは、新山泰規さんによるトランペットのミニコンサートから始まり、食事を楽しみながらの社員間の談笑、マジックショーやサンタクロースのプレゼント、福引きなどで大人・子供ともに大いに盛り上がった。(村田勝俊 記)

＝ 倶楽部だより ＝

【12月】

- ・ぶらりまち歩き部会「桐生七福神めぐりI」 (3日)
- ・役員特別懇談会 (6日)
- ・クリスマス祭 (9日)
- ・歩く会例会「東京文化探訪」 (10日)
- ・理事会 (11日)
- ・歩く会世話人会 (14日)
- ・写真部会 (20日)
- ・長期修繕計画委員会 (21日)
- ・美術部会「東京美術鑑賞会」 (26日)
- ・互礼会準備 (28日)

【1月】

- ・新年互礼会 (4日)
- ・理事会 (9日)
- ・歩く会例会「吾妻山」 (14日)
- ・歩く会世話人会 (18日)
- ・長期修繕計画委員会 (25日)
- ・創立100周年記念事業 総務部会 (26日)
- ・ぶらりまち歩き部会「桐生七福神めぐりII」 (28日)

一般社団法人 桐生倶楽部 第223号  
2018年(平成30年) 2月発行  
発行人 森 壽 作  
編集責任者 前原 勝 良  
印 刷 ツボノ印刷株式会社

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755

## 100周年にぜひ協力を

森理事長 「桐生に貢献したい」



### 事業計画と予算を承認

平成30年度 定時社員総会

桐生倶楽部の平成30年度の定時社員総会は、2月27日に開催され、今年度の事業報告と決算報告、並びに新年度の事業計画案と予算案が承認された。

総会の冒頭あいさつに立った森理事長は、「今年度は創立100周年の節目の年、10月27日の記念式典・記念事業に向けて、坪井実行委員長を中心として準備が進められています。社員みなさまの

参加協力をお願いします」と呼びかけ「桐生倶楽部の力の源は社員であり、100周年を迎えるに相応しい社員増強のために、社員の協力は不可欠」と訴えた。

また森理事長は、引き続いての卓話で「郷土の発展はやがて自己の発展である」という強い信条の下に倶楽部の創設期を指導した曾祖父森宗久にふれ、「倶楽部ならではの活動を通して桐生に貢献したい。みんなで頑張りましょう」と語りかけた。  
(記 岸田)

## 元気で長生きを！

3月の月次会

## 北川医師が健診検診の話



人生100年と言われている昨今、どうしたら寝たきりである期間を最小限にする事が出来るか、人間として尊厳を保てる期間を長くする事が出来るか！今の私達にとって最大の課題です。今回の月次会は、桐生市医師会公衆衛生担当理事の北川泰久医師をお招きして、健診・検診の重要性についてお話を頂きました。

日本の保険会社でも健診・検診を毎年されている人には、保険料を割引くと言う新型保険も登場しました。運動をしたり、禁煙、野菜を多く摂取したりして生活習慣を見直す事。加えて「ガン検

診」をし、早期発見、早期治療をめざす事が必要とされています。

私事ですが、数年前に左足のひざ横上にこぶの様な物が出来、これは何だろうと思っておりましたが、仕事が忙しいのを言い訳に通院を怠っていました。痛くも痒くもなかったので放っておいたのです。がある時、それが急に6センチ位の大きさになり、慌てて病院に飛び込みました。レントゲンとMRI診断の結果、一部にガンが発見されたのです。一刻も早く切除しようとの医師の言葉！数年間、放っておいたつけが回って来ました。

早く受診をしていたら良性腫瘍ですんでいたのに……ありがたい事にその部分を手術で切除し、抗ガン剤も飲まず、放射線もあてず、現在3年半経過しました。この時程、早期発見の重要性を感じた事はありませんでした。

ところで、桐生、みどり市の住民の健診・検診の受診率は極めて低く、このままの状態が続くと近い将来高齢化に加えて、寝たきりの人を多く抱える事態になり兼ねません。自分達の事、地域住民の事は、皆で意識改革する必要があると深く実感しました。今回の月次会は健康寿命の延伸について、とても参考になるお話でした。皆様、自分の健康は自分で守りましょう。（記 高梨）



## 行道山 浄因寺から織姫神社 歩く会

2月の歩く会は「足利行道山 浄因寺から織姫神社」へのハイキングコースで、多くのガイドブックに取り上げられている人気の初心者コースです。今回の例会には、桐信さんから6名の参加をいただき、総勢16名のメンバーとなった。

桐生駅7時55分発のJR電車に乗り、足利へ。乗りつけない車窓からの眺めは新鮮で、修学旅行の時代を思い起こさせてくれます。華やいだ空気に浸っていると、気がつくと足利に到着。そこでタクシーを拾い、浄因寺へ。8時40分、浄因寺を

出発。稜線までは石段の急登が続く。途中、かわいい寝釈迦の石像のある涅槃台からうっすら筑波山を望む。その後は、一気に稜線まで歩く。

稜線へ出ると、そこは今までとは違い、寒風吹きすさぶ冬山。南に数分行くと、441.7mの石尊山山頂見晴台に着く。ここからは足利市街の風景がよく望める。

尾根沿いに縦走路を進んでいくと行道山・大岩山・両崖山を過ぎ、織姫神社の駐車場が目の前に広がった。

目指す織姫神社に全員1時前に到着。早めの到着なので、後の時間は個々に楽しんでもらうこととし、解散となったが、新緑の穏やかな頃にもう一度、来てみたいと思わせる山行となった。

(記 岸田)

## 歩く会、茶臼山へ



3月の桐生倶楽部歩く会は、渡良瀬川の南に位置し、笠懸から桐生・太田に連なる八王子丘陵の盟主である茶臼山ハイキングです。

定刻8時、5分前に6人全員揃い、桐生倶楽部を出発、登山口の初山峠に8時20分到着。急な階段で高度を稼ぐとほどなく、藪塚の町が良く見える展望台に到着。登山路の両側はイノシシがいるらしく、あちこちで土が掘り起こされていた。気持の良い緩やかな道を進むと、視界が開け、笠懸の町が目の前に広がった。

鞍部を過ぎ、こう配がきつくなった先に電波塔のある山頂が見えてきた。山頂目前に一本の河津桜が、花いっぱいつけて我々一行を暖かく迎えてくれた。そこから数段階段を上ると山頂だ。

360度パノラマの大展望台だ。

桐生の町は言うに及ばず、雪を頂いている山々もかすんで見える。帰路は往路をまっすぐ降りた。駐車場の隣が、南公園で梅祭りの最終日にあたるということで、梅祭りを見ることにした。

梅林は紅白梅が見ごろを迎え、大勢の人で賑わっていた。会場の片隅に樹徳高校の茶道部の生徒さんたちが、お茶のお点前をしていたので、立ち寄っておいしいお茶を一杯いただいた。倶楽部到着11時40分。短時間ではあるが、中身の濃いハイキングであった。(記 岸田)

## 大間々でぶらりまち歩き

「5番、舞踊・高梨静江」のアナウンサー、あれ~と思って舞台に目を向けると舞台中央で歌に合わせて踊り始めているのは、そうです社員の高梨静江さんその人でした。

「芝居小屋ながめ」の舞台は「美藤会・踊りと歌」の発表会の日で、まさにぶらりまち歩きの前定外の出会い(遠くから観る)というハプニングの思いがけない素晴らしい事でした。

わ鉄大間々駅でみどり市観光ガイド(無料)と待ち合わせて、予定のながめに向かい、道々の話からまず神明宮を参拝してから、ながめ余興場に向かい高梨さんの舞台に出会ったがこれは神明宮に立ち寄ったからこそ丁度観られたもの、また、予定の「常夜灯(五丁目)」に向かう途中で「長澤薬師」に足を止める予定外も「ぶらりまち歩き」そのものです。

岡直三郎商店の醤油蔵見学、常夜灯(四丁目)、登録有形文化財の新国商店、コノドント館見学、蔵屋敷(コメヤ本店、野口材木)常夜灯(三丁目)と予定通り大間々の三丁目、四丁目の本通りと裏道を歩き、醤油醸造樽の大きいことや酵母菌・醤油味のソフトクリーム、三方よしの井戸、銭湯、蔵屋敷が大きいまま残っていること等に感激したり驚いたり、また、学芸員のみどり市内神社の狛犬の説明に感心したり等約3時間の短い時間ですが「ぶらりまち歩き」ができたのも参加者の皆さんのご協力のおかげです。(記 新井晴夫)



## 完歩！七福神めぐり

ぶらり まち歩き



ぶらりと歩いて桐生七福神めぐり。部会発会の記念として2回に分けての実施。今回は弁財天(光明寺)、寿老人(妙音寺)、大黒天(法教寺)、福祿寿(青蓮寺)四福神・四ヶ寺を巡って完歩した皆さんは色紙に七福神・七ヶ寺から福神印をいただきました。

1月28日午前8時半に桐生倶楽部を出発した。西小学校西門前、第一高校脇を通過して宮本町の光明寺(弁財天)では住職さんからの開設の由来や美和神社等の関係や観音堂等種々の丁寧な説明をお聞きして、山門前で記念の写真を撮り妙音寺へ向かう。

山門を出て、「和洋折衷住宅」などを見ながら、岡公園下の細い道を山の手通りへ向かう。「この道初めてみたい」の声も聴く中、山の手通りへ出てから美和神社・八意思兼(やごころおもいかね)神社を参拝して西宮神社を経て妙音寺(寿老人)へ。妙音寺では毎年1月28日が本尊「不動明王・初護摩祈祷」と云うことで檀家の方が多く参集しており、「アレー、今日は何」の声と共においしい甘酒を頂きました。

次は法教寺(大黒天)、ここから元北中学校脇を通過して青蓮寺(福祿寿)へ、この日の青蓮寺は法事でお忙しい様子でしたが住職に挨拶して七福神めぐりの過完歩。

ここからは桐生倶楽部に向けての帰り道、元北中学前通りから県道に出て改修の終わった群馬大学理工学部同窓記念館及びしだれ桜の池を回って天満宮へ移動、拝殿・本殿の彫り物を感じながら見て回り、境内に設置されていた「茅の輪」(この厄払いは蘇民将来伝説に由来)をくぐり、本町1・2丁目「桐生新町重要伝統的建造物群保存地区」を歩いて、有隣館・矢野園脇の路地を通り抜けて東裏通りへ。「能楽館はどの辺」、「あ・ここだ、こんなに大きんだね」の声を聴きながら予定の時間12時、桐生倶楽部に到着。

ぶらぶら歩いて「約8,500歩(8,437歩)」・「3時間半」歩いているといろいろな発見や変化に気づくこともありました。(記 新井晴夫)

## ＝ 新入社員紹介 ＝

役社長

3

## ＝ 倶楽部だより ＝

- 【2月】
- ・重要文化財特別委員会 (5日)
  - ・監査 (6日)
  - ・創立100周年記念事業 式典・祝宴部会 (7日)
  - ・理事会 (9日)
  - ・歩く会例会「足利行道山浄因寺～織姫神社」(18日)
  - ・歩く会世話人会 (22日)
  - ・美術部会 (23日)
  - ・定時社員総会 (27日)

- 【3月】
- ・消防訓練 (9日)
  - ・長期修繕計画委員会 (9日)
  - ・歩く会例会「茶白山」 (11日)
  - ・理事会 (12日)
  - ・歩く会世話人会 (15日)
  - ・創立100周年記念事業 記念事業部会 (20日)
  - ・月次会「健診・検診の重要性と桐生・みどり地域の現状」(23日)
  - ・ぶらりまち歩き部会「芝居小屋と常夜灯のある大間々」(25日)
  - ・行事・交流委員会 (28日)

〈退社社員〉 江原 毅  
須藤 誠吾  
後藤 充宏 樋口 一枝(逝去)

一般社団法人 桐生倶楽部 第224号  
2018年(平成30年) 4月発行  
発行人 森 壽作  
編集責任者 前原 勝良  
印刷 ツボノ印刷株式会社



# 平成30年度 定時社員総会

日時：平成30年2月27日

一般社団法人 桐生倶楽部

# 次 第

1. 開会のことば

1. 総会成立報告

1. 理事長あいさつ

1. 議長選任

1. 議事録署名人選出

1. 議 事

第1号議案 平成29年度 事業報告

第2号議案 平成29年度 決算報告及び監査報告  
平成29年度 公益目的支出計画実施報告及び監査報告

第3号議案 平成30年度 事業計画案

第4号議案 平成30年度 収支予算案

第5号議案 平成31年度 収支暫定予算案

第6号議案 その他

1. 閉会のことば

※ 総会終了後  
卓話「森理事長、桐生倶楽部を語る」

# 平成29年度 事業報告

自 平成29年 1月 1日  
至 平成29年12月31日

一般社団法人 桐 生 倶 楽 部

- 社員総数 248名 (名誉社員0名、正社員248名)  
内 訳 (法人10社、個人238名)
- 入 社 4名 (内法人0)
- 退 社 8名 (内法人0)
- 行事・集会 90回  
新年互礼会1回、文化祭1回 (絵画展、写真展、  
ゴルフ大会、麻雀大会、囲碁大会)ガーデンパーティー1回、  
クリスマス祭1回、総会1回、理事会12回、臨時理事会1回、  
正副理事長会議3回、役員特別懇談会1回、  
監査会1回、次期役員予定者会議1回、月次会7回、  
委員会21回  
(行事・交流委員会3回、文化活動委員会2回、営繕委員会1回、  
会報委員会6回、社員増強委員会1回、重要文化財特別委員会5回、  
懇話会、百年史編纂特別委員会1回、創立100周年総務部会1回、  
長期修繕計画委員会1回)
- 部会38回  
(歩く会11回、歩く会世話人会11回、  
麻雀部会1回、囲碁部会2回と毎週土曜日碁会、  
ゴルフ部会2回、写真部会2回、美術部会3回、  
音楽鑑賞部会、旅行部会2回、歴史探訪部会2回、  
ぶらりまち歩き部会2回)
- そ の 他 会報6回発行

平成29年度

室別使用状況


月	広 間	一 号	二 号	四 号	五 号	六 号	別 館	庭 園	ロ ビ ー	全 館	合 計
1 回数(回)	11	4	4	1	0	10	1	0	0	0	31
月人数(名)	396	33	32	1	0	54	12	0	0	0	528
2	9	3	3	1	0	6	1	0	0	0	23
月	334	39	36	5	0	27	16	0	0	0	457
3	5	5	6	0	0	9	1	0	0	0	26
月	190	64	47	0	0	57	21	0	0	0	379
4	7	4	4	2	0	10	1	1	0	2	31
月	282	46	44	7	0	53	20	40	0	42	534
5	10	8	5	0	0	8	1	0	0	7	39
月	371	88	38	0	0	43	18	0	0	213	771
6	7	5	6	1	0	9	1	1	0	1	31
月	287	69	88	9	0	71	15	30	0	6	575
7	11	10	2	0	0	10	1	0	0	0	34
月	430	125	21	0	0	61	16	0	0	0	653
8	10	1	3	0	0	6	1	0	2	1	24
月	183	36	12	0	0	34	15	0	11	4	295
9	11	5	7	0	0	7	1	0	0	4	35
月	562	57	41	0	0	39	17	0	0	132	848
10	8	5	5	0	0	9	1	0	0	1	29
月	419	54	38	0	0	54	14	0	0	2	581
11	9	7	5	0	1	9	1	0	0	1	33
月	303	86	42	0	5	53	17	0	0	20	526
12	9	5	2	0	2	9	1	0	0	2	30
月	473	52	14	0	5	63	17	0	0	6	630
合 回数(回)	107	62	52	5	3	102	12	2	2	19	366
計 人数(名)	4,230	749	453	22	10	609	198	70	11	425	6,777


# 監 査 報 告 書

平成29年度決算報告書の各事項について監査したところ、  
その内容は適正なものと認めました。

平成30年2月6日

一般社団法人 桐 生 倶 楽 部

監 事 阿 部 高 久 

監 事 酒 井 豊 


# 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人 桐生倶楽部

理事長 森 壽作 殿

平成30年 2月 6日

一般社団法人 桐生倶楽部

監 事 阿部高久 

監 事 酒井 豊 

私たち監事は、平成29年1月1日から平成29年12月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

## 平成30年度 事業計画 (案)

### 1. 理事会(毎月)・役員特別懇談会(年2回)・監査会(年1回)

2. 主な行事	1月	新年互礼会	歩く会例会	
	2月	社員総会	歩く会例会	
	3月	月次会	歩く会例会	
	4月	月次会	歩く会例会	
	5月	文化祭(絵画・俳句・写真等)	ガーデンパーティー (ゴルフ大会・麻雀大会・囲碁大会等)	歩く会例会
	6月	月次会	歩く会例会	
	7月	月次会	歩く会例会	
	8月			
	9月	月次会	歩く会例会	
	10月	100周年記念式典	歩く会例会	
	11月	月次会	歩く会例会	
	12月	クリスマス祭	歩く会例会	

### 3. 委員会

#### 1) 文化活動委員会

・文化祭

・各種趣味の部会(10部会)

美術部会・麻雀部会・囲碁部会・ゴルフ部会・歩く会・写真部会

音楽鑑賞部会・旅行部会・歴史探訪部会・ぶらりまち歩き部会

#### 2) 行事・交流委員会

・新年互礼会

・ガーデンパーティー

・クリスマス祭

#### 3) 営繕委員会

・会館の修理保全

#### 4) 会報委員会

・年6回 会報発行

#### 5) 総務委員会

#### 6) 社員増強委員会

#### 7) 重要文化財特別委員会

#### 8) 懇話会

#### 9) 百年史編纂特別委員会

#### 10) 創立100周年実行委員会

#### 11) 長期修繕計画委員会

# 寄付芳名録

(敬称略)

平成29年度

10月 桐生倶楽部創立100周年事業助成金  
(100,000円)

桐生中央ライオンズクラブ  
会長 藤 卷 昇

11月 文化財保護負担金  
(100,000円)

公益社団法人 桐生青年会議所  
理事長 腰 塚 有 吾



一般社団法人桐生倶楽部  
定時社員総会報告

平成30年度定時社員総会は2月27日午後6時30分より二階広間で開催され、満場一致で全議案が原案どおり可決されました。

総会は岸田信克理事の司会で、開会のことばに続き全社員247名中172名(委任状130名を含む)の出席で総会成立(過半数)を確認したとの報告がなされた。森理事長のあいさつのあと、理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案	平成29年度事業報告	(前原勝副理事長)
第2号議案	平成29年度決算報告	(村田勝俊理事)
	監査報告	(酒井豊監事)
	平成29年度公益目的支出計画実施報告	(村田勝俊理事)
	監査報告	(阿部高久監事)
第3号議案	平成30年度事業計画案	(前原勝副理事長)
第4号議案	平成30年度収支予算案	(市川孝江理事)
第5号議案	平成31年度収支暫定予算案	(市川孝江理事)

官地由高副理事長の閉会のことばのあと午後7時10分閉会となった。

なお、30年度役員は昨年に引き続き下記のとおりです。

理事長	森 壽作				
副理事長	坪井良廣	前原 勝	官地由高		
会計理事	村田勝俊	市川孝江			
理 事	佐藤富三	山口正夫	北川 洋	根津紀久雄	
	藤江 篤	岸田信克	前原勝良	村田豊樹	
	水越稔幸	小林康人	栗原信治	森 末廣	
	桑原志郎	高梨静江			
監 事	酒井 豊	赤岩英夫	阿部高久		

総会終了後、「森理事長 桐生倶楽部を語る」と題して卓話があり、午後7時50分に散会した。

以 上

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## ガーデンパーティーは大盛況 文化祭にも力作ずらり

桐生倶楽部恒例の文化祭とガーデンパーティーがことしも盛大に開催されました。

文化祭は10日から3日間、社員やその関係者の作品が展示され来場者を楽しませてくれました。例年以上に来場者数も増え、いつもよりも増して賑わいが場内を熱くしてくれました。

最終日12日のガーデンパーティーは、今年は創立100周年記念のもとで開催され、天候にも恵まれて85人の参加者数で大盛況でした。途中100周年にちなんだクイズも出題され(チョット難問)正解者には賞品をプレゼント。約1時間半の開催時間もノスタルジクス(昭和歌謡バンド)の唄声と共にあっという間に過ぎ去ってしまいました。

参加されました皆様に行事・交流委員会として改めて御礼申し上げます。(桑原 記)



# 長期修繕計画委員会が始動

## 立案のための基礎調査に着手

長期修繕計画委員会は昨年12月に設置され、現在まで5回の委員会を開催し、長期修繕計画立案のための基礎的な調査を5月より着手する運びとなりました。

当委員会は委員長に坪井副理事長、委員に森理事、副理事長2名、理事2名、建築についての知見を有する専門委員5名の計11名で構成されています。

桐生倶楽部会館の安全性の確保と将来にわたっての活用、そしてかけがえのない文化財の長期

保存のため桐生倶楽部創立100周年を機に長期修繕計画を立案いたします。社員の皆様にはご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

(村田勝俊 記)

## 10月27日に100周年式典

桐生倶楽部の創立100周年記念式典は10月27日開催が正式に決定しました。



## 増田順一さん講師に 「税務署よもやま話」

4月の月次会

4月月次会は『税務署よもやま話・永年の税務署勤務を終えて』と題し4月16日、桐生倶楽部1号室で行われました。テーマが固いイメージだったためか、参加人数は16名で、やや少なめな月次会となりました。

講師は昨年、税務署を退官した、増田順一税理士にお願いしました。

増田氏は長野県の県庁所在地である、長野税務署署長を勤められました。183人の署員を擁する

税務署で桐生税務署の40人と比較すると、その規模がわかります。現在は桐生市堤町に税理士事務所を構え業務を行っています。また、勤務に関しては、区税局の調査課に17年在籍したことがあり、調査のエキスパートという事でした。そのため、調査関係のお話を期待しておりましたが、国税庁、国税局、税務署などの組織の説明などの話が多く、実務で経験した体験談などは、今回はお預けとなり、ちょっぴり抑えた感じの月次会となりました。

そんな増田氏のお話を聞いた後、是非社員となつていただくようお願いをし、月次会を閉会いたしました。社員の皆様にお忙しいところ参加していただきありがとうございました。

(酒井豊 記)



## 記憶に残る御巢鷹の尾根

### 5月の歩く会・慰霊登山

昭和60年8月12日、日本航空123便が群馬県上野村の御巢鷹の尾根に墜落してから早くも33年が過ぎようとしています。歩く会では以前より慰霊登山の話がありましたが、今回ようやく実現となりました。

5月20日7時、参加者11名はバスにて桐生倶楽部を出発。上信道を下仁田ICで降り、9時45分昇魂之碑駐車場(標高1,000m)に到着。今日は快晴で山の緑がとても美しく映えて、山行には良い日となる。ここから御巢鷹の尾根(標高1,550m)迄は約2Km、標高500mの行程です。しばらく舗装された広い車道を登ると上の駐車場に到着。ここからは本格的な登山道で、次第に勾配がきつくなり、年々高齢化する御遺族は大変御苦労されているのではないかと感じました。さらに進むと急斜面となり、ここ一帯はスゲの沢と呼ばれ、機体の後部が斜面に沿って滑り落ちた所で、今は無数の墓標が建てられています。また生存者4名はこの場所から救出されたそうです。

11時30分突然視界が開け、一帯が御巢鷹の尾根と呼ばれる平坦な広場に出る。昇魂之碑は一段高いところにあり周りに多くの花が手向けられました。

全員で、持参した花と線香を供え、犠牲者520名の冥福を祈りました。広場で御巢鷹の尾根山守の黒沢さんに事故当時の話を伺う事ができました。黒沢さんは毎日ここに来て登山道や御巢鷹の尾根一帯の清掃や整備をし、また慰霊に訪れた人達に事故当時の様子を語り継ぎ、事故の記憶を風化させないよう努めているとのことでした。

予定より長く滞在してしまうほど、ここには茜観音、慰霊小屋、墓誌、墓標など事故の大きさを

物語るものがたくさんありました。今更ながら520名の犠牲者を出した悲惨な事故について考えさせられます。

12時45分昇魂之碑駐車場に戻り、遅い昼食をとる。次に上野村の川和自然公園に行き、関東最大級の鍾乳洞の不二洞と歩行者専用の吊り橋としては全国有数の上野スカイブリッジを楽しみました。

18時20分、桐生倶楽部に全員無事到着。今日は今までにない体験で記憶に残る山行でした。

(栗原 記)



### 4月は上田城・懐古園

4月8日6時30分、参加者は20名、久しぶりに定員いっぱいの参加で桐生倶楽部を小型バスで出発。今日は上田城跡公園と小諸城址懐古園の桜を訪ねてのバス旅行です。

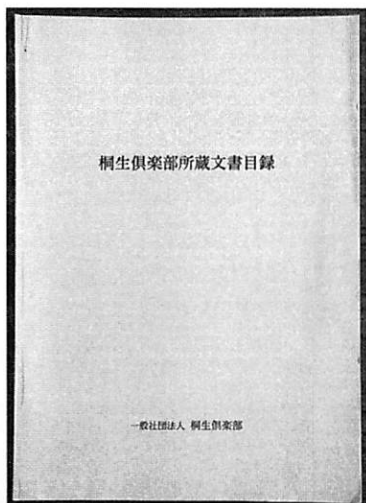
9時上田城に到着。少し肌寒い天候でしたが、上田城千本桜まつりの最中で大勢の観光客で賑わっていました。この城は日本名城の一つで、ソメイヨシノ、シダレザクラなど約1,000本の桜が植えられていて、お城の櫓や石垣を埋め尽くすようで素晴らしい眺めです。今年は全国的に桜の開花宣言が早く出され、ここのソメイヨシノも散り始めて花びらが風に舞い、またお堀の水面に無数の花びらが浮かびとても綺麗でした。

お昼はやはり信州そばです。開店前から大勢の人が並んでいる人気の店で食べました。

午後は小諸城址懐古園を訪れました。ここでは満開の桜に出迎えられて、こもろ観光ガイド協会の会員の案内で園内を見学。小諸城の歴史や島崎藤村の話等を大変わかりやすく説明していただきました。

特に小諸発祥の小諸八重枝垂の濃いピンクの花がとても鮮やかでひときわ目を引いていました。

(栗原 記)



倶楽部所蔵の  
文書目録完成

事務局でお渡しします

かつて桐生倶楽部の管理人室は広見線側に作られていましたが、この部分は1971年、桐生市の道路の拡幅にもなって削られました。

桐生倶楽部ではその管理人室に行く本館内の通路スペースを倉庫として活用することになり、それから40年以上、資料庫として使ってきました。

2年前、佐藤富三理事の提案でそこが女子トイレに改築されることになり、再び資料室の移動が行われました。そこに保管されていた創建以来の資料は、その重要性から桐生市郷土史料調査委員会に調査していただくことができました。事務局で保管していた貴重な帳票類や桐生倶楽部創建時の外観や大広間のガラス乾板、小池久雄さんの所蔵資料も含め965点、中性紙箱に入れて28箱分にもなりました。

このたび桐生倶楽部所蔵の文書目録として冊子を作成しました。社員の皆様には事務局を通じてこの「桐生倶楽部所蔵文書目録」をお渡しできます。ご希望の方はどうぞ事務局までお越しください。

(大西康之)

—— 春季大会結果 ——

囲碁優勝は岸田さん

▽優勝=岸田信克  
▽2位=井上孝之▽3位=福永儀一 (4月21日)

麻雀優勝は井上さん

▽1位=井上孝之  
▽2位=亀田和夫▽3位=石井謙三 (4月27日)

野沢さんホールインワン  
春のゴルフコンペ

平成30年度 春のゴルフコンペは晴天の中、絶好のゴルフ日和でした。今回も前回同様19名(5組)の方々に参加いただき、無事開催できました。

アウト1組の野沢八千万さんが2番ホール(ショートコース152y)でホールインワンを決めました。  
▽優勝=野沢八千万  
▽準優勝=腰塚富夫 ▽3位=新見祐三

今年度は創立100周年ということもあり、12月1日城山カントリーで記念コンペを開催します。参加希望の方は事務局までご連絡下さい。ゴルフ部員には改めて通知します。

(森田 記)



— 倶楽部だより —

- 【4月】・長期修繕計画委員会 (6日)
- ・歩く会例会「真田ゆかりの城と桜」(8日)
- ・理事会 (9日)
- ・歩く会世話人会 (12日)
- ・月次会「税務署よもやま話」(16日)
- ・写真部会 (19日)
- ・春季囲碁大会 (21日)
- ・100周年記念座談会 (23日)
- ・麻雀大会 (27日)
- ・春のゴルフコンペ (28日)
- 【5月】・文化祭準備・講評会 (9日)
- ・文化祭 (10~12日)
- ・長期修繕計画委員会 (10日)
- ・ガーデンパーティー (12日)
- ・理事会 (14日)
- ・営繕委員会 (18日)
- ・歩く会例会「御菓庵の尾根慰霊登山・不二洞」(20日)
- ・歩く会世話人会 (24日)
- ・ぶらりまち歩き部会「水路を辿りかけて」(27日)

〈退社社員〉 池田 英二

一般社団法人 桐生倶楽部 第225号  
2018年 (平成30年) 6月発行  
発行人 森 壽 作  
編集責任者 前原 勝 良  
印 刷 ツボノ印刷株式会社

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755

## 上電開業90年を語る 講師に古澤和秋社長 震災では存在感示す

月次会報告(7月)



7月11日・月次会は上毛電気鉄道(株)(以下・上電)の古澤和秋社長を講師に迎えての講演会だった。上電は大正15年(1926)会社設立、昭和3年(1928)に中央前橋～西桐生間25.4キロの営業運行を開始した地方鉄道である。今年は鉄道開通90周年にあたる。古澤さんは群大工学部を卒業後東武鉄道に入社、上電に出向されて今は社長を務めておられ、桐生には御縁の有る方である。

古澤社長さんは上電が生糸の集積地・前橋と織物生産地・桐生を結ぶ鉄道として敷設された経緯から今日までの歴史、上毛地区に果たした地方公共鉄道としての役割、上電と桐生との関わりなど

を語って下さった。輸送客数は昭和40年(1965)に最高958万人であったが、現在は155万人に減少してしまったとのこと。

平成23年東日本大震災直後、東京電力の計画停電で東武鉄道は運休した。上電は1時間だけダイヤが乱れたが独自の電源を確保して運行を続け、桐生地区が“陸の孤島”になるのを防いでくれている。

地方公共鉄道としてのご苦労が多いことと思うが、安全運行にご努力されて目出度く2028年の開業百周年を迎えられることを祈ります。

(49人参加 村田豊樹・記)

# 堤町万ヶ入り沢水路を追いかけて ぶらりまち歩きパートI



今回、5月の例会は堤町万ヶ入り沢水路を追いかけて歩きました。

まず、水源付近から歩こうと下見をしたところ、御岳白龍神社より上流への進入が不可能でしたので、今回はここを出発点として水路をたどることにしました。

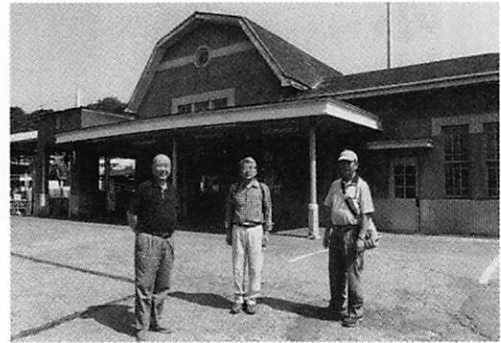
木々が鬱蒼と茂り幽玄の地を感じさせるような所に神社関係建物や昭和49年4月建立の御岳白龍神社の碑、観音像、烏天狗像はある。進入路も荒れて訪れる人もないような寂しい感じで、水路は万ヶ入り砂防ダムから流れ、ダムから少し下がったところにはもう住宅があり水路は住宅の間を下り、複雑な交差道路を渡ると今度は道路に沿って流れ、水路断面も大きな断面からだんだん小さくなって、住宅地へ右折、左折をして、道路横断、住宅地の間から上電線路横断をして、左折して線路と平行に流れて、セイムス裏で右折して西桐生薬局脇から白髭神社脇道路の方に県道を斜めに横断して水路断面が大きくなる。

白髭神社の下にはオーバーフロー施設が設けられて増水時には渡良瀬川に流れるように対策が取られていた。水路は道路横断をして住宅地内を流れて右折して道路にそってJRに突き当たって左折して水道橋まで流れを見ることができるのはここまでは。水道橋からは暗渠となって直接水を見ることができませんが、暗渠となった水路はここから線路沿いの道路内を流れてペアーレ脇のアンダーパス道路に突き当たり、ここで左右の2方向に分かれて道路横断して、一方はペアーレから駅前交番脇、駅前広場から税務署前一方通行道路

を流れて郵便局前道路に突き当たって右折して、樹徳高校脇交差点に於いて新川に合流なので、ここまで歩いて解散としました。アンダーパス右折水路はJR線路南側で道路横断して線路沿い道路を郵便局前道路まで流れて合流している。(暗渠部分の水路については市役所からの聞き取りです)

水路沿いを歩き、風景の変化に驚き、以前の風景を思い起こし、懐かしい思い出がよみがえるのもぶらりまち歩きです。

登録有形文化財の西桐生駅の見学や市街地を走る上電車輛の「撮り鉄」、丸山の沼の見学、白髭神社の参拝と天然記念物のシラカシ見学や新川公園の「桐生でアローハ」、「フラピクニックイン桐生」で県内及び県外からも大勢のダンサーの皆さんのフラダンスを観ることができたのもぶらりと歩いたからです。今回、参加者は5人でしたが、ぶらぶらと歩きゆっくりとまちを眺める新鮮さは歩いてみて初めてわかることです。例会は奇数月の第4日曜日を基本としております。参加して一緒に歩きましょう。(記 新井晴夫)





## ぐんま百名山「八間山」へ 6月の歩く会ハイキング

例年より最も早く梅雨あけの宣言がされた6月3日、八間山ハイキングです。八間山は野尻湖右岸にあって「シラネアオイ」や沢山の高山植物が見られる楽しい花の山です。

概ね予定通りam9:00湖畔・富士見峠に到着、集合していただいて今日一日の無事を祈念しながら記念の1枚、まだ疲れのない皆さんいいお顔です。

さて、今日のハイキングコース及び日帰り温泉について事前に中之条観光協会に尋ねたところ富士見峠～頂上往復が一般的ですが、登山口と下山口を変えて池の峠～頂上～富士見峠が登りが比較的楽でいいのではと助言をいただきました。

富士見峠から池の峠に移動して登山開始、ゆっくりと歩を進め下山のグループ（県内及び長野・松本のひともいた）とすれ違いながら花や木々の

間から湖を眺め最後の急登を越えて正午少し前に頂上到着、頂上は広く多くの登山者が休憩している。ここでお昼にして、眺めのいい頂上から長野・新潟県境の白砂山や榛名山、浅間山、草津白根山等を望みながらの記念の写真を撮って下山です。淡々と気持ちも軽く所々で湖面をながめながら下り、お待ちかねの「シラネアオイ」の群落と「コマクサ」に目を楽しませて富士見峠に帰着。

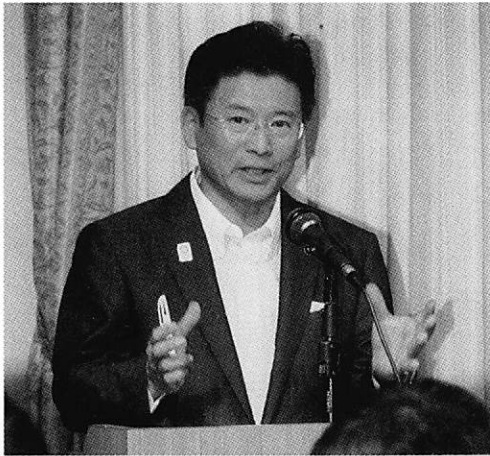
帰りは江戸、明治の建物を残す六合赤岩地区重要伝統的建造物群保存地区をバスで一巡りの見学後、保存地区内の日帰り温泉・長英の隠れ湯（幕末に赤岩地区に隠れ住んだと伝えられる蘭学者高野長英にちなんで名づけられたと聞きました。）で汗を流し、予定より若干遅れた午後6時少し前に桐生倶楽部着。

晴天のもとで、楽しく無事に山行ができましたのも参加者の皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございました。

（参加者14名 新井晴夫 記）







## みどり市の新市長 須藤昭男氏が講演 月次会報告(6月)

6月月次会は26日、桐生倶楽部二階大広間において、みどり市の新市長須藤昭男氏をお招きして、将来のみどり市・桐生市との関わり方、政策等を語っていただきました。(桐生倶楽部二階大広間 参加者43人)

須藤新市長は、一期4年間でやりたい事(選挙公約)を下記の課題について講話をされました。

### 1. いきいき・みどり市・活力創生

定住・交流人口の拡大(みどり市の魅力をアピールして、地域外から若い人材を積極的に受け入れて、移住・定住を促進します。観光客や滞在者の拡大で、地域に活力をもたらします。)

### 2. 安全・安心を守る、地域力の創生

①地域で支える福祉と地域包括ケアの推進(住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」を切れ目なく提供できる体制を整備。住民が互いに支えあう福祉の仕組みを構築して活動への参加を支援します。)②障がい者福祉サービスの充実③豪雨・暴風や巨大地震など災害に強いみどり市④鳥獣害対策の活動予算を増額し強化します。

### 3. 「環境立市・創生」産業・観光をもっと強く

①環境立市宣言「環境・新エネルギー産業」の発展(豊かな森林、渡良瀬川の清流など自然を生かし、経済発展と環境の調和する全国のモデル都市となる。「環境・新エネルギー産業」発展と集積を進めます。)②木材・木質エネルギー産業の育成とエネルギーの地産地消で森林・林業活性③最新技術で活力ある農業施設を推進④世界遺産ゴールデンルートの整備で観光誘致(世界遺産の「日光の社寺」と「富岡製糸場と絹産業遺産群」を結ぶゴールデンルートを整備し、広域観光を推進し、みどり市にさらなる観光客を誘致します。)⑤みどり市の魅力再発掘で観光誘致⑥幹線道路「渡良瀬

軸」の整備と産業団地の誘致による雇用創出⑦鉄道4路線(JR・東武・上電・わ鉄)の利便性の向上

### 4. 市民一人ひとりの輝きを大切に

①女性の活躍できる社会づくり②きめ細やかな教育と地域に即した教育環境の整備③子育て環境の整備と充実④スポーツで市民の絆を(スポーツを「する」「観る」「支える」ことで、市民の絆を醸成します。競技スポーツ、生涯スポーツをさらに振興して、健康寿命の延伸にも取り組みます。)

### 5. 市民のために、頑張る市役所・効率行政

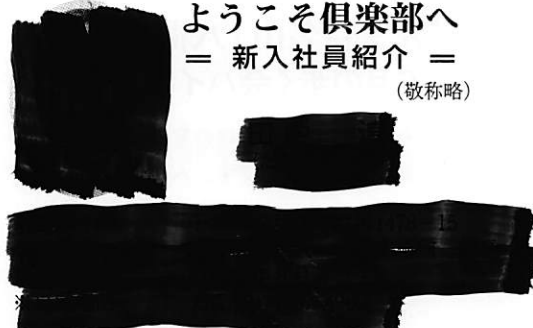
①職員が能力を発揮できる市政。「行政のプロ」育成と組織の強化②職員の意識改革と女性登用を含めた人材育成に努めます。③効率的な行政運営、広域市との連携の推進④産業界、大学や研究機関、県や国と市行政との連携を推進⑤市長のトップセールスで、みどり市ブランドの販路拡大  
また、講話内容は桐生タイムス6月28日(木)号に掲載されています。

ご参照ください。

(森末廣記)

## ようこそ倶楽部へ ＝ 新入社員紹介 ＝

(敬称略)



## ＝ 倶楽部だより ＝

### 【6月】

- ・ 歩く会例会「八間山」 (3日)
- ・ 歩く会世話人会 (5日)
- ・ 理事会 (11日)
- ・ 長期修繕計画委員会 (21日)
- ・ 月次会「みどり新市長をお招きして」 (26日)

### 【7月】

- ・ 理事会 (9日)
- ・ 月次会「上電の歴史、上電と桐生の関わり」 (11日)
- ・ 野沢八千子様ホールインワン記念コンペ (21日)
- ・ 歩く会例会「上高地」 (22日)
- ・ 100周年記念事業 式典・祝宴部会 (24日)
- ・ 重要文化財特別委員会 (25日)
- ・ 歩く会世話人会 (26日)
- ・ ぶらりまち歩き部会「水路を追いかけて・2」 (29日)

### 【退社社員】

- 白石 昌一
- 竹越 誠治
- 寺田 雅弘

一般社団法人 桐生倶楽部 第226号  
 2018年(平成30年) 8月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 前原 勝 良  
 印刷 ツボノ印刷株式会社

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## 誇り高き創立100周年 記念植樹で志つなぐ

桐生倶楽部創立100周年の記念樹、ベニシダレザクラ2本が9月27日、会館の中庭に植樹されました。開かれた倶楽部運営を目指す森壽作理事長と阿部高久顧問、坪井良廣、前原勝両副理事長がスコップを握ってまず1本。もう1本を地元東小学校の3年生がお手伝い。力を合わせて、新たな100年の志をしっかりと大地につなぎました。

倶楽部は1918年9月27日、実業界や教育界の先覚者が集い、発足しました。東京の交詢社にならって自主運営に徹し、広い人脈を生かしながら

桐生の経済文化の向上に尽くしてきました。

創立の先頭に立った森宗作さんは現理事長の曾祖父で、同倶楽部の理念である「郷土の発展はやがて自己の発展である」は宗作さんの信条でもあります。この哲学が受け継がれ、会館の風情も創建当時のままに保たれ、現在に至っています。

その中庭に持ち込まれたベニシダレザクラは樹齢10年余。植樹に臨んだ社員と子どもたちは、新たな100年のシンボルとして立派に成長するように、願いを込めて根元に土を寄せました。

## 2018年9月27日 創立100周年植樹会

創立100周年記念事業「植樹会」の27日、東小学校（山野玲子校長）の32人の児童は、まずは倶楽部の歴史を学んで、このあと雨の中での記念植樹、記念撮影に臨みました。



## 倶楽部歩く会 7月と9月の健脚の譜



### ●上高地ハイキング●

日本を代表する山岳リゾートである長野県上高地、雄大な穂高連峰の眺望を間近に望めながら、それぞれの体調に合わせて、いくつかのコースに分かれてゆっくりと散策を楽しんできました。

穂高約1500mの山岳勝地、手付かずの自然が多く残り大自然の宝庫と呼ばれることから、国の「特別名勝」と「特別天然記念物」に指定されています。参加者は33名、晴天の朝5時に桐生倶楽部を出発しました。

上高地に入り、はじめに目にした大正池は1915年に焼岳が大噴火をおこした際にできた上高地最大の池でした。水没した林は立ち枯れとなり、その神秘的な美しさは、季節や時間によってさまざまな表情を見せるそうです。

ここで22名の方が下車しました。さらに帝国ホテル前で2名の方が下車し、自分を含めた残り8名はバスターミナルまで行くことにしました。

バスから降りて5分ほど歩くと、梓川に架かる木製の吊り橋「河童橋」がありました。散策を楽しんだ後は、ここに14時20分に集合です。約5時間の上高地自由散策が始まりました。

思いのほか日差しが強く白樺とダケカンバの林の中、日陰を見つけながらゆっくりと歩きました。水の音と鳥の声を聴き楽しいおしゃべりをしながらの散策です。木々の間から時折見える梓川。なんと美しい川なんでしょう。

上高地は古くから神の降り立つ地とも呼ばれているそうです。

大きな鳥居を越えて穂高神社奥宮がある明神池へ向かいました。明神岳の土砂崩れによって梓川

の支流や湧き水が堰き止められてできた池だそうです。なんとも静かで美しい神秘的な静けさが漂っています。ここでしばらく時を過ごし、炉端焼きのいわなを頂き、満足をして河童橋まで戻りました。ちなみに上高地の地形は平地の10倍の速さで変化しているそうです。

今回は自由散策の時間が長くとられていたので違うコースの方の報告ができないのが残念ですが、みなさん満足したのか、帰りのバスの中は、気持ち良さそうに寝息が聞こえていました。(武井)

### ●五色沼湖沼群散策●

9月例会は年間計画の「磐梯山登山」の予定を変更し5時30分に桐生倶楽部を出発。曇りがちで雨まじりの天候は、現地近くのトンネルを抜けると道路も乾いていて明るくなり、ほぼ予定時刻の9時30分頃よりハイキングスタート。

柳沼から始まり大小さまざまな沼めぐり。晴れていれば沼ごとに特色ある色を鑑賞できるとのことだが、あいにくの曇りのため各沼の変化が少なく残念だったが、それでもグラデーションのついたきれいな緑～藍色の沼景色を楽しめた。

裏磐梯サイトステーションのベンチをお借りして早目の昼食タイムとし、休憩後は“レンゲ沼”周辺を歩き中瀬沼展望台へ。展望台には先客の団体が休んでいたため、仕方なく中瀬沼を見下ろしながら記念撮影、晴れていれば磐梯山と中瀬沼の絶景のはずだったのだが、残念ながら磐梯山は雲の中でした。

19時に予定通りに桐生倶楽部到着。参加者の皆さんお疲れ様でした。(吉田 章)



# 歴史的風致の維持向上を学ぶ

## 月次会報告(9月)



桐生市都市計画課 鈴木宏課長

## 民俗、歴史、暮らし 一体化させて推進

9月の月次会は桐生市の「歴史的風致維持向上計画」を学ぶ一般公開の講演会。25日、桐生市の鈴木宏都市計画課課長のお話をうかがいました。

平成20年に施行された国土交通省「歴史まちづくり法」に基づいて、桐生市は29年から10年間にわたり、歴史的風致の維持向上を図ることを目的とした計画を策定し、展開しています。

この計画の狙いについて鈴木課長は、歴史的な建造物の整備、あるいは環境整備としての道路整備など、従来とはかく分かれがちだった事業を周辺環境と結びつけ、一体化し、向上させていくことが主目的になっていると語りました。織物のまちと歴史的なまちづくりを守り、生かし、はぐくむ理念で融合させていこうという考え方です。

織物や桐生祇園祭、天満宮や中世の歴史、民俗芸能、歴史的建造物など、数々の資源が対象として挙げられています。桐生倶楽部も今後の重要な候補の一つであることが示されました。

ようこそ倶楽部へ  
＝ 新入社員紹介 ＝

(敬称略)

※自宅住所  
※勤務先 職名 長  
※生年月日  
※自宅電話

※

＝ 倶楽部だより ＝

### 【8月】

- ・理事会 (6日)
- ・100周年記念事業 総務部会 (20日)
- ・100周年記念事業 式典・祝宴部会 (29日)
- ・長期修繕計画委員会 (30日)

### 【9月】

- ・行事・交流委員会 (5日)
- ・歩く会例会「五色沼群」 (9日)
- ・理事会 (10日)
- ・歩く会世話人会 (13日)
- ・月次会「歴史まちづくり法ってご存じですか？」 (25日)
- ・写真部会 (26日)
- ・100周年記念事業 植樹会 (27日)
- ・長期修繕計画委員会 (27日)
- ・ぶらりまち歩き部会「水路を追いかけて・2」 (30日)

### 【退社社員】

- 山中 雅子 (ご逝去)
- 吉田 長生
- 七五三木 正 (ご逝去)

一般社団法人 桐生倶楽部 第227号  
 2018年(平成30年) 10月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 前原 勝 良  
 印刷 ツボノ印刷株式会社

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## 創立100年盛大に祝う

### 森理事長、会館保存に決意

一般社団法人桐生倶楽部の創立100周年記念式典が10月27日、歴代の社員と共に星霜を重ねてきた倶楽部会館で盛大に開催されました。

桐生倶楽部は1918年、郷土の経済文化の担い手が一致団結のもと、誕生しました。社交の場でありながら、若手を育成し、まちづくりのアイデアを数多く発信し、桐生市の大正、昭和の発展を支え続けたという点において、このまちの精神性がたいへんよく表れた組織です。

当日、会場となった二階大広間には社員と来賓約100人が参集しました。「郷土の発展は自己の発展」の言葉を掲げて倶楽部創立の先導役を果た



した森宗久さんの曾孫である森壽作理事長は、これからも変わらぬ精神の象徴として、会館を守り抜く決意を改めて表明しました。

## 創立100周年記念式典 点描

### 森理事長あいさつ

本日は一般社団法人桐生倶楽部創立100周年記念式典に、群馬県知事大澤正明様始め、大勢の皆様にご臨席賜り誠にありがとうございます。

私は桐生倶楽部の理事長の森壽作でございます。

桐生倶楽部が大正7年(1918年)に創立してから100年、大正、昭和、平成と、世の中は大きく変化して参りました。大きな戦争もありました。織物の街として「西の西陣、東の桐生」とも云われました。

近年、桐生倶楽部で二つの大きな動きがありました。一つは定款の目的に「建物の歴史的かつ文化的価値を認め、その維持管理及び運用に努め、広く社会公共の資産として活用すること」を挿入したことです。そして、もう一つは女性社員の入会を実現したことです。

現在、桐生倶楽部会館の保存・修理・活用について、真剣に取り組み始めています。広く、一般市民の理解、協力を頂きながら慎重に準備を進めなければならないと思っております。

次に、桐生倶楽部の活用については地域社会に開かれた公開性にどう対応してゆくかであります。会議、講演会、演奏会、発表会等々巾広くに市民に利用されるよう、どうしたら良いか検討してゆきたいと思っております。

私たちは次の100年に向かって、桐生倶楽部が地域の発展にいかに関与出来るか考えていかねばなりません。その意味においてあらためて、明治33年に桐生懇和会を立ち上げ、その後、桐生倶楽部を創立、会館を建立した諸先輩を大いに見習いたいと思っております。倶楽部の“50年史”に「郷土の発展はやがて自己の発展である」とあります。又、「諸問題はすべて談笑のうちに会議はすすめ、その運営は和合一致、町の発展と産業振興のために、常に難問に進んで取り組み、その完成に努力する」とあります。これら諸先輩のことばをあらためてしっかりとかみしめ、真に豊かな地域社会を目指して、談笑のうちに、共に語らいながら歩んで行こうと思っております。(抜粋)



感謝状の贈呈



表彰状の贈呈

### お願い

## 「寄せ書」への署名及び『百年史』の受け取りをお願いします。

大正7年に誕生した我が桐生倶楽部は今年創立百周年を迎え、様々な記念行事を行っています。そのひとつに「百周年記念寄せ書」があります。社員皆さんの署名を頂き、末永く会館に掲示されるものです。今年12月末迄、「寄せ書」を5号室に用意してあります。お時間ご都合の宜しい時に、桐生倶楽部会館に立ち寄って、署名をお願い致します。

10月27日(土)に開かれた百周年記念式典にあたり、出席者全員に『桐生倶楽部百年史』を配布させて頂きました。当日欠席などで『百年史』を受け取っていない方は、桐生倶楽部に立ち寄って受け取ってくださるようお願い申し上げます。

(桐生倶楽部 事務局)

## 西沢溪谷を歩く

10月の歩く会



例会でいつも気になるのが天候ですが、今回は紅葉の状況も少し早いと思うが標高や場所等を考えると紅葉が少し期待とチョット気に、又、日本の滝百選の七ツ釜五段の滝をはじめとする多くの滝と溪谷の美しさを堪能してきたという思いの西沢溪谷です。

参加申し込みは11人でありましたが、いろいろな都合から当日は8人となりました。保育園の時から歩く会山行に参加している小学1年生のおとる君の同行ではほほえましく和やかな楽しいハイキングになりました。

林道から坂道を下り流れの激しさが想像される水音を聞きながら溪谷美を期待しながら河畔から溪谷内に入って行く。溪谷は急流で最初に見えるのは落差30メートルほどの大久保の滝、これからの滝の連続とその景色に期待を抱きながら急流脇の道を奥へ奥へと、三重・竜神・恋糸・貞泉の滝と急流そして淀みと迫力ある流れとその流れが作った奇岩を見ながら後続の人達に道を譲り、足元に気を付けながら歩き、最後の登りの前に昼食休憩、時計を見れば予定をオーバー、これもゆっくり歩いたことの結果致しかたないと納得し、帰路の時間と予定も気になるがこれもやむをえない。

さて、この先が今日の一番の見どころの「七ツ釜五段の滝」、急な登りが続くが変化しながら段段に見えてくる滝と釜(淀み)の様子にカメラを向けている人達も多く感嘆のうちに急登が終わって帰路となる森林軌道敷跡に到着。振り返って溪谷から周辺の山々をみれば紅葉はまだまだ、全体は緑で少し始まってきたかなということ。紅葉の見頃は下旬から11月上旬かな。帰路は森林軌道敷跡を淡々と下って出発点。

今日は溪谷の途中で少しパラパラと降りもあったが、景色を十分楽しみ概ね予定の時間を一時間オーバーした西沢溪谷ハイキングも終了。帰路の

日帰り温泉入浴省略の予定変更もありましたが皆さんのご理解で予定通り帰着、楽しい一日になりました。(記・新井晴夫)

## 鳴神山でカモシカに合う

11月の歩く会



11月の歩く会例会は桐生の誇る里山、鳴神山だ。今回は皆さんの都合がつかず3人だけの山行となった。

朝7時、倶楽部に集合・出発。コースは赤柴登山口から梶田峠を経て、山頂へ。このコースは林道歩きが長く、それだけ高度を稼ぐので、登山道の傾斜が緩く歩きやすい。山頂付近、アカヤシオの幹に数多くの白いビニールテープが巻かれている。これは鹿の食害から木を守り、美しい自然を維持するための作業だ。またグリーンネットに囲われている「かつこそう」の保護地も数か所散見された。こうした努力があって鳴神山は多くのハイカーを惹きつけているのだと得心した。

まもなく仁田山岳の山頂に着く。見晴らしは良くない。ご存知の通り鳴神山は双耳峰で、もう片方の桐生岳は目の前だ。こちらは360度パノラマで、山頂はハイカーで賑わっている。快晴の小春日和の中、山頂で30分ほど寛いで10時下山開始。温かい木漏れ日の中、森林浴を楽しみながらの下山は心が弾む。

小1時間ほど歩いた頃、突然シルバーグレイの塊が目の前を通り過ぎた。一瞬緊張が走ったが、小高い丘の上まで行って立ち止まり、こちらを凝視している。ニホンカモシカの決めポーズである。噂には聞いていたが、動物たちの移動範囲が広くなり、今日の遭遇となったわけだ。駐車スペースのある駒形登山口に11時30分着。早い帰りとなった。

(岸田 記)







## 蓄音機の聴き応え

### 月次会報告(11月)

#### 恒例の蓄音機コンサート

第6回目の蓄音機コンサートが11月25日に2階の大広間で開かれた。月次会としては4回目、そろそろ恒例の行事として認知されつつある。

今回は声楽が中心で、第1部は男子(テノールの世界)、第2部は女子(ソプラノの世界)で、何と1907年から30年頃という古盤を使った豪華なもの。第3部は珍盤・愛聴盤で聴き応えがあった。特別に関西蓄音機倶楽部の方が参加され意義深いものになった。いつも乍ら北関東蓄音機倶楽部の方々の好意に支えられて、開催することができたことを付記しておく。30余名の来場者があった。(佐藤 記)

## 電車に乗って鑑賞会

### 美術部、前橋へ

美術部では、恒例となっている美術展鑑賞会を11月11日の日曜日に14名の参加者を得て実施しました。

朝9時16分の西桐生駅から上毛電鉄2両編成のローカル電車に乗って50分ほどで中央前橋駅に着き、「萩原朔太郎記念館」および「水と緑と詩のまち前橋文学館」、アーツ前橋の「岡本太郎と今日の芸術」を鑑賞してJR前橋駅から帰路に着きました。



## 秋季囲碁大会結果

▽優勝=福永儀一   ▽準優勝=岩崎孜郎  
▽3位=岸田信克   (参加者6人)

## ＝ 新入社員紹介 ＝

(敬称略)



下山 清隆  
(しもやま きよたか)



後藤 圭一  
(ごとう けいいち)



長竹 伯晶  
(ながたけ のりあき)



## ＝ 倶楽部だより ＝

### 【10月】

- ・理事会 (9日)
- ・歩く会例会「西沢溪谷」 (14日)
- ・歩く会世話人会 (18日)
- ・秋季囲碁大会 (20日)
- ・行事・交流委員会 (22日)
- ・100周年記念式典準備・リハーサル (26日)
- ・100周年記念式典・祝宴 (27日)

### 【11月】

- ・行事・交流委員会 (5日)
- ・役員特別懇談会 (8日)
- ・美術部会「美術展鑑賞会」 (11日)
- ・歩く会例会「鳴神山」 (11日)
- ・理事会 (13日)
- ・歩く会世話人会 (15日)
- ・月次会「蓄音機コンサート」 (25日)
- ・文化活動委員会 (27日)

### 【退社社員】

- 七五三木 正 (ご逝去)
- 小島 康義 (ご逝去)
- 中島 和也 (ご逝去)
- 新井 庫太郎 (ご逝去)

一般社団法人 桐生倶楽部 第228号  
 2018年(平成30年) 12月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 前原 勝 良  
 印刷 ツボノ印刷株式会社

# 桐生倶楽部・歩く会 平成31年 計画表

	行き先	テーマ・見所	交通	担当
1月13日 第2日曜	吾妻山	正月恒例山行	吾妻公園 駐車場集合	吉田 腰塚
2月17日 第3日曜	梅田上菱から登る 前仙人ヶ岳	里山歩き	自家用車分乗	岸田 腰塚
3月10日 第2日曜	千葉南房総 鋸山	地獄のぞきと日本最大の磨 崖仏	小型バス	村田 武井
4月14日 第2日曜	武甲山と羊山公園 の芝桜	200名山と日本最大級の 芝桜	小型バス	岸田 新井
5月19日 第3日曜	前日光牧場と横根 山	アカヤシオとドウダンつつじ	小型バス	山口 栗原
6月2日 第1日曜	谷川岳	日本百名山	小型バス	新井 腰塚
7月21日 第3日曜	乗鞍岳	日本百名山 高山植物の宝 庫	小型バス	栗原 山口
9月8日 第2日曜	美ヶ原高原	日本百名山 高原ハイキン グ	小型バス	村田 武井
10月20日 第3日曜	ひたち海浜公園	コキア紅葉とコスモス	小型バス	新井 吉田
11月17日 第3日曜	小野子山	紅葉の群馬百名山	小型バス	岸田 栗原
12月8日 第2日曜	東京方面		小型バス	村田 吉武

1. 月毎の詳しいスケジュールは各月の案内にてお知らせします。ご参加お待ちしております。

2. 「歩く会」世話人は下記の9名です。

担当理事：岸田信克

世話人代表：栗原信治 副代表：吉田章

世話人：村田豊樹、腰塚富夫、新井晴夫、武井弘美、山口一郎(会計)

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2-9-36 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## 平成最後の新年互礼会 森理事長、長期ビジョン語る

平成31年度の桐生倶楽部新年互礼会が1月4日に開催されました。来賓9人を含む54人の方々が参加しました。

博覧会によります「鶴亀」の祝謡が披露され、互礼会が開会されました。森理事長は年頭の挨拶

の中で、昨年行われた桐生倶楽部創立100周年記念のご報告と御礼。倶楽部会館の管理・修繕の資金面や労力の困難さや、その為の長期ビジョンを述べました。祝宴では皆様なごやかに歓談され時間の経過とともに閉会いたしました。(桑原 記)

# 初歩き、吾妻山



## 歩く会 1月例会

新春の初歩きは恒例の吾妻山です。

年末、年始の好天気が、1月13日(日)、この日も今迄にもまして、風もなく青空が広がり、暖かい日差しが広がっていました。

例年どおり、吾妻山公園駐車場に9時ごろから三々五々集まり、新年の挨拶をしました。

ここで、伊勢崎から来たという10人の女性グループに会い、お互いに集合写真を撮りました。総勢14名が写真に納まりました。今回は森理事長が、堀マラソン5キロに走るということで、足慣らしに参加してくださいました。(頑張ってください)

都合で一人減り13名で頂上を目指し、9時30分に出発しました。

途中、トンビ岩で一息つき、好天のなか気持ち良く歩きました。

頂上に着くころには、うっすらと汗をかきました。そこからは、遠くには白い帽子をかぶった日本一の富士山がくっきりと見え、思わず手を合わせて皆さんの健康とご多幸を祈念いたしました。また東方にはスカイツリー・新宿の超高層ビル群が大きく見えました。

途中2名が分かれて、11時に11名が下山開始し、長い階段を下り、女吾妻山を経由して村松峠で一

休み。ここからは村松沢の杉林を抜けて新年会会場の西小まえ「万来軒」に各自で向かいました。12時40分に到着して、ここで待っていてくれた人4名を加えた15名で、森理事長の乾杯で新年会を開始しました。

昨年の山行や今年予定の場所に花が咲き、紹興酒が疲れた体に少しずつ染みわたり時間の経つのも忘れて、話し込みました。

2時30分に、岩崎岑生様の締めでお開きとし、皆笑顔で散会しました。

今年も歩く会がすばらしい一年になることをご祈願しております。

(腰塚 記)

## 東京チョット欲張り散歩 歩く会12月例会

12月9日(日)、江戸や明治の風情が大都市東京で感じられる東京散歩に多くの皆さんに参加していただき、チョット欲張りすぎた計画ではと思いましたが、皆さんから「よかったよ」、「楽しかった」の声にほっとしております。

この日は平成30年秋季皇居乾通り一般公開最終日であったことから、この見学をお諮りいたしましたところ「是非行きましょう」という賛同と迎



賓館の見学時間が決められていることから、予定を変更して皇居の見学を最初にするにしました。皇居前で手荷物検査の後、坂下門から入門、「立ちどまらないうで、お進みください」の誘導の声に押されるように蓮池濠沿いを大勢の人達が乾門に向かって進んでいく様子はテレビのニュースで見るそのものです。私たちは途中の西結橋から東御苑に入って天守台、ここに天守閣があったことを考えると素晴らしい眺望だったと思いつつ御苑内(本丸跡)を散策して大手門に、その大きさに感嘆、駐車場へ急ぎ入館時間が11時半と決められている迎賓館へ向かう。

迎賓館は近代建造物国宝第1号(富岡製糸場は国宝第2号・群馬県にもいいものがある)で期待しています。入館手続きは飛行機搭乗前と同様の手荷物検査の後、入場券(一人1,500円)を購入して見学です。西出入口(正面から見て右側)から参観に入り廊下から階段を上り廊下を直進したり曲がったりしながら・ホール・彩鸞の間・花鳥の間・羽衣の間(朝日の間は修復中で不可)をどこを歩いたのか(これもセキュリティ上のことから)わかりませんが参観順路どおりに見学して西出入口に戻ってきました。

壁の七宝焼きや金箔張り等の内装、天井画、シャンデリア等々及び館外の主庭や前庭から見る本館は外国の宮殿そのもので豪華絢爛で素晴らしいものでした。

昼食はバスの乗り降りができる赤坂周辺でめいめいに自由昼食をして、六義園を見学して帰途に向かうがバスの中は「何を食べた」、「なにが美味しかった」とお昼の話題満載。

六義園、前に来た覚えはあるがと思いつつ、入場券購入(一人120円(団体20名以上240円/人の65歳以上は半額)・いつも思うが都立は安いね)して園内へ、すぐ目に入ったのが大道芸人の妙技「江戸太神楽・丸一仙翁社中」の皆さんでした。園内はそれぞれ自由見学で「回遊式筑山泉水」の大名庭園を十分に堪能したと思います。大名庭園から財閥の別邸、都へ寄付されて国の特別名勝指定されている文化財の所有の変遷に驚きです。

今日は一日、江戸・明治時代の東京をほんの少しそれぞれ見ていただき、参加された皆さんにお礼申し上げます。(記・新井晴夫)

(迎賓館・赤坂御所のパンフレットは倶楽部ホールに置いてありますのでご覧ください)

## 境野水処理センター見学 ぶらりまち歩き

毎月隔月(奇数月)に実施をしてきましたぶらりまち歩きですが、7月は台風12号、9月は台風24号でやむなく中止とし、11月は都合により12月16日(日)になりましたが境野水処理センター見学を実施することができました。

この境野水処理センターには渡良瀬川左岸(川内町を除く)の合流式(汚水と雨水)と分流式(汚水)の流入水約50,000トン/日进行处理して渡良瀬川に放流しているとの事です。

まず事務所において概要説明を聞いてから沈殿池から放流水まで水の流れ、覆蓋されている屋上のミニプールや開放されている運動公園を見学させていただきました。

迷惑施設と云われている施設は周辺地域の方々の理解があつてのことです。

桐生市の下水道整備事業は昭和30年代後半に着手して、昭和40年代初めには境野水処理センターで一部供用を開始して現在に至っているということは、まだまだこれから下水道が整備される他の地域のことを考えれば桐生市街地では50年も40年も前から水洗トイレが使用できて当たり前だったのはすごいね。大都市並みだね。

又、この水処理センターで市内及びみどり市のし尿処理も行っている事は全て周辺地域の皆さんの理解あつてのことで、もう感謝だけです。

帰りに「境野町及び新宿の丁石」を確認して終了、今日の歩数約6,000歩でした。

(記・新井晴夫)



## クリスマス祭、華やか、大盛り上がり



桐生倶楽部恒例のクリスマス祭&パーティーが去る12月8日に開催され、子ども19人を含む65人が参加しました。

クリスマス祭では厳かな雰囲気の中、聖歌隊の賛美歌の間、森理事長の聖書朗読で始まり、つづくパーティーでは食事を楽しみながら談笑。つづいてスマイルヒストリー（樹徳高校聖歌隊OB・OG）12名によるアカベラコンサート。若い人のパワーで盛り上げてくれました。

そしてパーティー最後のイベント「大抽選会」。あちらこちらから歓喜の雄叫び。

最後にご参加をしてくれました社員・ご家族の皆様に行事・交流委員会より感謝もうしあげます。

（桑原 記）

### 秋のゴルフコンペ結果

今回のコンペは100周年記念コンペでもあり過去最多となる24名の参加をいただきました。

12月1日の開催でしたが、快晴となり青空のもと、全員元気にまわることができました。

表彰式及び懇親会は「一婦美」でこれも一人も欠けることなく、全員参加でにぎやかな楽しい宴会と



なりました。

優勝は 河原井 弘さん

準優勝は 森田 良徳さん

3位は 朝倉富美夫さん

ベスグロは 長谷川義雄さん（43・37・80）

若い社員の参加も増え、今後のゴルフ部に期待の持てるコンペとなりました。

### ＝ 倶楽部だより ＝

#### 【12月】

- ・ゴルフコンペ (1日)
- ・長期修繕計画委員会 (6日)
- ・クリスマス祭 (8日)
- ・歩く会例会「六義園、迎賓館・赤坂瑞宮、皇居東御苑」 (9日)
- ・理事会 (10日)
- ・歩く会世話人会 (13日)
- ・美術部会 (13日)
- ・重要文化財特別委員会 (14日)
- ・ぶらりまち歩き部会「境野へ」 (16日)
- ・写真部会 (27日)
- ・行事・交流委員会 新年互礼会準備 (28日)

#### 【1月】

- ・新年互礼会 (4日)
- ・歩く会例会「吾妻山」 (13日)
- ・理事会 (15日)
- ・歩く会世話人会 (17日)
- ・長期修繕計画委員会 (24日)

#### 【退社社員】

狩野 喜範  
渡邊 保

一般社団法人 桐生倶楽部 第229号  
2019年（平成31年）1月発行  
発行人 森 壽作  
編集責任者 前原 勝良  
印刷 ツボノ印刷株式会社

# 平成 31 年度 定時社員総会

日時：平成 31 年 2 月 26 日

一般社団法人 桐生倶楽部

## 次 第

1. 開会のことば

1. 総会成立報告

1. 理事長あいさつ

1. 議長選任

1. 議事録署名人選出

1. 議 事

第1号議案 平成30年度 事業報告

第2号議案 平成30年度 決算報告  
平成30年度 公益目的支出計画実施報告  
監査報告

第3号議案 役員改選  
正副理事長互選  
新理事長あいさつ

第4号議案 平成31年度 事業計画案

第5号議案 平成31年度 収支予算案

第6号議案 平成32年度(2020年度)収支暫定予算案

第7号議案 その他

1. 閉会のことば

※ 総会終了後  
卓話「桐生倶楽部物語～長期修繕への新たな一歩」



# 平成30年度 事業報告

自 平成30年 1月 1日  
至 平成30年12月31日

一般社団法人 桐 生 倶 楽 部

社員総数 243名（名誉社員0名、正社員243名）

内 訳（法人11社、個人232名）

入 社 11名（内法人1）

退 社 16名（内法人0）

行事・集会 100回

新年互礼会1回、文化祭1回（絵画展、写真展、  
ゴルフ大会、麻雀大会、囲碁大会） ガーデンパーティー1回、  
クリスマス祭1回、総会1回、理事会12回、役員特別懇談会1回、  
監査会1回、交詢社訪問1回、消防訓練1回、  
座談会「100周年を迎えて」1回、100周年記念植樹1回、  
100周年記念式典・祝宴1回、月次会6回、

委員会32回

（行事・交流委員会5回、文化活動委員会1回、営繕委員会1回、  
会報委員会6回、社員増強委員会、重要文化財特別委員会3回、  
懇話会、百年史編纂特別委員会、100周年総務部会3回、  
100周年式典・祝宴部会4回、100周年記念事業部会1回、  
長期修繕計画委員会8回）

部会38回

（歩く会11回、歩く会世話人会11回、ゴルフ部会3回、写真部会3回、  
美術部会3回、麻雀部会1回、囲碁部会2回と毎週土曜日碁会、  
ぶらりまち歩き部会4回、音楽鑑賞部会、旅行部会、歴史探訪部会）

そ の 他 会報6回発行

平成30年度

室別使用状況


月	広 間	一 号	二 号	四 号	五 号	六 号	別 館	庭 園	ロ ビ ー	全 館	合 計
1 回数(回)	12	6	6	0	0	9	1	0	0	4	38
月 人数(名)	385	45	36	0	0	41	13	0	0	18	538
2	12	8	3	0	0	10	1	0	0	1	35
月	398	93	26	0	0	55	14	0	0	2	588
3	8	7	3	0	2	11	1	0	0	2	34
月	259	75	29	0	11	55	16	0	0	13	458
4	8	6	3	1	0	12	1	1	0	5	37
月	241	62	23	7	0	67	18	40	0	147	605
5	9	8	2	1	3	9	1	1	0	10	44
月	244	118	18	4	14	45	18	79	0	187	727
6	8	5	2	0	1	13	1	1	0	0	31
月	315	53	20	0	7	87	17	2	0	0	501
7	9	5	3	0	0	11	0	0	0	2	30
月	391	66	23	0	0	54	0	0	0	102	636
8	7	5	2	0	0	11	1	0	0	3	29
月	255	56	19	0	0	70	12	0	0	9	421
9	5	9	3	0	1	9	1	4	2	1	35
月	236	115	17	0	6	47	17	45	4	2	489
10	13	4	2	2	0	7	1	0	1	1	31
月	480	51	18	4	0	44	14	0	2	2	615
11	10	9	5	0	0	6	1	4	0	5	40
月	340	120	31	0	0	36	12	20	0	24	583
12	10	6	2	0	0	8	1	0	1	3	31
月	469	74	17	0	0	40	14	0	7	6	627
合 回数(回)	111	78	36	4	7	116	11	11	4	37	415
計 人数(名)	4,013	928	277	15	38	641	165	186	13	512	6,788


# 監 査 報 告 書

平成30年度決算報告書の各事項について監査したところ、  
その内容は適正なものと認めました。

平成31年2月5日

一般社団法人 桐 生 倶 楽 部

監 事 阿 部 高 久 



監 事 酒 井 豊 

# 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人 桐生倶楽部  
理事長 森 壽作 殿

平成31年2月5日

一般社団法人 桐生倶楽部

監事 阿部 高久   
監事 酒井 望 

私たち監事は、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

# 役員改選

## 新理事（案）

佐藤富三	森壽作	山口正夫	北川洋
坪井良廣	根津紀久雄	前原勝	藤江篤
岸田信克	宮地由高	村田勝俊	水越稔幸
小林康人	栗原信治	森末廣	桑原志郎
高梨静江	市川孝江	堀明	田中一枝

## 新監事（案）

酒井 豊 阿部 高久(顧問) 久保田 寿栄

## 平成31年度 事業計画 (案)

### 1. 理事会(毎月)・役員特別懇談会(年2回)・監査会(年1回)

2. 主な行事	1月	新年互礼会	歩く会例会	
	2月	社員総会	歩く会例会	
	3月	月次会	歩く会例会	
	4月	月次会	歩く会例会	
	5月	文化祭(絵画・俳句・写真等)	ガーデンパーティー (ゴルフ大会・麻雀大会・囲碁大会等)	歩く会例会
	6月	月次会	歩く会例会	
	7月	月次会	歩く会例会	
	8月			
	9月	月次会	歩く会例会	
	10月	月次会	歩く会例会	
	11月	月次会	歩く会例会	
	12月	クリスマス祭	歩く会例会	

### 3. 委員会

#### 1) 文化活動委員会

- ・文化祭
- ・各種趣味の部会(10部会)  
美術部会・麻雀部会・囲碁部会・ゴルフ部会・歩く会・写真部会  
音楽鑑賞部会・旅行部会・歴史探訪部会・ぶらりまち歩き部会

#### 2) 行事・交流委員会

- ・新年互礼会
- ・ガーデンパーティー
- ・クリスマス祭

#### 3) 営繕委員会

- ・会館の修理保全

#### 4) 会報委員会

- ・年6回 会報発行

#### 5) 総務委員会

#### 6) 社員増強委員会

#### 7) 懇話会

#### 8) 長期修繕計画委員会

## 寄付芳名録

平成30年度

- |     |                                       |                          |     |
|-----|---------------------------------------|--------------------------|-----|
| 3月  | 桐生ロータリークラブ創立65周年事業<br>(刺繍画 鏡獅子「座舞」一式) | 桐生ロータリークラブ<br>会長 前原      | 勝様  |
| 7月  | 桐生倶楽部百年史編纂事業助成金<br>(250,000円)         | 公益法人 桐生法人会<br>会長 朝倉      | 泰様  |
| 10月 | 100周年記念寄付金<br>(500,000円)              | 桐生市名誉市民<br>笹川            | 堯様  |
| 10月 | 100周年記念寄付金<br>(300,000円及び置時計)         | 永井                       | 文子様 |
| 12月 | 文化財保護負担金<br>(100,000円)                | 公益社団法人 桐生青年会議所<br>理事長 水越 | 正樹様 |

一般社団法人桐生倶楽部  
定時社員総会報告

平成 31 年度定時社員総会は 2 月 26 日午後 6 時 30 分より二階広間で開催され、満場一致で全議案が原案どおり可決されました。

総会は小林理事の司会で、坪井副理事長の開会の言葉に続き、全社員 240 名中 179 名(委任状 133 名を含む)の出席で総会成立(過半数)を確認したとの報告がなされた。森理事長の挨拶のあと、理事長が議長となり議事に入った。

第 1 号議案	平成 30 年度 事業報告	(宮地副理事長)
第 2 号議案	平成 30 年度 決算報告	(村田理事)
	平成 30 年度 公益目的支出計画実施報告	(村田理事)
	監査報告	(酒井監事)
第 3 号議案	役員改選	(森理事長)
第 4 号議案	平成 31 年度 事業計画案	(宮地副理事長)
第 5 号議案	平成 31 年度 収支予算案	(市川理事)
第 6 号議案	平成 32 年度 (2020 年度) 収支暫定予算案	(市川理事)

第 1 号議案から第 6 号議案の各議案のすべてが承認された。

宮地副理事長の閉会の言葉のあと 7 時 50 分閉会となった。

なお、総会終了後臨時理事会が開催され、正副理事長が選定された。  
承認された理事及び監事は下記のとおりです。(太字は新任)

理事長	森 壽作				
副理事長	坪井良廣	前原 勝	宮地由高		
会計理事	村田勝俊	市川孝江			
理 事	佐藤富三	山口正夫	北川 洋	根津紀久雄	
	藤江 篤	岸田信克	水越稔幸	小林康人	
	栗原信治	森 末廣	桑原志郎	高梨静江	
	堀 明	田中一枝			
監 事	酒井 豊	阿部高久	久保田寿栄		

総会終了後、長期修繕計画委員による卓話「桐生倶楽部物語～長期修繕への新たな一歩」の講演があり、午後 8 時 35 分に散会した。

以 上



## “ 会報が変わりました ”

新年度から会報が刷新されました。

今回、A4判・カラーの新しい形で、費用も考え会報委員による手作りに変更したため、発行が遅れましたことお詫び申し上げます。

また、長年携わって下さった青木社員に心から感謝申し上げます。今後はいつもどおり年6回(2・4・6・8・10・12月の10日)の発行を目指します。会報作りに興味ある方、会報委員も募集中です。ぜひお申し出下さい。

まだまだ未熟なため、皆様のご意見を拝聴しながら新しい会報を作り上げていきたいと思っております。会報掲載記事も募集します。どしどしお寄せ下さい。

今後とも会報をご愛読下さいますようお願いいたします。

平成 31 年 4 月

発行責任者  
会報委員会

理事長  
委員長  
副委員長

森壽作  
坪井良廣  
桑原志郎

# 桐生倶楽部会報

376-0035 桐生市仲町 2 丁目 9 番 3 6 号 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## 平成 31 年度 定時社員総会

一般社団法人桐生倶楽部定時社員総会はさる 2 月 26 日火曜日午後 7 時より桐生倶楽部二階大広間に於いて開催された。

平成 30 年度事業報告並びに収支計算の報告なされたあと、今年度は役員改選の年でもあり理事長に森 壽作氏が再任され、また新たに 2 名の理事と 1 名の監事が選出された。再任された森理事長のあいさつでは、「昨年 10 月に開催された 100 周年記念行事が無事に終わりましたことは会員皆様のご協力があったからこそで、あらためて感謝申し上げます。

また、迎えました 101 年目ではありますが、桐生の財産でも有りますこの桐生倶楽部を、社員と共にしっかり守って行けたらと考えておりますのでよろしくお願いいたします。」と述べられた。平成 31 年度事業計画(案)及び収支予算(案)は各担当理事から説明がなされ承認された。

総会終了後の卓話では、「桐生倶楽部物語～長期修繕への新たな一歩」と題し、桐生倶楽部の老朽化した現状と今後の対応について説明がなされた。

(小林康人 記)

## 2 月歩く会

## 足利 石尊山 深高山



2月の歩く会例会は、桐生近郊足利の石尊山・深高山です。7時半、12名全員揃って出発。菱町から道を白葉(しらっぱ)峠越えにとり、予定どおり8時登山開始となった。歩き始めて20分程、「是より女人禁制」の石碑が立っている。杉林の山道を少し行くと、稜線に出る。岩と松とドウダンツツジ、ヤシオツツジに囲まれた庭のようなところを、足元に気をつけながら歩みを進める。石尊不動尊奥ノ宮を過ぎ、僅かばかりで展望台である。展望台からは、360度の眺めで眼下には関東平野が広がり、北方向には赤城・袈裟丸山などが見える。風が強いので、先を急ぐ。山頂(486.4m)は展望台から深高山への道を5分ほど行った雑木林に囲まれ、山名表示板と石祠がある。左手に仙人岳を見ながら、ゆるやかなアップダウンをくりかえすこと35分、深高山(506m)山頂に到着。ここで休憩を長めにとって、元の道を引き返した。来る時に気が付かなかったが、右手の仙人岳は濃淡入り交じり、数年前の山火事の爪痕を色濃く残している。岩稜帯を過ぎるころふと思った。5月のツツジの咲くころもう一度来てみたいと。12時前下山となり、途中おいしいお蕎麦屋さんで昼食をとり、1時過ぎの解散となった。(岸田信克 記)

## 3月歩く会

## 南房総・鋸山をハイキング

“3月歩く会”は3月17日、南房総・鋸山をハイキングしました。6:30バスにて桐生倶楽部を出発、参加者17名。東北道・東京・川崎を経て、東京湾アクアライン・海ほたるで休憩。

10:30 鋸山ロープウェイ駅に到着。通称鋸山は正式名を乾坤山と言ひ、標高330メートルです。山は凝灰岩から成り、江戸時代から建築資材・房州石として採石が行われました。石切場跡に露出した山肌の岩が鋸の歯状に見えることから鋸山と呼ばれています。山のほぼ全域が日本寺、神亀2年(725)に行基菩薩によって開山されました。ここを2時間かけてハイキング。昭和41年完成の百尺観音は高さ30メートル、戦争の犠牲者と交通犠牲者供養のために、石切場の跡地に彫られた磨崖仏です。名所・地獄のぞきは日本寺境内の断崖絶壁の最上部に突き出た岩の先端から、足下100メートルの石切場を覗き込むスリル満点の観光スポット。

東京湾と対岸の横須賀・久里浜を望むことが出来ました。座像の大仏としては日本最大級の大仏・薬師瑠璃光如来像は高さおよそ30メートル、左手に薬壺を持った医薬の仏様です。昼食は金谷港周辺でフリータイム。どこも観光客で満員、比較的金谷フェリーサービスセンターの食堂が空いていました。食後は2010年に建てられた房州石造りの金谷美術館で地元の作家による絵画を鑑賞。

帰路は再びアクアライン経由で。途中渋滞にはまってしまい、予定より遅い19:50となりましたが、全員無事に倶楽部帰着。鋸山での階段の登り下りは予想以上にきつかったようですが、良いお天気に恵まれた楽しい春のハイキングとなりました。

(村田豊樹 記)



## ぶらりまち歩き

## 「桐生・教会めぐり (パート 1)」



桐生市内には一般的にいう教会が 9 か所、又、修道院が 2 か所あります。教会はまちなかに集中して、特に桐生倶楽部周辺に桐生東部教会・泉町教会・カトリック桐生教会・救世軍桐生小隊の 4 か所があり、今回このうち救世軍を除く 3 か所を見学させていただきました。日曜日はそれぞれ礼拝・ミサがあることから、迷惑のかからぬ土曜日(2月23日)に 11 人の参加のもとに実施。順路は桐生東部教会・カトリック桐生教会・泉町教会の順番で留守になる泉町教会以外、普段から外観を何気なく見ていた教会の内部を桐生東部教会では信者の方、カトリック桐生教会では神父さんから丁寧な説明をしていただきました。それぞれ歴史は古く桐生東部教会は 1915 年、カトリック桐生教会は 1906 年、泉町教会は 1916 年でともに創立 100 周年を迎えて、活動についてはそれぞれ多々ありますのでここでは割愛して、ご承知とは思いますが教会の大きな違いとして「神父」はカトリック桐生教会、「牧師」は桐生東部教会・泉町教会。「結婚できる」のは桐生東部教会・泉町教会でカトリック桐生教会は生涯独身。室内の十字架については桐生東部教会・泉町教会は、

「シンプルにそのまま」、カトリック桐生教会は「キリストをぶら下げる」等自由があるそうです。

又市内のカトリック系の施設として堤町 3 丁目「旧聖フランシスコ修道院(男子)」が、現在はさいたま教区桐生研修センター「フランシスコの家」として、川内 3 丁目「聖クララ会大修道院(女子)」の 2 か所がある。

参加の皆さんから良かったとの声もあってホットしておりますが、これも見学の中で何かを理解し、又、納得したこともあったのかと思っております。

(新井晴夫 記)

(追記)

「フランシスコの家」敷地内の屋外にある「十字架の道行」第 1 ~ 14 留までの石造群の等身大規模のものは、他に並ぶものは日本にはないと思われる一度は必見ものだそうです。又、ここは桜もきれいなところですよ。

## 3 月月次会

## 桐生市胃がん内視鏡検診について



3 月 27 日(水曜日)午後 7 時から 8 時半 17 名参加

最初に、自分の病気を含めて、森理事長より挨拶がありました。

3 月月次会、藤江担当理事により、先生は内視鏡のエキスパートであり、桐生医師会副会長そして、桐生倶楽部の会員との講師の菊地一真先生の紹介がありました。

## ＝新入社員紹介＝

パワーポイントによる画像を見ながら、桐生市みどり市の検診事業、そしてわたらせ検診などは、ほぼすべての病気を網羅しているので受けて欲しい。65才以上は高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンなどあること。

胃がんリスク検診では、レントゲンなどは読影医師減少から、内視鏡検診が有効で胃がんは死亡減少傾向にあり。ABC検診によりピロリ菌が胃がんの原因発生に影響が大であること。

桐生市の胃がん内視鏡検診の手続き方法と実際では、数日前の内視鏡検査の実際の動画をみました。実際に自分が薬を飲んで注射をされ鼻から内視鏡を入れられ、その映像をテレビ画面で見るようでした。



症例の種類、胃炎などの炎症、胃がんの軽度から重度まで 症例写真を多数細かい説明を加えて見ました。

参加者が長い時間を忘れるくらい内容のある月次会になりました。

(坪井良廣 記)



## ＝ 倶楽部だより ＝

### [ 2 月 ]

- ・監査 ( 5日)
- ・理事会 ( 8日)
- ・歩く会例会「石尊山・深高山 (17日)
- ・歩く会世話人会 (21日)
- ・ぶらりまち歩き部会「教会めぐりパート1」 (23日)
- ・定時社員総会 (26日)

### [ 3 月 ]

- ・理事会 (11日)
- ・歩く会例会「南房総」 (17日)
- ・行事・交流委員会 (20日)
- ・歩く会世話人会 (20日)
- ・美術部会 (23日)
- ・月次会「新しい内視鏡胃がん検診の有用性について」 (27日)

### < 退社社員 >

原 秀匡 赤岩 英夫(ご逝去)  
猪狩 正平 曾我 悟

一般社団法人	桐生倶楽部	230号
2019年(平成31年)	4月発行	
発行人	森 壽作	
編集責任者	坪井 良廣	
印刷	桐生倶楽部	

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## 五月晴れのもと、盛大に開催された 令和初のガーデンパーティ

今年も桐生倶楽部恒例の文化祭とガーデンパーティが開催されました。

文化祭では、9日から11日までの三日間、社員の作品が展示され今年も多くの方の感動を頂きました。11日の最終日、さわやかな五月晴れに恵まれた中でガーデンパーティが開催されました。

今年も奇しくも、令和元年に創立101年目

を迎える桐生倶楽部。80名近い参加者は、福田昌史、真由子夫妻の奏でるアコーディオンとカホンと歌声の中で大盛況。閉会の挨拶にも誰も席を立たれる方がいないという盛会でした。

ご参加頂いた皆様に役員、行事・交流委員会共々、心から御礼申し上げます。

(田中一枝 記)

歩く会 4月例会報告

## 武甲山トレッキングと 羊山公園・芝桜



4月の歩く会例会は、秩父のシンボル武甲山とその麓に広がる芝桜で有名な羊山公園です。6時、出席予定者10人、桐生倶楽部集合出発。北関東道太田藪塚インターから花園で降り、一般道で横瀬にある生川（うぶかわ）の登山口に8時5分到着。ここで、山登り組とぶらり街歩き組の2班に分かれた。山登り組は3人。生川沿いの登山路は、緩傾斜ではあるが、踊り場がなく登山者を悩ませる。1時間ほど歩いた頃、目の前に大きな杉の木が見えてきた。休憩場所の「大杉の広場」だ。3～4グループの人が休んでいた。大杉を過ぎ、15分ほど行くと道がぬかるんできた。何日か前の季節外れの雪の影響だ。山頂に近づくにつれて傾斜がきつくなり、休憩から1時間弱で山頂にたどり着いた。狭い山頂には人が大勢いて、賑やかだった。遠くの山は霞んではっきり見えなかったが、眼下を見ると羊山公園の芝桜のピンクが色鮮やかに目に飛び込んできた。写真を撮ってから、昼食をとり来た道を引き返し、1時5分登山口に到着、予定より1時間程度早い下山となった。

(岸田信克 記)

武甲山登山口で別れた羊山グループ7人は羊山公園・17,600㎡の芝桜の丘へ向かう。到着の芝桜の丘は12日から「芝桜まつり」と云っていたが無料で16日から有料になるとの説明に「チョット得をした気分」これも開花の状況を見て決めたのかと入園して園内を見渡し、この広さの園内では花個々の開花のずれもあることからこれで納得。

記念の写真の後、起伏のある丘をどこから見ればとそれぞれ約1時間の自由見学、早朝の入園で、すいていた園内も帰るころには人も増えて、道路は入園待ちで渋滞。市内散策に向かい登山グループとの待ち合わせの場となる「道の駅・秩父」から秩父神社に向かい参拝の後、昼食及び市内の自由散策。

今回は山登りとぶらりまち歩きの、2グループに分かれての行動に集合場所を定めて、バスの送迎を行うことで、グループそれぞれが行動でき、概ね時間通りにできたことは、参加者皆さんの協力のおかげです。

(新井晴夫 記)



歩く会 5月例会報告

## ツツジと山桜咲く前日光高原の 牧場から横根山、井戸湿原、方塞山

桐生倶楽部を7:00に出発。総勢9名（男6、女3）と運転手の竹内さんである。雲がたちこめていたが、新緑が目にしみる渡良瀬溪谷を走り、8時半に日光ハイランドロッジに到着。登山靴の紐を締めて9時に歩行開始。広く平らな道を散歩の気分である。曇り空で遠景は煙っている。その中で大きな男体山、真っ

白い雪を冠る白根山、三角形の皇海山などが視野に入る。展望台の傍の岩の形から名付けられた象の鼻展望台



から道は下りになって井戸湿原の木道を30分歩く。湿原と言っても水は少ない。間もなく横根山への登りにかかる。周りのツツジは、赤、白、紫、黄と桐生の水道山より多彩である。しかし赤はまだ蕾の状態である。最後の急な階段を登りきると横根山頂(1,373m)に到着。雑木林に囲まれて眺望は効かない。枝の間に真っ白い白根山が望まれるだけである。グループはここで二つに分かれる。4人は牛が一頭も見当たらない牧場の白い柵に沿ってロッジを見下ろして一旦下り、頂上に電波塔の立つ方塞山(1,338m)を目指す。他の6人はハイランドロッジに直接下る。12時にロッジに到着、天ぷらやニラのそばを味わう。食後ゆっくり休憩している時に登山組が予定より早く、1時半に戻ってきた。2時にバスが出発した。2時半に国民宿舎河鹿荘に着いて、新装なった温泉で大きなガラス窓から赤いツツジを見下ろしつつ、湯にゆっくりと浸った。ビールで喉を潤して3時45分に発車、5時10分に桐生倶楽部に帰着した。

(山口一郎 記)

## 平成31年度 春のゴルフコンペに寄せて



平成最後のゴルフコンペが、鳳凰ゴルフ倶楽部において、絶好のゴルフ日和のなか盛大に行われました。今回も、18名（5組）の方々に参加いただき無

事開催できました事を感謝申し上げます。

当日は、各ホールごとに満開の桜の情景をみることができ、さぞかし皆様の脳裏に強烈に焼きついたのではないのでしょうか？それだけでも、ゴルフのスコアより価値があったと思いますがいかがですか。

次回予定(秋)もそのような、景色にめぐり合え、一日楽しくゴルフが出来ますことを期待し、大勢の方の参加をお待ち申し上げます。

(森田良徳 記)

#### ■桐生倶楽部 春のゴルフコンペ 結果■

平成31年4月13日(土):鳳凰ゴルフ倶楽部

優勝 長谷川義雄 3位 石関 厚

準優勝 津久井真澄 ベスグロ 石関 厚

## 4月月次会

### 坂口安吾・桐生ゆかりの人々 そして品々



4月月次会は23日、桐生倶楽部二階大広間に於いて一般公開講座として行われました。講師の奈良彰一さんは当倶楽部社員で、「安吾を語る会」代表を務められ、今日は坂口安吾が晩年を桐生で過ごしたその3年間に焦点をあてて講演をしていただきました。

坂口安吾が晩年を桐生で過ごしたその3年間に焦点をあてて講演をしていただきました。

安吾が桐生に住んでいたことは大概の方が知っていると思いますが、奈良さんは子どもの頃桐生で安吾と会った記憶があり、また安吾の死後東京の千代夫人のもとをしばしば訪れ安吾の作品などについて話し合ったそうです。

話は桐生に来るきっかけとなった伊東競輪写真判定の件から始まり、桐生の文化人との交流、桐生人の気質、風土、食べ物などに惹かれて桐生に住むことになり、旧友で桐生在住の作家南川潤の紹介で書上文左衛門邸に引っ越したこと、そして桐生時代に多くの代表作を執筆し、桐生を舞台にしたエッセイもたくさん発表したとの話等々大変興味深く、楽しく拝聴しました。そして桐生倶楽部会員と多くの関わり合いがあったとの話には、当時の倶楽部が市を代表する文化人の集いであったことがうかがわれました。

今回はなかなか見られない自筆原稿、筆署名本、自筆色紙そして愛用のゴルフクラブその他、多くの貴重な品々が特別展示され、参加者は手にとって鑑賞することができました。



最後に奈良さんは、現状では安吾ゆかりの貴重な品々が各所で所蔵されていて散逸の危険にさらされており、小さくてもきちんと博物館法に合う文学にこだわったミュージアムを作り、桐生観光の起爆剤にしたいとの思いを語られました

(参加者 25名 栗原信治 記)

## ぶらりまち歩き

### 信州別所温泉と 上田市・歴史探訪

4月21日(日)市長・市議会議員の投票日にも関わらず「歴史探訪とぶらりまち歩き」に8名の方に参加していただきありがとうございました。

桐生倶楽部午前6時出発、帰着午後6時と計画通りに実施することができました。午前中は国宝や重要文化財の建造物が存在する別所温泉、午後は上田城址や宿場町(北国街道)の古い街並みが残る上田市をぶらりと探訪です。



まず常楽寺へと参道を進むと正面高みに大きな茅葺屋根の本堂、近づいて下から見上げると本堂に凄い、この本堂裏にある重要文財・多

宝塔の見学をして国宝八角三重塔の安楽寺へ、駐車場から本堂への長い坂道を登り本堂脇から裏山へ、杉林と墓地に囲まれて聳え立つ三重塔、木造の八角塔は日本でただ一つ姿が美しい。次の北向観音は本堂が北向き、境内の巨木・愛染カツラ(川口松太郎・長編小説「愛染かつら」はこの木に因んで)に感嘆、記念の写真の後参道でお茶の休憩。

昼食は池波正太郎さんが通った上田の蕎麦屋「刀屋」へ向かい到着するも日曜定休で残念、そこで近くの池波正太郎・真田太平記館見学の後、北国街道を散策しながら(市内中心部の北国街道は海野宿方面から市内に入って右折・左折・右折をして善光寺方面へ)街並みが残る柳町に至り、ぶらり歩きの中で気になった造り酒屋でのお買い物その後、風情ある古民家の蕎麦屋「お西」で昼食。「この店は蕎麦の研究に熱心らしく、本に紹介されて大勢の来客で繁盛の様子、美味しかった」。

食事の後は、上田城址の見学へと北国街道の上紺屋町・下紺屋町をぶらぶら歩きして、僅かに桜が残る上田城址へ到着、上田城址の自由散策を楽しみ帰路。

「信州の鎌倉と云われる別所温泉並びに真田のふるさと上田」は、歴史探訪とぶらりまち歩きそのもので、この日の歩数は11,743歩でした。

(新井晴夫 記)



### 桐生倶楽部 美術部会 令和元年 第1回企画のご案内

前回の萩原朔太郎記念館と、アーツ前橋の「岡本太郎と今日の芸術」に続いて、群馬県立館林美術館の企画展『熊谷守一 命を見つめて』2019年4月20日-6月23日を鑑賞します。

期 日 令和元年(2019)6月22日(土)  
集 合 新桐生駅(9:00 特急りょうもう号9:15 発に  
乗車、切符は各自で購入)

9:58 館林駅下車、タクシーに乗り合わせて館林美術館へ。入館料 850円は部で負担  
昼食 館内の食堂にて感想を語りあいながら会食。  
現地解散。

午後の観光スポット 館林市の里沼(多々良沼、城沼  
など)散策、正田記念館など、希望の場所へどうぞ。

興味のある方は事務局までお問合せ下さい。

TEL 45-2755

(山口一郎 記)

### 桐生倶楽部囲碁部会

平成31年度春季囲碁大会報告

囲碁部会長 田中義弘

実施日時:平成31年4月20日(土)9時30分~15時

実施場所:6号室 参加人数:7名

対戦方式:トーナメント方式(1回戦は1名くじ引き  
よる不戦勝)

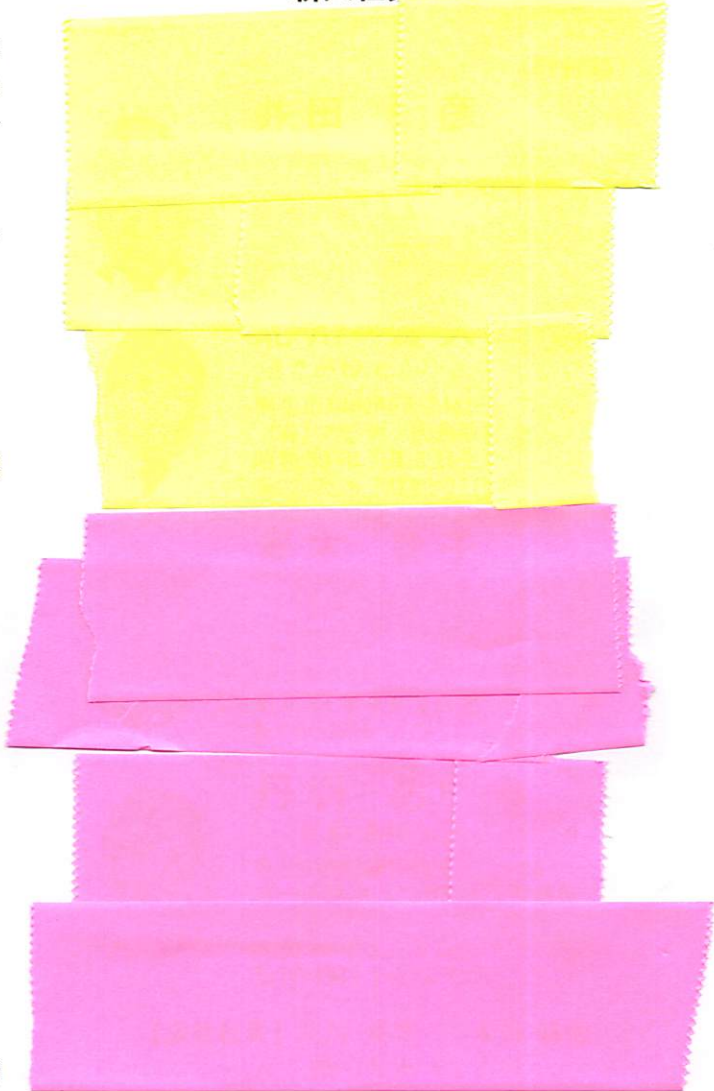
対戦結果:優勝 井上孝之 準優勝 田中義弘  
3位 岩崎孜郎

#### ●お願い

囲碁部会は原則、毎週土曜日13時30分から17時の間に、当倶楽部6号室にて対局を行ない活動しています。社員の皆様方の中には、今はやっではないけれども囲碁の出来る方が沢山おられると思います。囲碁をまた始めてみませんか。是非一度対局場に足を運んでみて下さい。お待ちしております。(岩崎孜郎 記)

### ようこそ倶楽部へ

=新入社員紹介=



一般社団法人 桐生倶楽部 第231号  
2019年(令和元年)6月発行  
発行人 森 壽 作  
編集責任者 坪井 良廣  
版下製作者 須 永 恒 雄

### =桐生倶楽部だより=

#### 【4月】

- ・長期修繕計画委員会 (4日)
- ・理事会 (8日)
- ・春のゴルフコンペ「鳳凰ゴルフクラブ」 (13日)
- ・歩く会例会「秩父 武甲山・羊山公園」 (14日)
- ・歩く会世話人会 (18日)
- ・麻雀大会「パスタタイム」 (19日)
- ・春季囲碁大会 (20日)
- ・ぶらりまち歩き部会・歴史探訪部会  
「信州別所・上田」 (21日)

- ・月次会「坂口安吾・桐生ゆかりの人々、  
そして品々」 (23日)
- ・写真部会 (26日)
- 【5月】
- ・文化祭準備・講評会 (8日)
- ・文化祭 (9日~11日)
- ・ガーデンパーティ (11日)
- ・理事会 (13日)
- ・歩く会例会「前日光高原」 (19日)
- ・会報委員会 (22日)
- ・歩く会世話人会 (23日)



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部 TEL 45-2755



## 6月月次会 講演会「荒木市長 桐生を語る」

去る6月13日(木)開催の月次会では、4月の選挙で当選した新市長の荒木氏をお招きしこれからの市長としての抱負を語っていただいた。当日は社員を中心に63名の方が公聴に集まり二階大広間が満席となり、今後の桐生市への関心の高さを感じた。冒頭に荒木市長は桐生市の人口減少という大きな課題に直面していることを話され、この新たな時代に、シティブランディング戦略の取組などを通して桐生の潜在能力を最大限に引き出し、若者が夢を持ち、一人一人が輝き、そして誰もが住み続けたいくなる、そんな桐生市を、市民の皆様と共に感じ、共に創って行きたいと抱負をのべられました。

荒木市長の公約であります48の政策を、次の10のテーマに整理したそれぞれの項目を語っていただきました。

1. 桐生独自の子育て・教育環境の整備
2. 人口減少対策
3. 産業振興と雇用拡大
4. 市民力を生かした観光誘客



5. 安全・安心の暮らしづくり
6. 生きがいと健康のまちづくり
7. 便利で快適な交通網の整備
8. 市民参加と市役所一新
9. 未来志向の広域行政
10. 新たな価値観を創造・共有するまちづくり

これらを具現化するための第一歩として、すでに市議会第2回定例会に補正予算を提案されているそうで、今後、市役所内に組織横断的な検討チームを設置し、公約の実現に向けた検討をさらに進めていく予定であるそうです。

この他にも、多くの市民の皆様から、ご意見やご要望等を頂いておりますので、引き続き職員と一丸となって、新規施策の立案などに取り組み、目に見える形で桐生市民の皆様が元気になるよう、産学官民金の総力を結集し、スピード感と決断力をもって、全身全霊を注いで市政運営にあたりたいと語っておられました。限られた時間での講演で荒木市長はまだ語りきれない様子でしたが、多くの拍手が贈られ閉会しました。

(小林康人 記)

## 6月歩く会例会 日本百名山 谷川岳



今月の例会は、日本百名山で群馬県と新潟県の県境にある谷川岳です。

例月第2日曜日ですが、梅雨入り前に登ろうと6月2日に行きました。

AM6:00に参加者、12名が小型バスで桐生倶楽部を少し曇っている中出発しました。

途中、道の駅で小休止し、ロープウェイ土合駅に8:00着、準備をしてロープウェイで天神平駅そしてリフトを乗り継いで天神峠。



ここで、「頂上を目指す組」6名と、「天神平散策、沢・土合めぐり」6名に別れました。

頂上組は、頂上は少し霧に隠れていましたが頂上に着くころまでには、晴れるだろうと信じて、AM8:45に出発しました。熊穴沢避難小屋～天狗の留り場、この

辺から視界が悪くなり、ほとんど周りの景色が見えなくなりました。時々登山道の脇に凄い雪がありました。肩の小屋下まで来ると、突然目の前に「雪の壁」が現れビックリしました。雪の中にロープが張られて、皆、そのロープを頼りに登ってゆきます。我々も「アイゼン」なしで、一歩～一歩雪面につま先で穴を開ける様に登ってゆきました。ここまでは4人で雪を越えました。上は視界も悪く、風が吹いているので寒く休まずに、トマの耳(1963m)～オキの耳(1979m)まで進みました。AM11:40に着き、ここで写真を撮って直ぐに肩の小屋まで戻りました。ここで昼食を取り、山小屋のコーヒーをいただきました。大変美味しいコーヒーでした。

PM0:20にここを出発し雪の壁を滑りながらも、慎重に降りて、途中何度か休憩を取な



■霧のトマの耳にて

がら天神平駅に2:05に着き、ここで2人と合流してロープウェイで土合駅におりました。頂上は梅雨前だというのに、霧で何も見えませんでした。

一の倉沢・マチガ沢グループは天候が良く下から見る谷川岳の素晴らしい景色を堪能しながら、トレッキングを楽しみました。2:35に12人が合流してバスに乗り込み帰途につきました。途中、ゆびそ温泉ホテル湯の陣で温泉につかり、谷川岳の素晴らしさを語りながら疲れを癒してきました。PM6:00に全員無事に桐生倶楽部に到着、山の醍醐味を味わった一日でした。



(腰塚富夫 記)

## 7月歩く会例会 雲上の楽園 乗鞍岳

前日からの台風情報を気にしながら7月21日(日)の早朝5時に桐生倶楽部を出発。参加者は19名(男7名、女12名)である。高速を長野に入った頃から降り出す。しかし9時到着の豊平(2702m)では路面は乾燥しており、雲は高く、穂高岳など北アルプスの峰々が一望された。ここまでマイカーは規制されており、サイクリストだけが懸命にペダルを漕ぎ登ってくる。いつか樹林帯は切れて、高山帯に入っている。途中の車道の傍に黒い熊を1匹見かける。バスを降りるとひやりとした空気を感ずる。ここで登山組と高山植物鑑賞組に分かれる。

鑑賞組はお花畑において遊歩道を一周しながら、花盛りのハクサンイチゲや黒百合などをゆっくり眺めた。登山組は多くの人々が夏スキーを楽しむ人々も見える雪渓を見下ろしながら、広い車道を30分程歩く、肩の小屋から登山道にかかり、道は歩きにくくなる。尾根筋まで登山客が連なっている、途中から見え出した頂上の剣ヶ峰(3026m)の白い鳥居は、途中朝日岳(2975m)にまで登った時、にわかに湧き上がった白雲に覆われた山頂には4名が到着。



14時20分にバスに帰着。14時30分にバスは出発、途中で梓川と横川のSAに立ち寄って18時40分に桐生倶楽部に戻った。3000m級の山の新緑が美しく、風にも雨にも会わず、快適な山行であった。

(山口一郎 記)

## 【7月月次会】

## 「災害から命を守るために」



7月の月次会は、防災教室「災害から命を守るために」と題し、日本防災士会専門員群馬県支部の防災士福田 力氏を講師にお招きしました。

「安全神話を信じている人は災害に備えていない」から始まり、1. 地震(群馬の活断層) 2. 地震への備え(家族防災会議) 3. 水害 4. 避難 いつ(避難のタイミング) どこを(避難経路) どこへ(避難場所) 5. 避難所の管理・運営(自主防災組織)と、

常日頃から防災意識を持つことの重要性について具体的な方法を交えてお話をお伺いしました。最後に 6. 火災時の対応として、119番通報の仕方、初期消火(消火器の取扱い)、



■講演会参加者の避難訓練

避難の方法について説明を受けた後、参加者全員で避難訓練を実施し終了となりました。

(市川孝江 記)

## ＝美術部＝ 令和元年第1回例会報告

群馬県立館林美術館の企画展『熊谷守一 命を見つめて』を6月22日(土)に鑑賞しました。参加者は8名。午前9時に新桐生駅に集合。9時50分に館林駅に到着。タクシー10分で、広々とした前庭のウサギの彫刻と池の蓮の花を見ながら入館しました。館内では思い思いのペースで約160点の作品を静かな館内で鑑賞しました。1880年に生まれ、97歳の生涯を全うしたことが納得される展覧会でした。

若い時代の暗い色調と激しい筆使いが徐々に簡単な構図と単純な線に変わり、70歳を過ぎてモリカズ様式と呼ばれる作風が確立しました。簡素な輪郭



線、平明かつ軽やかな色面がその特徴です。花、猫、鳥、虫など、命ある小さきものを見つめて描かれた作品群の愛らしさに、感動しました。特に最晩年の作品からは俳句に一脈通ずるものが感じられます。

広い芝生を見晴らす明るいレストランで昼食を摂り、各自一言ずつ感想を発表した後、1時すぎに現地解散して家路に就きました。手近な場所で良い展覧会が見られて幸福な半日でした。

(山口一郎 記)

## 2019年 旅行部会 懐かしい 「蒸気機関車 SL」に乗って

今回初の旅行部会の旅は、初回とあって応募定員10人に対し参加者は半数の5人でしたが、小林理事のワンボックスカーをご提供いただき、雨季真っ最中にもかかわらず晴天に恵まれ、爽やかな山間の風を受け予定どおり全行程を無事終了いたしました。

7月13日(土)、朝8時に桐生倶楽部を出発し、本庄から児玉へ、そして秩父・長瀨の一ノ宮寶登山神社参拝。昼食は「うめだ屋」へ。旧家を利用したレトロな店内は観光客で賑わい参加者はテーブルを囲みヘルシーな豆腐懐石を楽しい話とともに美味しくいただきました。その後、長瀨駅から15分ほど歩き電車にのり秩父駅で下車。市内の歴史と文



■寶登山神社の鳥居前での記念撮影と、豆腐料理の美味しいお店

化を堪能する1時間半ほどの駅周辺散策を行いました。

秩父駅からはC58蒸気機関車に乗車し、長瀨駅までの約20分をタイムスリップして車窓から眺める秩父のまち並みや田園風景を楽しみました。特に初夏とあって、山間の緑も濃く鉄橋眼下に長瀨ライン下りで知られる荒川を眺めながら、心いやせる一時を過ごしました。なにより、参加された方が旅の時々で楽しそうな会話が弾み親睦が図られたことをとともうれしく思いました。

旅とは、新たな経験や知識を求めるだけでなく、人生の癒しや旅先での人との出会いと交流が大切です。旅行部会としては、参加される社員のそうした機会を提供したいと考えています。

(関本金三郎 記)

# 東小わくわくたんけん隊 桐生倶楽部を探検

去る6月28日、桐生市立東小学校の6人の元気な3年生が担任の亀井千恵子先生引率のもと桐生倶楽部会館を見学した。総合学習「わくわくたんけんたいーわたしたちのまちじまんー」の学習プログラムの一環で、学区にある桐生倶楽部の見学を通して、「わたしたちのまち」についての理解を深めるのが狙い。桐生倶楽部にはここ来訪3年連続となった。

見学は、桐生倶楽部会館の外観から始まって、1階から2階、テラス、庭園を見学した後、2号室に戻り、事前に準備していた質問の時間となった。

「桐生倶楽部は何をする場所ですか」、「誰が建てたのですか」など8つの質問があり、事務局と担当理事で対応。「なぜ『桐生倶楽部』という名前になったのですか。」という質問には森理事長が桐生倶楽部の歴史を踏まえながら説明した。

桐生倶楽部の入り口の「部楽倶生桐」という名が右から字を書いているから相当古い建物だといった児童がいたが、小学校3年ともなると結構知識を持っており、驚かされる。また、感受性も豊かで、外壁のタイルのデザインと色合いを見て「シンプルだからこそ美しい」と大人顔負けのコメントもあった。

「桐生倶楽部を選んでよかった」との総合的な感想も聞かれた。桐生倶楽部見学を通してまちづくりの知識を深め、桐生を好きになる子に育つ一助になればと願う次第。

(村田勝俊 記)

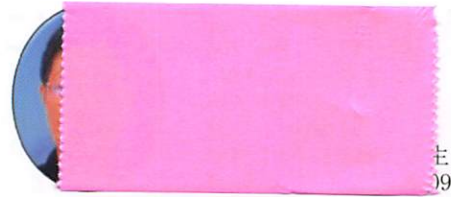


■1号室で、桐生倶楽部についての説明に、メモを取りながら熱心に聴き入る、東小学校「わくわく探検隊」の子どもたち。

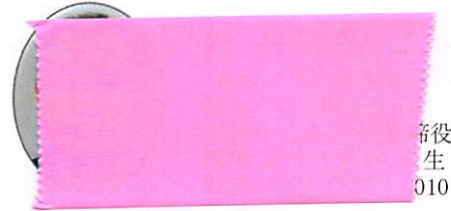


## ようこそ倶楽部へ

=新入社員紹介=



主  
9



第役  
生  
010

### 【法人会員】

**(株)競艇タイムス** みどり市笠懸町阿左美 1103-13  
TEL0277-76-6451  
FAX0277-76-6452

**(株)赤城自動車教習所** 伊勢崎市赤堀町今井町  
1-564  
TEL0270-62-0135  
FAX0270-63-0512

【退社社員】 有坂 昌治 腰塚 誠

## =桐生倶楽部だより=

### 【6月】

- ・歩く会例会「谷川岳」 ( 2日)
- ・長期修繕計画委員会 ( 6日)
- ・理事会 (10日)
- ・歩く会世話人会 (12日)
- ・旅行部会 (13日)
- ・月次会「荒木市長 桐生を語る」 (13日)
- ・美術部鑑賞会「館林美術館」 (22日)

### 【7月】

- ・理事会 ( 8日)
- ・旅行部会「秩父 寶登山神社と豆腐懐石の旅」 (13日)
- ・文化資産小委員会 (16日)
- ・月次会「防災教室」 (17日)
- ・歩く会例会「乗鞍岳」 (21日)
- ・歩く会世話人会 (25日)

一般社団法人 桐生倶楽部 第232号  
 2019年 (令和元年) 8月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 坪井 良 廣  
 版下製作者 須 永 恒 雄

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部  
TEL 0277-45-2755 FAX 0277-45-2980 E-Mail jim@kiryuclub.jp



## 【10月月次会】

### 『世界遺産富岡製糸場とまちづくり

### ～ まちのタカラモノを活かして～』

10月月次会は、10月16日桐生倶楽部二階大広間に、富岡市役所拠点整備課長の森田昭芳氏をお招きして、世界遺産の国宝富岡製糸場を有し、歴史的建造物をはじめとする、地域資源を活かしたまちづくりに積極的に取り組んでいる富岡市の、まちづくりの実践について講話をいただきました。

平成15年に世界遺産登録プロジェクトを発表から、平成26年には、ついに世界遺産に登録された富岡製糸場。世界遺産登録を契機に、富岡製糸場を中心とした区域の歴史的建造物を保存するため、新たな建築制度を整え、開発型の区画整理事業から地域資源を活かしたまちづくりへと、まちづくり手法の大転換を行いました。

登録資産の景観や、環境を重層的に保護するため、建造物の建設及び利用を制限する都市計画法、景観法、景

観条例などを制定し、良好な景観形成づくりのために補助対象事業として、一つ目に歴史的建造物の外観修理修景に対して、二つ目は商店街通りの住民による地域の良好な景観づくりに対して、三つ目は良好な景観形成を目的として自主的活動を行う団体の事業に対して助成することになりました。

まちのタカラモノである歴史的建造物を活かすための取組みの実践。「我々は長い歴史の一場面の登場のみ」。先人から受け取ったバトンを次の世代へバトンをどうつなげるか？

まずは、リフォームにより、老朽化した機能を回復し直すこと、的確なリノベーションにより、新しい価値を付け加え、生まれ変わらせるため、官民連携によるまちづくりに取り組んでいるとのことでした。

参加者 44人 (堀明記)

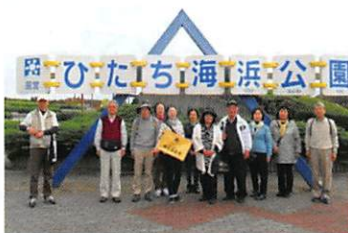
## 10月歩く会例会 「ひたち海浜公園・ 那珂湊漁港・大洗水族館」



コキアの紅葉は「見晴らしの丘」を染め十分な見応えでしたが、それ以上にこのコキアを見るために丘に登る人の数に驚きました。

最初は7時の出発予定でしたが、旅行会社からこの日(10月20日(日))はコキアカーニバルの最終日でも、紅葉も一番の見頃で相当の混雑が予想されることから、出発時間早めては如何と提案があつて、参加者の皆さんに急遽連絡して6時30分桐生倶楽部出発。予定通り9時に西門から入園して11時半までの自由行動。ゲートは広く、多くの入園の皆さん全てがというほど向かう先は見晴らしの丘。ぶらぶらと歩いて約30分「見晴らしの丘」に到着、丘を見上げて見渡せば遊歩道を歩く人の波はあふれんばかりの長蛇の列、写真一枚と思ひ脇により立ち止まった時から人波の流れに飲み込まれて一人の自由行動。

広い園内で2時間半という短い時間ではありましたが、皆さんそれぞれ思い思いに散策していただき、お楽しみの自



由昼食の那珂湊漁港へ向かう。ここでは昼食だけでなくお買い物という要望もあつて滞在時間を延長して思い思いのお店での美味しい昼食とお買い物を楽しんでいただきました。

この日は漁港まつりで海岸通りは大賑わいの人出で、また、漁港内の釣り人から、ここは車が横付けで釣りができて群馬県の人も多いとの声がかかりました。バスは大洗水族館へ移動、イルカショーは満席で残念でしたがテレビで観賞の後、館内を十分見学して帰途、途中都賀ジャンクションで少しの渋滞がありましたが、天気にも恵まれ良い一日であったと思います。

(新井晴夫 記)

## 美術部会 令和元年第2回例会報告

10月30日(水)に高崎シティギャラリーと高崎市美術館で二つの企画展を鑑賞しました。参加者は6名。午前8時45分に桐生駅に集合。晴天に映える赤城山を眺めながら、9時55分に高崎駅に到着。まず東口に出て陸橋を渡り、そのまま5階のシティギャラリーに入り、企画展「日本画そぞろ歩き」を、開館直後の閑散とした雰囲気



■今回訪ねた高崎シティギャラリーと、高崎美術館。

でゆっくりと鑑賞しました。山水画・風景画、美人画・人物画・肖像画、仏画・道釈画などの宗教画、歴史画などにジャンル分けされた古今の名作に触れることができました。白地も巧みに生かし、隅々まで一切の手も抜かず入念に書かれた日本画の特徴に改めて目が開かれた思いでした。

高崎駅5階の明るいレストランで生野菜がたっぷりの昼食を摂り、西口を5分ほど歩いて高崎市美術館に入りました。ここでは企画展「詩をかたどる、詩をきざむ一祈りの庭へ」を見ました。午前と打って変って4人の現役作家の最新の作品が展示されていました。1階受付の前の人物の木彫り彫刻を除いて、小ぶりの作品

が中心でした。作者によってスタイルや作風が大きく異なるそれぞれの作品からは、神秘・崇高・高揚・ユーモアなど様々な



■作品を囲んでの記念撮影。

印象を受けました。一部の作品が展示されている旧井上房一郎邸の安楽椅子にもゆったりもたれて休息しました。3時に美術館を後にして、久しぶりの高崎をぶらり散歩、4時前の電車で帰途につきました。

(山口一郎 記)

## 令和元年11月23日(土) 桐生倶楽部「秋のゴルフコンペ」



今回は、台風の影響もあり、1週間以上前より、雨が気になり、何とか雨だけは回避できればと思う毎日でした、日が

近づくとつれ、曇り予想が雨に変わり、少しでも良い方向に向くことを願うばかりでした。当日は小雨の中合羽を着てのプレーで、また気温も低く、風邪を引いた方もいたのではないかと心配をしているところです。

今回は、ゴルフシーズンとの事もあり出席人数が14名にとどまり、少しさびしい気がいたしました。

パーティは、桐生に帰り午後5時より「一婦美」で大変盛り上がり、まずまず成功裡かなと感じました。

次年度秋のコンペは、令和2年11月12日第2木曜日に内定しました(時節柄他の会と重なってしまう方が多いため)。奮っての参加をお待ちしております。

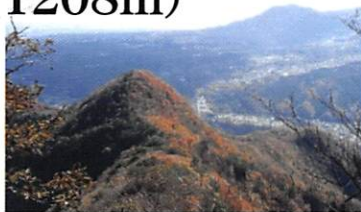
優勝 森田良徳 準優勝 本田雄一郎  
3位 腰塚富夫

(森田良徳 記)

## 11月歩く会例会 群馬百名山 小野子山(1208m)



11月例会は、中毛の名山「小野子山」です。この山は「子持山」と



対峙していて、ひと際存在感のある山ですが、桐生倶楽部歩く会との縁は薄く、今回が初の登山となりました。午前7時、参加予定者10人がそろい、桐生倶楽部集合出発。順調に車は進み、予定より15分程早い登山口への到着となりました。色づいた木々を見ながら登る山道は、急で皆をこざらせましたが、参加者全員の協力で予定時刻より30分ほど早い山頂到着となりました。絶好のハイキング日和と思われていた天候も、時間の経過とともに怪しくなり、山頂に着くころには北風が吹き付け、体

温調節のために脱いだベストを着なおしました。スケジュールに余裕があるので、往復1時間余りの中之岳へ行くことにしました。目の前に聳える中之岳山頂への道は、急な下りを登り返した先になります。全員で中之岳を目指しましたが、先々のことを考え、5人は引き返すことになりました。残った5人の先頭を引っ張るのが、小学2年生・山崎龍(とおる)君です。ニューリーダーの誕生です。年々脚力を増している彼が、ぐいぐい全体を引き上げていくので、ついていくものはアップアップです。中之岳山



頂を早々に引き返し、皆の待っている小野子山山頂で合流、待望の昼食をとりました。帰路は、登りとは別のコースで下山、小野上温泉で疲れを取り家路につきました。



(岸田信克 記)

## 【11月月次会報告】

### 貴重な古盤の魅力 北関東蓄音機倶楽部による コンサート

月次会として第5回目(当館開催では7回目)の蓄音機コンサートが11月24日に2階の大広間で行われた。いつも通り、北関東蓄音



機倶楽部的一方ならぬご支援があって開催されたものであることを付記して置く。

今回はフランスの音楽に焦点をあて、シャンソンからジャズのジャンルにまで及んだ。1916年から30年近辺という、大変貴重な古盤による演奏と歌唱による当時の再現に感銘されたと思う。さらに今回は音だけでなく、映像による演奏者の紹介もあり、参加者を満足させるに十分であったに違いない。参加者28名。

(佐藤富三 記)

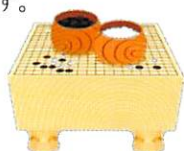


### 桐生倶楽部囲碁部会 令和元年度秋季囲碁大会報告

実施日時；令和元年9月28日（土）9時30分より  
実施場所：6号室  
参加人数：6名  
対戦方式；総当りリーグ戦方式  
対戦結果：優勝 井上孝之 準優勝 岸田信克  
3位 福永儀一

#### ○●囲碁部会からのお願い

囲碁部会は、原則毎週土曜日（1時30分から5時の間）に当倶楽部6号室にて対局を行ない活動しています。社員の皆様方の中には、今はやっていないでも囲碁の出来る方が沢山おられると思います。頭の体操をしながら楽しい時間を過ごす、囲碁をまた始めてみませんか。是非一度対局場に足を運んでみて下さい。お待ちしております。



（岩崎 孜郎 記）

### ＝境野中学校 1年生＝

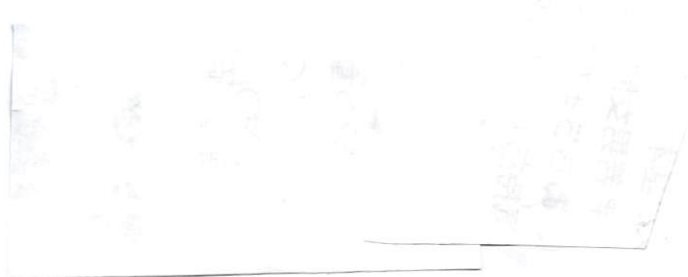
## 「ふるさと桐生を調べよう」と 桐生倶楽部へ

去る10月1日(火)、総合的な学習の時間で「ふるさと桐生を調べよう」と、桐生の施設や自然などを取材し、まとめる活動を通して郷土愛を育むという目的で、桐生倶楽部を選んだ境野中学校1年生5人は、自転車で来館して館内を見て回り、説明にあたった村田理事の話に熱心に聴き入っていました。



## ようこそ倶楽部へ

＝新入社員紹介＝



### ＝桐生倶楽部だより＝

#### 【10月】

- ・理事会 (7日)
- ・月次会  
「世界遺産富岡製糸場とまちづくり」 (16日)
- ・歩く会例会  
「ひたち海浜公園・大洗水族館」 (20日)
- ・歩く会世話人会 (24日)
- ・行事・交流委員会 (29日)
- ・美術部秋の鑑賞会 (30日)

#### 【11月】

- ・長期修繕計画委員会 (7日)
- ・理事会 (11日)
- ・歩く会例会「小野子山」 (17日)
- ・歩く会世話人会 (21日)
- ・秋のゴルフコンペ  
桐生カントリー倶楽部 (23日)
- ・月次会「蓄音機コンサート」 (24日)



一般社団法人 桐生倶楽部 第234号  
 2019年 (令和元年) 12月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 坪井 良 廣  
 紙面構成 須 永 恒 雄

## 桐生倶楽部・歩く会 2020年 計画表

	行き先	テーマ・見所	交通	担当
1月12日 第2日曜	吾妻山	正月恒例山行	吾妻公園 駐車場集合	吉田 腰塚
2月16日 第3日曜	八王子丘陵	地元広沢の 里山歩き	市バス	新井 栗原
3月8日 第2日曜	経塚山	地元川内の 里山歩き	市バス	腰塚 新井
4月12日 第2日曜	太平山	桜と謙信平の眺望	JR	栗原 吉田
5月10日 第2日曜	熊鷹山 根本山	ミツバツツジ、アカヤシオ、 シロヤシオ	自家用車分乗	山口 岸田
6月7日 第1日曜	赤城、荒山 鍋割山	レンゲツツジ	マイクロバス	岸田 栗原
7月26日 第4日曜	車山高原と 八島ヶ原湿原	日本百名山 霧ヶ峰 高山植物の宝庫	小型バス	武井 吉田 栗原
9月13日 第2日曜	西上州 荒船山	日本200名山 軍艦を思わ せる特徴的な山容	マイクロバス	腰塚 岸田
10月18日 第3日曜	日光戦場ヶ原	紅葉の湿原歩き	マイクロバス	山口 武井 新井
11月15日 第3日曜	赤城鈴ヶ岳	紅葉と眺望	マイクロバス	腰塚 岸田
12月13日 第2日曜	東京方面		小型バス	山口 武井 新井

1. 月毎の詳しいスケジュールは各月の案内にてお知らせします。ご参加お待ちしております。

2. 「歩く会」世話人は下記の7名です。

担当理事：岸田信克

世話人代表栗原信治、副代表吉田章(会計)

世話人：腰塚富夫、新井晴夫、武井弘美、山口一郎

# 令和2年度 定時社員総会

日時：令和2年2月25日

一般社団法人 桐生倶楽部

# 次 第

## 1. 開会のことば

## 1. 総会成立報告

## 1. 理事長あいさつ

## 1. 議長選任

## 1. 議事録署名人選出

## 1. 議 事

第1号議案	令和元年度	事業報告
第2号議案	令和元年度	決算報告
	令和元年度	公益目的支出計画実施報告
		監査報告
第3号議案	令和2年度	事業計画案
第4号議案	令和2年度	収支予算案
第5号議案	令和3年度	収支暫定予算案
第6号議案	その他	

## 1. 閉会のことば

# 令和元年度 事業報告

自 平成 31 年 1 月 1 日  
至 令和元年 12 月 31 日

一般社団法人 桐 生 倶 楽 部

- 社員総数 236 名（名誉社員 0 名、正社員 236 名）  
内 訳（法人 14 社、個人 222 名）
- 入 社 14 名（内法人 3）
- 退 社 21 名（内法人 0）
- 行事・集会 86 回  
新年互礼会 1 回、文化祭 1 回（絵画展、写真展、ゴルフ大会、麻雀大会、囲碁大会） ガーデンパーティー 1 回、  
クリスマス祭 1 回、総会 1 回、理事会 12 回、役員特別懇談会、  
監査会 1 回、消防訓練 1 回、2 階大窓修復を祝う集い 1 回、  
高校生による桐生倶楽部会館をモチーフにした絵画制作 1 回、  
月次会 7 回、  
委員会 18 回  
（文化活動委員会 1 回、行事・交流委員会 3 回、営繕委員会、  
会報委員会 7 回、総務委員会、社員増強委員会、懇話会、  
長期修繕計画委員会 6 回、文化資産小委員会 1 回、）  
部会 40 回  
（歩く会 11 回、歩く会世話人会 11 回、ゴルフ部会 2 回、  
写真部会 2 回、美術部会 5 回、麻雀部会 1 回、  
囲碁部会 2 回と毎週土曜日碁会、ぶらりまち歩き部会 3 回、  
音楽鑑賞部会、旅行部会 2 回、歴史探訪部会 1 回、）
- そ の 他 会報 6 回発行

令和元年度

室別使用状況


月	広 間	1 号	2 号	4 号	5 号	6 号	別 館	庭 園	ロ ビ ー	全 館	テ ラ ス	合 計
1 回数(回)	12	5	2	0	0	9	1	0	0	0	0	29
月 人数(名)	419	51	10	0	0	47	12	0	0	0	0	539
2 回数(回)	6	5	5	0	0	15	1	0	0	1	0	33
月 人数(名)	286	72	35	0	0	95	14	0	0	10	0	512
3 回数(回)	6	11	3	0	0	12	1	0	0	2	0	35
月 人数(名)	229	238	35	0	0	98	20	0	0	198	0	818
4 回数(回)	9	3	2	0	1	8	1	2	0	6	0	32
月 人数(名)	262	34	12	0	4	43	19	44	0	141	0	559
5 回数(回)	4	7	2	0	3	7	1	1	0	1	0	26
月 人数(名)	170	113	11	0	7	36	19	77	0	3	0	436
6 回数(回)	9	6	3	0	1	9	1	0	0	4	0	33
月 人数(名)	349	71	29	0	4	45	19	0	0	25	0	542
7 回数(回)	12	6	3	0	2	5	1	0	0	0	0	29
月 人数(名)	524	108	18	0	9	17	17	0	0	0	0	693
8 回数(回)	5	6	3	0	1	8	1	0	0	1	0	25
月 人数(名)	210	63	25	0	3	32	18	0	0	33	0	384
9 回数(回)	10	11	4	2	1	8	1	0	0	3	0	40
月 人数(名)	378	111	34	5	2	50	16	0	0	30	0	626
10 回数(回)	5	4	4	0	0	11	1	0	0	2	1	28
月 人数(名)	172	56	34	0	0	51	16	0	0	9	10	348
11 回数(回)	11	8	3	0	1	8	1	2	0	2	0	36
月 人数(名)	372	166	21	0	4	34	16	26	0	6	0	645
12 回数(回)	11	11	2	0	0	11	1	0	0	4	0	40
月 人数(名)	409	116	15	0	0	42	20	0	0	59	0	661
合 回数(回)	100	83	36	2	10	111	12	5	0	26	1	386
計 人数(名)	3,780	1,199	279	5	33	590	206	147	0	514	10	6,763

# 監 査 報 告 書


令和元年度決算報告書の各事項について監査したところ、  
その内容は適性なものと認めました。

令和2年2月4日

一般社団法人 桐 生 俱 楽 部

監 事 阿 部 高 久 

監 事 酒 井 費 


監 事 久 保 田 寿 崇 

# 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書


一般社団法人 桐生倶楽部  
理事長 森 壽作 殿

令和2年2月4日

一般社団法人 桐生倶楽部

監事 阿部 高久 

監事 西井 豊 

監事 久保田 寿栄 

私たち監事は、平成31年1月1日から令和元年12月31日までの事業年度の公益目的支出計画報告書に関する監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。



# 令和2年度 事業計画案

## 1. 理事会（毎月）・役員特別懇談会（年2回）・監査会（年1回）

## 2. 主な行事

1月	新年互礼会	歩く会例会	
2月	社員総会	歩く会例会	
3月	月次会	歩く会例会	
4月	月次会	歩く会例会	
5月	文化祭（絵画・写真等）		ガーデンパーティー
	（ゴルフ大会・麻雀大会・囲碁大会等）	歩く会例会	
6月	月次会	歩く会例会	高校生による絵画発表展示
7月	月次会	歩く会例会	
8月			
9月	月次会	歩く会例会	
10月	月次会	歩く会例会	
11月	月次会	歩く会例会	
12月	クリスマス祭	歩く会例会	

## 3. 委員会

### 1) 文化活動委員会

- ・文化祭
- ・各種趣味の部会(10部会)  
美術部会・麻雀部会・囲碁部会・ゴルフ部会・歩く会・写真部会  
音楽鑑賞部会・旅行部会・歴史探訪部会・ぶらりまち歩き部会

### 2) 行事・交流委員会

- ・新年互礼会
- ・ガーデンパーティー
- ・クリスマス祭

### 3) 営繕委員会

- ・会館の修理保全

### 4) 会報委員会

- ・年6回 会報発行

### 5) 総務委員会

### 6) 社員増強委員会

### 7) 懇話会

### 8) 長期修繕計画委員会

## 寄 付 芳 名 録

令和元年度

- |     |                                 |                               |
|-----|---------------------------------|-------------------------------|
| 8月  | 桐生倶楽部会館二階大広間出窓の修繕<br>(100,000円) | 公益社団法人 桐生法人会<br>会長 津久井 真 澄 様  |
| 12月 | 文化財保護負担金<br>(100,000円)          | 公益社団法人 桐生青年会議所<br>理事長 葉 山 勇 様 |

一般社団法人桐生倶楽部  
定時社員総会報告

令和2年度定時社員総会は2月25日午後6時30分より二階広間で開催され、満場一致で全議案が原案どおり可決されました。

総会は北川理事の司会で、前原副理事長の開会の言葉に続き、全社員236名中176名(委任状125名を含む)の出席で総会成立(過半数)を確認したとの報告がなされた。森理事長の挨拶のあと、理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案	令和元年度 事業報告	(前原副理事長)
第2号議案	令和元年度 決算報告	(村田理事)
	監査報告	(酒井監事)
	令和元年度 公益目的支出計画実施報告	(村田理事)
	監査報告	(久保田監事)
第3号議案	令和2年度 事業計画案	(宮地副理事長)
第4号議案	令和2年度 収支予算案	(市川理事)
第5号議案	令和3年度 収支暫定予算案	(市川理事)

第1号議案から第5号議案の各議案のすべてが承認された。

宮地副理事長の閉会の言葉のあと7時40分閉会となった。

なお、令和2年度役員は昨年引き続き下記のとおりです。

理事長	森 壽作				
副理事長	坪井良廣	前原 勝	宮地由高		
会計理事	村田勝俊	市川孝江			
理 事	佐藤富三	山口正夫	北川 洋	根津紀久雄	
	藤江 篤	岸田信克	水越稔幸	小林康人	
	栗原信治	森 末廣	桑原志郎	高梨静江	
	堀 明	田中一枝			
監 事	酒井 豊	阿部高久	久保田寿栄		

以 上

# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部  
TEL0277-45-2755 FAX0277-45-2980 E-mail jimukiryuclub.jp



## 令和2年度 定時社員総会

一般社団法人桐生倶楽部定時社員総会は去る2月25日(火)午後7時より桐生倶楽部二階広間において開催された。

議事に先立ち森理事長より挨拶があり「平成31年で始まり令和元年で終わった年度が無事終了できましたことは、理事役員はじめ社員の皆様のご協力のおかげと改めて感謝申し上げます。昨年8月には築後100年を迎えた桐生倶楽部会館の文化財保存維持の将来を視点に、東京文化財研究所の金井健保存計画研究室長を訪問し、また12月には桐高・桐女両校美術部の生徒による桐生倶楽部会館スケッチ会を開催し、今年6月には展覧会も予定しております。また、桐生倶楽部の前身である桐生懇話会も今年が創立120年に当たるのを期に、その存在意義を再認識すべく学び直したいと思います。

さて、本年度も事業計画のとおりに進めていく所存ですが、桐生倶楽部の原動力は社員増強にあり社員の皆様一人一人の勧誘へのご協力をお願いしますとともに、諸行事や趣味の部会を通じての楽しい倶楽部運営を心掛けたいのでよろしくお願いいたします。」と述べられた。

その後議事に入り、まず令和元年度事業報告と決算報告及び公益目的支出計画実施報告に続いて監査報告が各担当理事及び監事からなされそれぞれ承認された。

次に令和2年度の事業計画案に続き収支予算案、更に令和3年度の収支暫定予算案が各担当理事から示され承認された。

総会終了後の卓話は行わず午後7時40分に閉会となった。

(前原 勝 記)

## ぶらりまち歩き・令和2年1月 相生の松から富士山を歩く

寒明け間近の1月26日(日)、相生町のぶらりまち歩き。

JR桐生駅発(8:54)からわたらせ渓谷鉄道で下新田駅着(8:58)までの約4分間の乗車、ここで降りるのは初めてと感激の声。又ワンマンの乗務員さんもこの駅は一日に数十人のお客なのに一度にこんなにと驚く。「相生の松」は下新田から直線距離ではすぐ近く、しかし道は遠回り住宅地をぶらぶらとあるいて現地「相生の松」へ、「おー立派だね」、「聞いていたけど初めて」と皆さんは驚きの中ですら記念の一枚を撮る。

「松は永遠や長寿を象徴し、相生の松は特に縁結びや和合の象徴とされて日本各地に点在され、桐生市のほか、兵庫県高砂市・山形県南陽市が有名(ウィキペディアより)」承知はしているが傍で見たことがない。又電車の窓越しに見ている方は結構いると思いますが群馬県指定の天然記念物です。ぜひ一度ご覧になってはどうですか。

次の明治館へは来た道を少し戻り東武鉄道と渓谷鉄道が並行している間の道から桐生工業の側を通って桐生市消防団第15分団交差点を右折して明治館(国指定・重要文化財)。小休憩、正面で一枚の写真の後、富士山を目指して相生小学校前で上毛電鉄の踏切を渡り保険福祉事務所の前から東へ新しく造られた道を線路に沿って歩き岸病院前の越後屋さん脇に出て富士山下駅前の富士山登山口、以前ここは県道前橋大間々桐生線として交通量が激しくカーブであったことから危険な箇所であったが赤岩橋の架替えて道路が付け変わり現在は行き止まりで通行の無い静かな所となっている。



この富士山も浅間信仰の対象と云われている山で、標高160m・高低差約50メートルを整備された登山道でアッと云う間の登り(それぞれ感覚の違いあり)で頂上。山頂には小さな社、又この山はつつじが多くきれいに開花、直下には上毛電鉄、国登録有形文化財の・渡良瀬川橋梁、見渡せば八王子山系、広沢町から相生町の俯瞰。吾妻山を見上げれば青葉台・修道院がすぐ目の前、昨年12月の修道院正門から道路の先に見えたのがこの富士山で普段から見ても登った方はやはり少ない。下山して上電・富士山下駅から西桐生駅に戻り、保健所跡(児童公園)や地方事務所跡(駐車場)等から仲町を通って桐生倶楽部に帰着。ありがとうございました。

聞いたりしてはいても現地まで行って見たことがない、又普段は車窓から見ている日常、歩いて見るとまた違った風景です。次回もぶらりと歩きたいと思います。(新井晴夫 記)



### 歩く会活動報告

#### < 新緑の季節、ハイキングのお誘い >

2月、3月に行う予定をしていた歩く会例会は、天候に恵まれず中止となりました。40年も続く歩く会の活動の中で、2ヶ月連続で雨の為に中止となったのは初めてです。2月は地元広沢の「八王子丘陵」、3月は川内の「経塚山

から崇禅寺と文化財巡り」と、桐生の里山に登り、歴史を学ぶ予定でした。参加予定の方々に「はせっかくの機会でしたが、来年以降また計画したいと思います。

#### 4月、5月の計画

4月12日(日) 栃木県の「太平山」

桜の名所として有名ですが、今年は桜の開花がとても早くちょっと遅いかと思います。謙信平からの関東平野の眺めは素晴らしく、上杉謙信が関東へ出兵した折に登り感歎したとの言い伝えがあります。

5月10日(日) 「根本山」と「熊鷹山」

根本山、熊鷹山は桐生からの登山ルートは険しくまた時間もかかりますが、今回は栃木県田沼からの林道を使い稜線まで行きます。その先の行程は標高差のない快適なルートを歩きます。この時期「熊鷹山」は色とりどりのツツジが咲き、素晴らしい景色が見られることと思います。

「つつじ満開の  
熊鷹山」



新型コロナウイルスの影響で色々な行動が制限されています。ストレスと運動不足の解消に、新緑の一番良い季節、山に登り自然の中を歩いてみるのはいかがでしょうか。皆様のご参加をお待ちしています。(栗原信治 記)

### 囲碁部会活動報告



<活動状況>

囲碁部会の活動は年末年始等を除き原則毎週土曜日の13時30分から17時までの間、当倶楽部6号室にて少人数ですが精鋭のメンバーにて対局を行なっています。春と秋にはその間に鍛えた棋力を発揮すべく囲碁大会を開催し

ています。活動メンバーの平均年齢は高く80歳を超え、最高齢は90歳を超えていますが都合のつく限り出席し、元気に囲碁を楽しんでいます。

<囲碁ゲームの概略説明>

ゲームの中身について簡単に述べますと、囲碁は板の上に縦横19本の直線が引かれその $19 \times 19 = 361$ の交点に対局者が黒と白の石を交互に置きそれぞれが獲得した黒地(黒が獲得した交点の数=目:もく)と白地のどちらが多いかにより勝敗が決まります。

黒、白それぞれ最終的に勝つための戦略を立て実行しその間に石の取り合いもあり、その中に「捨て石戦法」等色々な戦術を駆使して戦います。全体の優劣の状況を見ながらどこに石を置いたら一番有利なのかを刻々と変わる状況の中で判断しながら一手一手進めて行きます。当部会での一对局の所要時間はおおよそ1時間前後です。



<囲碁部会活動への想い>

囲碁は大昔中国で考案され日本に伝えられました。どうしてこんなに複雑で奥が深く面白いゲームなのか、考え出した中国人は大したものだ、と云うのが囲碁に対するメンバー一同の感想です。高齢でも皆元気なのは長年複雑で奥の深い囲碁に興味を持ち楽しんで来たことが脳に対するアンチエイジング効果となって表れていると思っています。今後も可能な限り、何時までも囲碁を楽しみ活動を続けたいと願っています。以前に囲碁を楽しんでおられ、今は止めておられる方、おられましたらまた始めてみませんか?一緒に楽しみましょう

(岩崎孜郎 記)

### 消防訓練



令和2年3月13日桐生倶楽部会館において消防訓練が行われました。ヤマト防災立ち会いのもと、倶楽部事務局、RC事務局、JC事務局職員が参加しました。1階厨房で出火との想定で、火災報知器による場所確認、避難誘導、また実際に消防署への通報も訓練しました。前庭に避難後、水の入った消火器を使わせてもらい実際に消火器の使い方も訓練しました。訓練では30分ほどで済んだものの、火災報知器が鳴った時は本当に緊張が走りました。実際に火災の起こらないよう祈るばかりです。(事務局 記)



### =桐生倶楽部だより=

#### 【2月】

- ・監査 (4日)
- ・理事会 (10日)
- ・歩く会例会「八王子丘陵」(雨天中止) (16日)
- ・歩く会世話人会 (20日)
- ・定時社員総会 (25日)

#### 【3月】

- ・歩く会例会「川内 経塚山～崇禅寺」(雨天中止) (8日)
- ・理事会 (9日)
- ・歩く会世話人会 (12日)
- ・消防訓練 (13日)
- ・役員特別懇談会 (18日)
- (新型コロナウイルス感染予防の為延期)
- ・月次会 (23日)
- (新型コロナウイルス感染予防の為中止)
- ・ぶらりまち歩き部会例会 (28日)
- 「ぶらり50年前を見に行こう」

### ようこそ倶楽部へ

#### =新入社員紹介=

(敬称略)



坪井 良樹



森山 享大(たかひろ)

5

『桜・満開』



一般社団法人 桐生倶楽部 第236号  
 2020年 (令和2年) 4月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 坪井良廣  
 紙面構成 桑原志郎

令和2年4月10日

(社) 桐生倶楽部  
社員各位

(社) 桐生倶楽部

理事長	森 壽作
文化活動委員長	岸田信克
行事・交流委員長	桑原志郎

## 「文化祭・ガーデンパーティー 中止のお知らせ」

新型コロナウイルス感染拡大が収束を見せず、昨日緊急事態宣言が出されました。慎重に協議した結果、5月に予定されておりました文化祭・ガーデンパーティーを中止することといたしました。

桐生倶楽部では春の恒例行事で、毎年楽しみにして下さっている社員の皆様もたくさんおられる中苦渋の決断ではありますが、現下の状況を鑑みご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、4月月次会も開催を見送り、6月以降の開催につきましては、感染拡大や収束の状況を見ながら判断し、改めてご案内いたします。皆様におかれましては体調管理に十分留意され、ご自愛くださいますよう切にお願い申し上げます。



桐生倶楽部 社員各位

☆☆☆桐生倶楽部会報「237号」について☆☆☆

入梅の候、社員の皆様には桐生倶楽部活動にいつもご協力・ご指導を頂き感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、当倶楽部も理事会・月次会・部会行事等がすべて中止となっております。この様な状況下で予定した会報掲載用原稿が何もありませんでした。会報発行延期も考えましたが、236号まで一回も途切れる事もなく続いている事を知りました。この「歴史を途絶えさせてはいけない」と言う危機感から、皆様に原稿をご依頼したところ旅行・思い出・身の回り事等沢山の投稿がありました。今回の会報には収まり切れませんでしたので次会会報にも掲載をしたいと思えます。

今回掲載されませんでした社員の皆様にお詫び申し上げます。

いつもの会報とはちょっと違いますが、社員の皆様のいろいろな一面が伺えてアットホームな内容となっております。

投稿して下さいました社員の皆様に会報委員会より感謝申し上げます。又、これからも皆様の原稿はいつでもお受けいたします。今後も是非宜しくお願いいたします。

桐生倶楽部 会報委員会  
委員長 坪井良廣



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部  
TEL0277-45-2755 FAX0277-45-2980 E-mail jimu@kiryuclub.jp

**ぶらりまち歩き・令和2年3月**  
**ぶらりと50年前を見に行こう**  
**(桐生に在った映画館の跡周辺)**

かつて8館もあった映画館もセントラルが最初に閉館して、そう今から54年前になる住宅地図(昭和41年版)が図書館に保存されている。その地図には桐生松竹映画館・桐生映画劇場・桐生東映・オリオン座・能楽館・電気館・桐生国際劇場の7館が存在しておりましたが、今はすべてなくなり、2ヶ所は店舗用地、1ヶ所は共同住宅、そのほかの4ヶ所は駐車場として利用されております。

今回のぶらりまち歩きはこの映画館周辺の住宅地図を片手に順番に歩いて、今との相違いを見てきました。当時、桐生倶楽部敷地内には桐葉軒があり、交差点向かいには一二三屋、橋本靴店、はす向かいは空き家でした。まずは桐生倶楽部から松竹映画館・映画劇場へと行く道、今は空き地が、目立ちますが当時はいろいろな店舗などが密集していた。松竹映画館跡は駐車場ですが、映画劇場跡は裏で隣接していた岩上商店さんの店舗を拡大して利用、次は桐生東映へと足を進めた。ここは西桐生駅前交差点で立地も良く「セブンイレブン」が営業している。近くにあった村田機械製作所跡は「スーパー・とりせん」から現在の「第一高等学校」へと変わってきているが、このころは工場の郊外への移転が盛んであった。

次はオリオン座へと向かい元西中学校前

では満開の桜(今年は花が長持ちしたお陰)を見ることができ、市立図書館脇(地形は三角形で現在は地域の広場として利用)から桐生繊維工業(株)工場(田原屋から現在は福祉施設)脇からオリオン座に。この跡地は第一高校が駐車場として利用している。ここから能楽館へと糸屋通りを南に下がり大生相互銀行桐生支店(現東和銀行)前から本町通りを横断して桐生女子高校脇に出て能楽館跡に、ここの用地は、共同住宅として利用されている。



次は電気館跡が駐車場に利用されているのを見て、途中で国際劇場跡が駐車場と利用されていることを横目に見て桐生倶楽部へ戻り、ぶらりまち歩きを終わりましたが、今回は映画館跡を中にした地図を4枚コピーしました。この地図には本町4丁目に高島屋ストア、5丁目に第一銀行桐生支店や七福菓子店、6丁目に長崎屋桐生店や十字屋ストアと今はない名前が地図に残る。このころ本町通りでは、店舗の中層不燃化が行なわれて活気が溢れていた時期。又、映画館傍には自転車預かり所が地図の中にあるのも時代を感じる。次回は6月の実施で計画したいと思います。(新井 晴夫記)

### 桐生倶楽部の思い出 和田 洋一

昭和24年、桐生市本町5丁目東裏通りで生まれ育ち、近所にあった桐生倶楽部には、現在、古希を迎えた私にとって沢山の思い出があります。

子供の頃には、季節や記念日の写真を撮影する事になると、写真屋を経営していた父に連れられて、家族揃って桐生倶楽部の庭に行き、以前、駐車場の真ん中に植木の寄せ植えがあった、その場所がスタジオでした。姉たちや、自分の七五三や入学記念など、今みても懐かしく思い出されます。

当時は、桐生倶楽部社員であり、理事長もお務めになった、桐丘学園長の長沢義男先生達が、桐生倶楽部での会合のあとに、うちの店に寄ってくれたのも覚えています。随分立派な方々なのだなあという記憶が残っています。

やがて、成人して、結婚式を挙げる事になった時も、会場は桐生倶楽部をお借りし、披露宴会場は二階大広間で行いました。東京などから式に出てくれた親戚の人たちが、桐生倶楽部を見て、桐生には素晴らしい格調のある建物があるのだねとの感想でありました。

やがて、桐生青年会議所との出会いがあり、30歳のころ入会致しました。例会場は今でもそうですが、桐生倶楽部でした。多くの素晴らしい先輩達の議論を聴きながら、とてもあのようにはなれないと、萎縮をしていた10年間でした。ただ、この時、ある先輩から、『いいか、和田君、これから社会で活躍するようになる前に、いっぱい・たくさん、この桐生青年会議所の中で積極的に経験をして、大いに恥をかきなさい。そして、それを未来の自分に生かしなさい』というアドバイスをいただいた事に、いまでも強い感動を受けた

のを覚えています。振り返って、その先輩と桐生青年会議所に感謝しています。

桐生倶楽部の社員に入会したのは、桐生中央ライオンズクラブに在籍をしていた50歳の頃でした。80周年・90周年の記念額に自分の名前を書き記した時は、桐生倶楽部の社員であるという誇りを感じたものでした。また、創立100周年の際には、全体記念写真と一緒に撮影させていただいた事は、大きな喜びでございました。



この写真はお正月。隣町の親戚の家族が見えたので、みんな精一杯おめかしして、桐生倶楽部の前庭で撮影したものです。

### 高野山参り

——記憶に残る思い出の旅——

昨年初夏、友達6人で高野山に行ってきました。高野山(街)は山上都市で東西6Km・南北3Kmの盆地となっており、弘法大師空海により開かれた真言宗の総本山です。桐生からですと1泊2日で充分楽しめる全くの異空間で一生に一度は行ってみたい場所で、平成16(2004)年に‘紀伊山地の霊場と参詣道’として世界文化遺産に登録され国内はもとより世界各国から多くの旅人が訪れています。

当日は先ず極楽橋駅からケーブルで高野山駅まで登り宿坊で荷物を降ろし一息入れ奥の院に向かいました。奥の院は弘法大使入

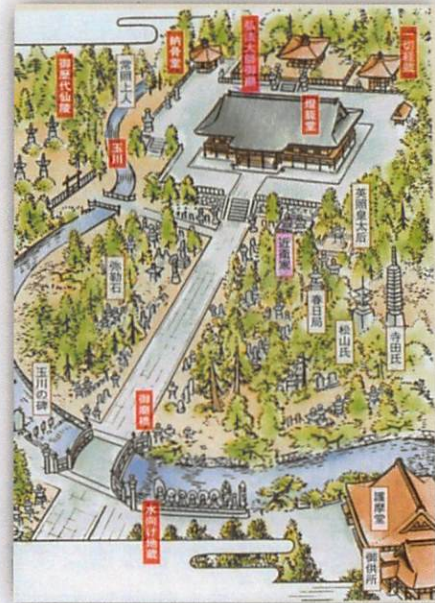
定の聖地で入り口の一の橋から弘法大師御廟まで通じる約2Kmの参道両側に樹齢数百年の老杉がそびえる。そのもとに例えばNHK大河ドラマ‘麒麟がくる’の主人公明智光秀や織田信長の供養塔、徳川家康四天王の一人で上州館林藩主榊原康政の墓所、浄土真宗開祖親鸞聖人の供養塔・廟、司馬遼太郎の文学碑等々皇族から諸大名、文人や庶民まで各時代のあらゆる階層の人々の供養塔、祈念碑、慰霊碑が立ち並んでいます。歩いてご希望の聖地に立ち寄りながら2時間余り散策するのも宜しいかと思えます。余力があれば夕食後宿坊近くでライトアップされた壇

上伽藍、空海が開創に着手した金剛峯寺等を見学するのもお勧めです。

6:00起床、勤行(ごんぎょう)、朝食、写経を体験し、霊宝館で国宝、重要文化財、重要美術品をゆっくり拝見し我が国の歴史と仏教文化の一端を伺いました。

帰りに奈良飛鳥の高松塚・キトラ古墳に立ち寄り帰桐しました。会員ご夫婦でも数名のお仲間の旅としてでもお勧めの候補地です。蛇足となりますが、ご興味あるようでしたら、桐生出身で高野山大学勤務(講師、40代のお坊さん)の知人がいますので案内人としてご紹介できます。(彦部 篤夫記)

新桐生駅を早朝出て午後1時台に当地着、3~4時間見学、翌日宿坊で勤行・写経等体験、引き続き午前見学し帰宅がお勧めコースとなります。



**レースのカーテン入れ替えました**

陽当たりのいい窓はどうしてもレースのカーテンが傷みます。しばらく気になっていた5号室と6号室のレースのカーテンが新調されました。また一段と美しい窓になりました。

## 朔太郎の山と悲しみ



前橋の山仲間との集合場所は朔詩舎前である。若いころ、よく友達と敷島公園の松林へ行って萩原朔太郎の「帰郷」の碑あたりを散歩した。

このときの友人が高校卒業の記念品として「帰郷」の書かれた手ぬぐいを持っていた。

「わが故郷に帰れる日」で始まるこの詩は、離婚をして子供を抱え、東京から群馬へ帰る小山周りの両毛線で書いたものである。

東京に住んでいた朔太郎は音楽やダンスなどに興味を持ち、夫婦ともめりこんだ。まもなく、妻がダンス仲間の若い男と恋仲になり、家庭は崩壊していく。「帰郷」は列車が足利駅あたりを通過中での心情を書いたものであろう。「まだ上州の山は見えずや」。あの辺りは、吾妻・鳴神山があり、赤城・榛名山は見えにくい。それに夜の車窓から見えるはずはない。それでも見ようとした。残された心の支え、上州の山、それを見たかったのだ。「いかんぞ故郷に一人帰り、さびしくまた利根川の岸にたたんや」。朔太郎のような有名な人も幸福をつかむことは難しかった。数年後、再婚するが再び離婚。その頃、手品をおぼえて地元の人を驚かさライブを重ねる。しかし、そこにはいつも孤独な後姿があった。前橋テルサ前に詩人伊藤新吉の書いた朔太郎生家跡の石碑がある。氏も朔太郎の後姿を見ていたひとりである。その後の年月は、彼に安寧とした日々を与えてくれただろうか。今、朔太郎は広瀬川の前橋文学館前に立つ。像は赤城の荒山の方向に顔を向けている。うつろな視線。山でなく、自分の人生を見つめているようである。(金子 進記)

## 案内板が新しくなりました

桐生倶楽部会館が、登録有形文化財から平成27年4月14日、桐重第68号、桐生市指定重要文化財になり、桐生市文化財保護課で令和2年4月17日に案内板も新しく設置されました。

玄関横で、前の看板と同じ位置です。ご来館の際ご確認ください。



## = 桐生倶楽部だより =

新型コロナウイルス感染予防の為すべての行事が中止となりました。

## 【4月】

- |             |    |       |
|-------------|----|-------|
| ・春のゴルフコンペ   | 中止 | (4日)  |
| ・歩く会例会「太平山」 | 中止 | (12日) |
| ・理事会        | 中止 | (13日) |
| ・歩く会世話人会    | 中止 | (16日) |
| ・写真部会       | 中止 | (25日) |
| ・月次会        | 中止 |       |

※なお、春季囲碁大会中止、毎週土曜日に行われていた対局活動は6か月間の活動休止(令和2年9月まで)が決定されております。

## 【5月】

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ・文化祭・ガーデンパーティー | 中止            |
| ・歩く会例会         | 5月・6月・7月例会 中止 |
| ・理事会           | 5月 中止         |

一般社団法人 桐生倶楽部 第237号  
2020年 (令和2年) 6月発行  
発行人 森 壽 昨  
編集責任者 坪井 良 廣  
版下製作者 桑原 志 郎



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部  
TEL0277-45-2755 FAX0277-45-2980 E-mail jimukiryuclub.jp

## 春の花いっぱいの堤町・修道院庭園

昨年(2019)12月、新井晴夫さんが主宰する「ぶらり町歩き部会」で桐生市堤町3丁目・青葉台の麓に在る修道院庭園を訪れました。正式名称は「カトリックさいたま教区桐生研修センター・フランシスコの家」。以前ここには射撃場が在った場所とのこと。昭和30年(1955)に修道院が建てられました。数年前から常駐の管理人は居ませんが、埼玉県の本部から定期的に人が訪れて、芝刈りや枝打ちなど、庭園の手入れは行き届いています。この広い庭園を信者の人々が黙想(目で祈り、耳で祈る)して巡るのが信心業だそうです。庭園内には「十字架の道行」と名付けられた、新約聖書に有るイエスキリスト受難の場面を、等身大の14の石像とブロンズ像1基で表現した彫刻が配置されています。第1留「キリストがユダヤ民衆によって裁かれる」場面から、第15留(ブロンズ像)「復活」に至る迄のシーンです。



今春、世間ではコロナ禍の影響で外出制限をしているため、私は自宅周辺の散歩程度に留めていました。散歩では青葉台から修道院庭園を訪れることが度々有りました。キリス

ト教信者で無くても、この庭園を散策することが出来ます。庭園では、満開のサクラ、「十字架の道行」のあちこちに咲くツツジ、足元に咲くスマレなど、花々いっぱいの春を満喫しました。写真とともにお知らせしたいと思います。



また10月から12月、庭園は紅葉に彩られて美しい秋の姿となるので、ご来園散策をお薦めします。

交通：上毛電鉄丸山下駅より、徒歩10分  
(村田 豊樹記)



## 地震・雷・火事・コロナ



あなたはこの 1 週間で何人の人と会いましたか？

政府の「緊急事態宣言」の 4 月 16 日から 5 月の黄金週間の終わりくらいまでの間の 4 ~5 週間では、常識的な倶楽部社員の皆さまは善良なる市民としてしっかり自粛のステイホームで過ごされたことと拝察しています。

それでも家族以外の人との接触が皆無であった方はごく稀であったと思います。1 日くらいであったなら、外部の人との接触が無かった方はおられると思いますが 3 日間・1 週間となるとほぼゼロでしょう。

私は 1968 年の創業以来半世紀以上にわたりリスクマネジメントの仕事を生業としてきました。この間自動車事故を中心に 1 万件を超える種々雑多な事故処理に関与してきました。保険会社や代理店に報告される事故や持ち込まれる相談は皆様の想像を超える多種多様なものがあります。

高速道路を走行中に前に行く車が突然消えてなくなり、次の瞬間空から降って来たとか、前に行く自転車に追突したら、なんと相手方が自分の車の助手席にちょこんと座っていたとか、また、柳亭痴楽の落語「幽霊タクシー」の有名な件「青山の墓地まで……」を連想させるような奇怪な事故報告とかいろいろあります。

さて、2020 年 4 月のある朝、県外の事故現場からのお客様の電話で起こされました。信号無視の車にぶつけられたと……電話の声は興奮冷めやらぬ様子。

早速、通常の事故処理の初動手配。怪我人はあるか？警察に事故報告をしたか？事故車の所在が他の車の通行の妨げにならない

か？等々。

問題は事故処理の最中に起こりました。事故当事者の一人に数日前から 37.5 度を超える発熱があり、PCR 検査のため決められた病院へ行く途中の被害事故であったことが判明したのです。現場は一举にパニックになりました。

本人は何とか PCR 検査のために病院へ行きましたが、破損した事故車を引き取ってくれる修理工場が見つからないのでした。PCR 検査の結果が「陰性」との報告が来たのが翌日の夕方 8 時過ぎでした。事故は「偶然」起きます。

若し、このお客様が「陽性」だったとしたら、弊社社員の二人が濃厚接触者になるところでした。この事故の前日に社員二人がこのお客様と 1 時間ほど面談していたからです。

新型コロナウイルス後の「新しい生活」が模索されています。

山中伸弥先生の提唱する五つの提言のうちの 2 番目「国民全員が日常を見直し、人と人の接触を減らそう」、「外出自粛は自分のため人のため」これだけが私たち一人ひとりが実践できる唯一の最も重要な行動です。

我田引水になります。保険の基本原理は「一人は万人のために、万人は一人のために」です。コロナ戦争はまだ続きます。自分のため、家族や友人のため、愛する桐生のため、日本のため、世界みんなのため、共に頑張りましょう！

Stay Safe with Covid19。「地震・雷・火事・コロナ」 (金井 利雄記)

**重要!**

—桐生倶楽部よりお知らせ—

8 月 1 日より事務局さんの勤務時間が変更になりました。

月・火・木・金 10:00~17:00  
水 13:00~17:00

となりました。

お間違えの無いようにお願いします。

**徒然の巣籠ライフ**

新型コロナウイルスの流行によって、スケジュール帳にギュウギュウ詰め込まれていた各種団体会合がほぼなくなり、毎日会社と自宅の往来で終え、たまに離れた友人とWEB飲み会で交流し、週末にはビール片手に草むしり。

まるでご隠居さんのような生活を送りつつも、生来モノグサでスケジュール管理が苦手な質、時間に拘束されない日々は正気な気持ち吐露すれば内心ほっとしている。

五月晴れの空の下、悠然と横たう赤城山を会社の窓からぼんやり眺めつつ、かれこれ一ヶ月渡良瀬川を渡っていないなあ、と思った。同時に高校時代の出来事が脳裏をよぎる。

「渡良瀬川って、渡ったことがない。」山奥にある自然児養成高校に通い出し、同級生と話を交わすようになってから、“おまち”のど真ん中に居宅のある友人が何の気兼ねもなく発した言葉だった。この一言は実に衝撃的で、今でも鮮明にその場面を思い出す。

私の子ども時代の楽しみは、母に連れられて出かける“おまち”、本町通りだった。おまちには高島屋、三越、松坂屋などのデパートや素敵なブティックが軒を連ねて並び、母のお洋服選びの傍らシロキヤ書店で図鑑を立ち読みし、お買い物の後で食べる新星荘のチョコレートパフェに歓喜する。

当時おまちは私にとって夢の国だった。この夢の国の友人は、広沢に行く機会もないし、東京にも出たことはないが、生活上何不自由ないと話していた。確かにあの賑やかな空間のど真ん中に住んでいたら、広沢の里には社会科見学か何か強制力が働かない限り訪れる必要はなかっただろう。そんな彼女は今どこで何をしているのか。

同窓会の話もコロナで雲散霧消、かの高校も今年が最後の年であるが、引き続きの休校中。  
(星野 尚香記)

**桐生倶楽部のいま一つの使命**

桐生倶楽部の将来について、いつも気掛かりになっていて頭から離れないことがある。

それは現在、桐生倶楽部の基本的目的が建物の維持管理、保存になっていること。勿論これを否定するつもりはないし、大変重要な業務であると理解している。ただ残念なことは、いま一つの根幹的重要課題である“知”の部分が欠落していることである。

桐生倶楽部の当初の目的は、話し合いをすることであった。それは桐生町（後の市）の発展についての夢を語り、当時急伸びつつあった織物産業をより大きく飛躍させるために、どのようなフォローができるかについての議論がしたかったに違いない。そのための場が必要であった。

この総意によって建てられたのが、この桐生倶楽部会館である。とすればその基幹部分である話し合いの部分がすっぽり抜け落ちていることになる。

これを何とか復活することができれば本来の目的に適した意義ある団体として、より一層市民に愛されるのではないかと想う今日この頃である。  
(佐藤 富三記)







何故か桜が  
大好きです

昨春、新井晴夫氏の見事な計画の下、“歴史探訪とぶらりまち歩き”の合同企画で、長い間の念願がかない、信州別所温泉周辺と上田城址他散策の旅に出掛けた時のことです。

早朝、車から下り立った別所の山里は人気が無く静寂な中で、春の花々に囲まれ、何よりも満開の桜に迎えられたその美しさは、この世の天国かと感うほどの幸せな感動として今も鮮やかに残っています。

そう言えば、6年前まで毎年楽しみに待っていた叔母を伴って、群大のお花見に行っておりましたが、91歳になった時には車椅子の人となり、その時に「最初に連れてきて貰った時には、まるで竜宮城かと思ったよ。」と、その感動を話してくれました。翌春のお花見を待たずに、92歳で桜の大好きだった叔母は亡くなりました。

生涯桜を愛した西行さんは、“願わくは花の下にて春死なん、その如月の望月の頃”あまりにも有名な和歌を詠まれています、ご本人自身その桜の頃に亡くなられたとのこと・・・。

桜は、どんな花よりも華やかに、そして散り際も見事ですが、根底に日本人独特の『ものあわれ』憂愁の美を感じます。今年の桜ほど寂しく哀しく感じられたことはないでしょう。花は大勢の人々に囲まれ、召でて貰ってこそ花の本望なのかも知れません。

新型コロナが一日も早く終息し、極々普通の生活に戻る幸せを願っております。

(田中 一枝記)

長い間お世話に  
なりました

事務局 長尾洋子



私が桐生倶楽部に入ったのは、折しも桐生倶楽部創立 80 周年の年。いきなり慣れない環境と仕事に大わらわ。それから大切な節目の 100 周年も経験し、あつという間の 20 年でした。

塚越理事長、阿部理事長、森理事長と 3 代の理事長にお仕えし、桐生の名士がそろこの桐生倶楽部でかけがえのない貴重な経験をさせていただきました。今、頭の中をたくさんの方の行事が走馬灯のように駆け巡っております。忙しい中にも社員の皆様がいつもあたたかく接して下さり、心穏やかに過ごせましたこと、ありがたく感謝申し上げます。これからも社員の皆様がますますお元気で活躍されますことを心から願っております。

今年古希を迎え残りの人生を少しでも元気なうちに自由な時間を過ごしたいと退職を決めました。22 年もの長い間ほんとうにありがとうございました。

これからも桐生倶楽部をよろしく願いたします。(令和 2 年 7 月 31 日 退職)

### ＝桐生倶楽部だより＝

- 【6月】  
 ・理事会 (8日)  
 ・正副理事長・会計理事・総務委員長会議 (23日)  
 【7月】  
 ・長期修繕計画委員会 (9日)  
 ・理事会 (13日)  
 ・歩く会世話人会 (16日)  
 ・月次会 (29日)  
 「コロナマスクから見える織都桐生の将来」  
 【退社社員】 野間義弘

※投稿原稿は5月中の内容になっております。

一般社団法人 桐生倶楽部 第238号  
 2020年 (令和2年) 8月発行  
 発行人 森 壽作  
 編集責任者 坪井 良廣  
 版下製作者 桑原 志郎



# 桐生倶楽部会報

## 『高校生が描く桐生倶楽部会館 100歳の姿展～自由テーマ画とともに～』

### ご挨拶

桐生倶楽部 理事長 森 壽作

桐生倶楽部会館が今年の12月に創建100年を迎えました。この記念すべき時に、桐高・桐女の美術部の生徒さんが桐生倶楽部会館をテーマに絵画作品の作成に取り組んで頂くことになりました。6月には、その成果の絵画作品を一般市民に展覧会として公開するという桐生倶楽部の企画が、美術部顧問の原澤和彦先生、桐生高等学校、桐生女子高等学校両校のご了解のもとに実現することになりました。その絵画合同展を大変楽しみにしていましたが、今回の予想外の新型コロナウイルス感染拡大発生により、合同展が開催出来なくなってしまいました。本当に残念でした。

しかし、その後web上での展覧会が可能ということになり、ほっとしたところです。本来の合同展は別途、年度内に実現できるよう準備して行ければと思っています。何卒、宜しくお願いします。尚、本企画は村田勝俊理事が担当しましたことを報告します。

昔話になりますが、桐生倶楽部会館創建当時の100年前の大正8年(1919年)は前の年から、今年の新型コロナウイルスのように、「スペイン風邪」が猛威を振るっていたことを改めて知りました。日本でも大きな影響がありましたが、当時は電子顕微鏡もなく、ウィルスのことはまだ知られていませんでしたが、今と同じような対策が取られました。人ごみに出ない、マスク着用する、手を消毒する、うがいの励行、身体弱者はとりわけ注意することなどが指導されていました。こんな大変な体験をしていたのにすっかり忘れてしまっていたのは私だけでしょうか。昔の私たちの先輩たちがそんな大変な時に桐生倶楽部会館を創建した偉業に、唯々、敬意を表するばかりです。

### ご挨拶

桐高・桐女美術部顧問 原澤和彦

昨年末に、桐生倶楽部理事長の森様と理事の村田様より、同倶楽部会館創建百年を記念した、桐高美術部と桐女美術部による倶楽部会館での展覧会のお話をいただき、光栄なこととしてお引き受けさせていただいた次第です。具体的には、大正時代に建造されたスパニッシュ様式の桐生倶楽部会館をモチーフにした作品を中心に据えた展覧会というものです。顧問としては、日頃より観察力と表現力や造形力の涵養を指導方針としているため、実際のスケッチを元にタブローを制作するという正攻法の作品づくりするには格好の機会と考えました。描きたい対象を写真に撮り、それをもとに制作するという手法をとるプロも多い昨今ですが、2次元の画像をそのまま2次元の絵画にすることに比べ、3次元のものを実際に観察して2次元に落とし込む作業の方が、遙かに高度で創造的な作業であることは言うまでもありません。そこで、まずは今年の12月の冬期休業中に同会館で三日間のスケッチ会を実施し、桐生タイムス紙にも取材・報道していただきました。スケッチ会の初日には、理事長の森様と理事の村田様より桐生倶楽部と会館の持つ歴史や存在意義についてご丁寧なご説明もいただき、生徒達は目には見えないものを意識しながらスケッチに取りかかることができたのではないかと考えております。

しかし、残念なことに桐生倶楽部様から展覧会に向けて画材購入の予算も付けていただきながら、タブローの制作に入るこれからという時に新型コロナウイルスにより学校での部活動が3ヶ月以上ストップしてしまいました。顧問としては大変申し訳なく思っております。そんな折、理事の村田様にご相談したところ、展

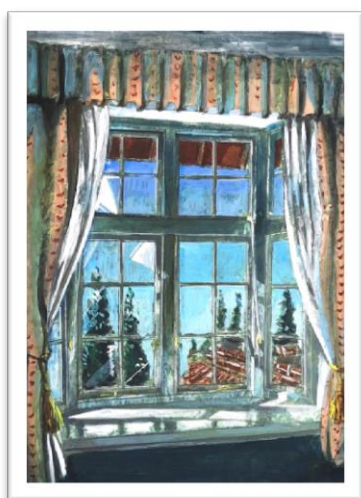
示できる作品をもとに web 上での展覧会を開催できないかとお話をいただき、今回の web 展覧会開催に漕ぎ着けることができました。作品的には、両校の2・3年生のスケッチまたはエスキース等ですが、ご高覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

尚、学校も6月下旬より完全に再開したため、予定していた桐生倶楽部での桐高・桐女美術部による合同展の年度内開催に向け、7月より1年生を加えテーブルの制作に入っていきたいと思っております。



桐高3年 濱名美叶  
「桐生倶楽部スケッチ1」

当時の様式の窓の特徴をカーテンとともに内側から捉えてみました。



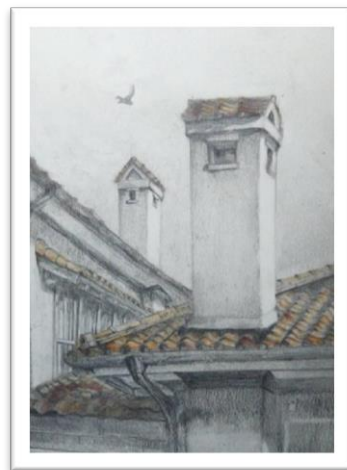
桐高3年 濱名美叶  
「光」

綺麗な窓から差し込む光がとても印象的だったので、その美しさを描きました。また、爽やかな感じがしたので青みを強くしました。



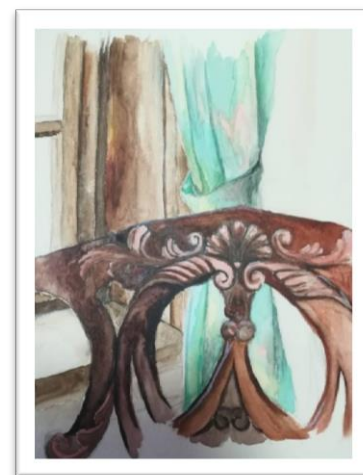
桐高3年 濱名美叶  
「桐生倶楽部スケッチ2」

スパニッシュ様式の建物の特徴を窓と壁と瓦屋根をモチーフに捉えてみました。



桐高3年 熊谷美彩  
「屋根」

なかなか見ない形の瓦に興味を持ち、描きました。描いていたときにトンビのような鳥がとんでいたの、トンビも絵に入れました。



桐高3年 松永英み  
「窓辺」

窓から差し込む光と、椅子の模様が綺麗だなと思ったので描きました。

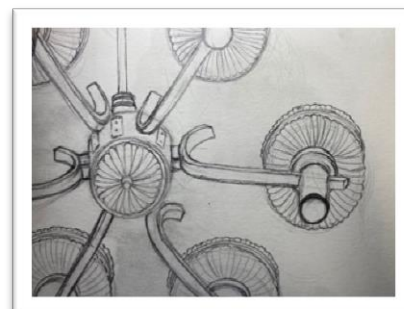


桐女3年 仁居舎ゆうか  
「桐生倶楽部スケッチ1 裏門の扉の絵」

青い扉が印象的で、映画の撮影にもよく使われていると聞いたので描こうと思いました。100年も昔の建物とは思えないほど造りがおしゃやれで、特にこの青い扉は綺麗だったので惹かれました。色を塗る時も青が印象深かったので全体的に青を入れて仕上げました。

桐女3年 仁居舎ゆうか  
「桐生倶楽部スケッチ2  
シャンデリアの絵」

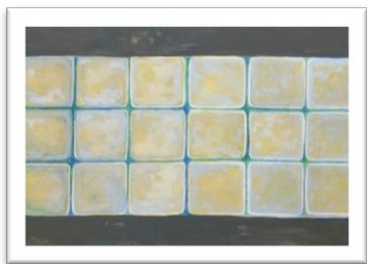
天井を見上げると綺麗なシャンデリアが下がっていて、思わず描きたいなと思いました。よく見るとデザインが細かく、シャンデリアも描いたことがなかったのでスケッチをするのが大変でした。





桐女3年 中根叶夏  
「扉」

今回、桐生倶楽部の建物をデッサンさせて頂きまして本当にありがとうございました。建物の様々な質感を線で表現することが出来て楽しかったです。絵を通じて私の感じたことを伝えることが出来たら嬉しいです。



桐女3年 後藤彩乃  
「翠緑タイル」

桐生倶楽部会館の一室に置かれていた暖炉の、つやつや光る緑タイルの装飾がとても美しく目を奪われました。ぷっくりと可愛らしい質感と空を反射した水色を意識して描いております。



桐女3年 芳賀芽衣  
「緑と赤」

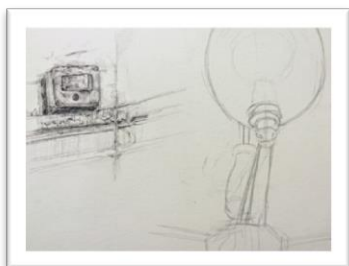
桐生倶楽部をスケッチした際に、面白い形だと思っていた緑色の窓(縁)と外壁の煉瓦の部分を描きました。色を沢山使う塗り方が好きなので今回も何色も使って描きました。



桐女3年 茂木陽野  
「カーテンタッセル」  
紫色のカーテンタッセルの中に、色々な色が混ざりあっている美しさを表現することが、一番大変でした。

桐女3年 仁居舎ゆうか  
「桐生倶楽部スケッチ3  
ランプの絵」

暖炉の両側にこのランプが壁に取り付けられていて、今の時代だと、このようなランプを見ることは珍しいので描こうと思いました。ランプのカバーの曲線やランプを繋げている金属部分の形を捉えて描くのが難しかったです。



桐女3年 中根叶夏  
「じゃんけん」

多くの人に触ったであろうスイッチや、多くの人を照らしてきた照明に興味を持ちました。



桐女3年 柿沼乃愛  
「扉」

扉の絵は、色を作るのが難しかったです。全体が見えていないので、色だけで表現するのが大変でした。

桐女3年 後藤彩乃  
「みつごまど」

近代の家屋ではあまり見かけない三連の窓が三つ子みたいで愛らしいと思いました。パステルカラーを用いてポップな雰囲気を目指しています。



桐女3年 山本多恵  
「窓」

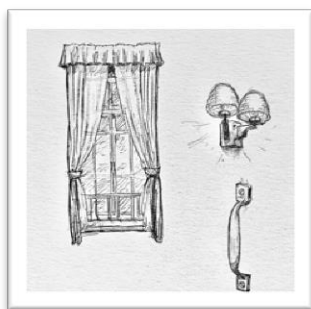
桐生倶楽部のレトロな窓が素敵だと思い描かせて頂きました。パステルカラーを使い全体的にまとまりを出しました。レースカーテンの透け感がお気に入りです。



桐女3年 中根叶夏  
「桐生倶楽部玄関スケッチ」  
100年の間にいったい何人が通り抜けたのだろうかと思いつきながら描きました。



桐女2年 西那奈子  
「桐生倶楽部」  
建物の中から外が見えるドアに惹かれました。ペンで細かく表現するのは凄く難しかったです。



桐女3年 山本多恵  
「桐生倶楽部」  
スケッチ内観  
桐生倶楽部のレトロな窓や照明  
に興味を持ちスケッチしました。

桐女3年 山本多恵  
「桐生倶楽部」  
スケッチ外観  
スパニッシュ様式の外観  
の一部を切り取ったかたち  
でスケッチしました



桐女子3年 斎藤風花  
「窓」  
窓が魅力的に見えました。



桐女子2年 竹田知沙  
「ひかり」  
中の明かりを描こうと思っ  
たら、スケッチした日は昼な  
のに夜みたいになってしま  
いました。



桐女2年 福田はな  
「生活の窓」  
この作品は、窓から生活感  
が感じられるようにしま  
した。

だ場所で静かに真剣に集中して描いたことの賜物です。

まずはご指導いただいた原澤和彦先生と桐高美術部と桐女芸術部美術班の生徒さんたちに心から感謝申し上げます。桐生倶楽部会館をモチーフにした作品では小屋根を付けた煙突、扉や窓、タイルや玄関、シャンデリアなど桐生倶楽部の個性やスパニッシュ・コロニアル建築の特徴に着目したものもあって建物の記憶を感じさせるとともに、新たな物語を語りだし、新鮮な旋律が聞こえてくるような印象を受けました。自由テーマの作品は、はっとさせられたり、笑みがこぼれたり作者たちの多感さを感じさせる個性豊かな作品群となっています。

さて、今回の企画は満100歳の会館と高校生“画家”の初めてのマッチングであり、記念すべき誕生月の桐生倶楽部の姿を留めてほしいという点にありました。そして、その作品を社員と一般市民の方にご鑑賞いただくということでした。この目的は、Web 展覧会ではほぼ実現されたと考えております。今後タブローの制作に取り掛かるとのお話であり、どのような作品に結実するのか楽しみです。リアルな絵画展の実現へ歩み出していただけそうです。

最後になりましたが、桐高・桐女の両校校長先生、原澤先生と生徒さん、本企画に賛同いただいた森壽作理事長をはじめとする役員の方々、Web 展覧会と会報誌特集号の編集をご快諾し実現していただくことになった会報委員長の坪井良廣さん（副理事長）と同委員の桑原志郎さんに深く感謝を申し上げます。原澤先生をご紹介いただいたのは桐生高校時代の恩師木本富雄先生でした。桐高の同窓会館の部屋で木本先生に本企画を説明しましたら、携帯ですぐに原澤先生を呼んでいただき、あとはとんとん拍子にことが進みました。ありがとうございました。（村田 勝俊記）

編集後記

コロナ禍の中での対応として2階大広間での開催に代わり Web での絵画展となりましたが、皆様にご覧いただく機会を設けることができました。それもこれも年末の寒い中にも関わらず、生徒さんたちが各々選ん

一般社団法人	桐生倶楽部	特別号
2020年	(令和2年)	8月発行
発行人	森 壽 作	
編集責任者	坪 井 良 廣	
監 修	村 田 勝 俊	
版下製作者	桑 原 志 郎	



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部  
TEL0277-45-2755 FAX0277-45-2980 E-mail jimukiryuclub.jp

## 《7月 月次会》

### 「コロナマスク」から 見える織都桐生 の将来



新型コロナウイルスの影響で2月の総会以来となった月次会は、マスク着用・検温・ソーシャルディスタンスを取り、食事なしと異例づくめのスタイルで執り行われた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴ってマスク不足が社会問題になる中、これをビジネスチャンスととらえ製造を始めた企業が数多くあります。ご当地桐生でも多くの業者が手を挙げて、オリジナルマスクの製造にとりかかりました。現在40社余りが、マスクの一大産地を立ち上げるべく桐生商工会議所を事務局に新しい運動を展開し始めました。7月月次会は、そのプロジェクトの中心となってお活躍されている商工会議所専務理事 石原雄二氏をお招きして、マスク全般にわたるお話をお伺いしました。プロジェクトを使って分かりやすい説明を聞くう



ちに、マスク事情が少し理解できるようになりました。「着る服に合わせたい」とファッション性への関心を示すもの、夏場に適した清涼感を感じられるもの、肌の保湿効果や抗ウイルス・抗菌・UVカットなど高度な技術を駆使した加工を施して、市場のニーズに応えた魅力あふれるマスクを作り出している。ファッション専門家からの評判も良く、桐生産地に頼めばどうにかしてくれるとの感触も得たようです。山中伸弥京大教授も、「新型コロナウイルスを地球上から撲滅することは難しい。新型コロナウイルスと共存していくことになる。」とっております。現在世界を見渡せば、新型コロナウイルスの感染は衰えるどころかさらに拡大し、世界中にその感染は広がっております。そうした観点からも、これからますますマスク需要が世界に拡大し、桐生マスクが世界市場にはばたく日が来ることを待ち望んでいます。 (岸田 信克記)

**庭先の花**

最近、庭先に咲く花をじっと眺めていることが多くなった。桐生の旧市街地西方高台に位置する青葉台に三年前から屋敷を構え、還暦を優に過ぎ老後をどう過ごすのが良いかと思案していたのであります。その矢先の令和2年3月初旬、新型コロナウイルスが地球上の全ての国の人々を感染して数日で命を失うという恐怖と危機感に襲い、その感染者数は約2か月を経て5月10日時点では世界で457万人、日本でも15千人を超えてしまった。我が国では、その感染防止措置策として3密（密閉・密集・密接）の環境下に国民を置くような社会構造組織の不要不急の外出を禁止する条例を発令。工業・商業施設だけでなく公共施設や教育・観光施設等の全ての産業・経済活動がほぼ止まり、私たちの生活スタイルも大きくその環境に適用することを余儀なくされている。正に経験こそないが大東亜戦争末期の状況下を想像するような思いであります。

さて、そんな中で先に述べたように「庭先の花」に身を寄せ、何かを感じ取ってみてはどうかとお勧めたいのであります。写真は、私の庭先に咲いた越後の山郷で入手した野草と思われるものです。写真家の“HIROYUKI”さんが撮り、私が頂いたものです。

何故こんなことを言うのだろうか？と疑問に思われるかも知れませんが、全ての人々が新型ウイルス感染の危機感に襲われ、精神的にも不安定な日常環境に置かれている状況にあると思われまます。ですから、こうした苦境の中で自己を見失



うことなく、精神的・肉体的にも安定した日々を過ごし、人生を優しく、そして正しく生き抜く力を保持することが大事と願うからこそ、あえて私なりの人生観を述べさせていただきたいと思っています。

“人”それぞれの人生は、それぞれ多種多様な劇場を演出するようなものだと考えています。そして、自分の人生を客観的に捉えながらも、予知することのできない環境変化に如何にして生抜く力を身に着けるべきか、また、意識すべきかを学んで置く必要があるのではないのでしょうか。その時、何を心の支えに生き抜くべきかと考えますに、それは究極の結論かも知れませんが、己を信じ、己を愛することに他ならないのではないのでしょうか。

近年、ある人生哲学者によれば、16世紀までは人間の精神性の素となる自己顕示力や個性の強い者（ある意味では“狂気者”）は集団社会（コミュニティー）の中での一員として認められていたそうです。むしろ、異端児であるがゆえ、極端な考えと発想を持ち尊敬もされたようでありました。しかし、18世紀以降今日に至るまで科学による産業経済の発展とともに自由社会が大きな環境を造りだしたことによって、自己顕示を主張する“狂気とも言える者”は社会から卑下され排

除されがちの傾向にあると言われるようです。

この理論は、近年のイギリス哲学者ベンサムや古代ギリシャの哲学者プラトンの人生哲学から言わせると「パノプティコン（功利主義）」と誠実「エピステーメー（新の知）」によるものであると論じられているようです。

読者に何を知っていただきたいかと言うと、人生哲学として人間が生きる力を養うために必要不可欠な精神性とは、再三、述べたように「庭先の名も知れぬ花」いや「名も知らぬ花」にも心を寄せ、じっと見つめることで何かを感じ心のやすらぎを持っていただきたいと願うものだからです。花でなくとも小さな虫や空を舞う小鳥たちでも見つめて何かを感じ取っていただける時を持っていただけることをお勧めします。

その行動の根底にあるものこそが、己を愛する心であり、新型コロナウイルス感染の恐怖感から自己を守る一つの方法と信じています。

いま、多くの人々にその時が来ていると確信しています。（関本 金三郎記）

### 惨禍を讃歌に

この度のコロナ騒動は突然襲来したように見える。実は、自然環境の急激な変化により、ある意味ではいつでも起こり得たものであった。ただ我々が経済活動の競争の激化や自然災害の頻繁さに気を取られて、その可能性に思い至らなかっただけのことである。「災害は忘れた頃にやってくる」との寺田寅彦の言葉をまたも思い知らされた。感染者数が峠を超え

た今、毎日の生活を異常と思わなくなったことに、人間の順応性を感じさせられる。しかし毎日思い切り体も動かさず、多数の人にとって対話の機会もごく限られている現在の状態はこれまでにない経験である。芸術を鑑賞する機会がほとんどなくなり、その美しさに感動する機会が皆無になってしまった。桐生倶楽部の会員の交流の機会も途絶えているが、まもなく復活することを心から願っている。現代社会は物が溢れ、経済活動の効率をいかに高めるかの熾烈な競争が繰り広げられてきた。これに対する警鐘を鳴らすものとして今回の経験を捉え、地球温暖化や有害化学物質の蓄積に歯止めを掛けたい。

ニュートンは17世紀初めのペストを避けてロンドンから故郷の田舎町に避難した時にその力学の着想を得たと言われる。小生もこの機会を有効に生かせたらと思ひ、これまでの読書習慣に加えて、しばらく遠ざかっていたヴァイオリンの練習に励むようになった。テニスの練習は桐生川や吾妻公園の散歩にとって代わった。坪庭での野菜作りも始めた。一つのこと集中するこれまでの仕事に対して色々なことを毎日こなす喜びも今回初めて知った。

音楽や絵画、映画などはビデオで楽しめるが、長時間の鑑賞では疲労と飽きが来る。現在広まっているコンピューターを利用した講義や会議での限界も認識されなければならない。人生に於ける感動と集中の体験は特に重要である。

若葉風蟄居生活三カ月

なにごとも無きかのような五月晴れ

（山口 一郎記）



## S君のこと

新型コロナウイルスのせいでSTAY HOMEを余儀なくされ、慌ただしい日常のなかに埋もれかけていた昔のことを、ふと思い出している。4年間を過ごした世田谷の上毛学舎を離れた後、次の2年間は、学生時代からの友人S君と高田馬場近くに下宿した。S君は両津高校の出身で、よく佐渡の話をしてくれたので、いつかあの島を訪れてみたいと思っていたが、それが実現したのはお互いに家庭を持ってからのことであった。

昭和50年代には、すでに関越自動車道は開通していたはずだが、なぜか旧道を行った。炎天下を長時間走り、新潟港から佐渡汽船に乗ってようやく島が見えてきたときは、幼い長女も次女も嬉しそうだった。S君は下新穂（しもにいぼ）の旧家の人だった。ほんの挨拶のつもりで立ち寄ったのだが、彼は多忙な時間を割いて、まる2日間、私たち4人を島の隅々まで案内してくれた。とりわけ、鷺崎（わっさき）で味わった海鮮料理、人影のない二ツ亀で家族どうし楽しんだ海水浴、そして安寿伝説の地達者（たっしゃ）で目にした早朝の浜辺の水揚げ風景などは、セピア色に褪せかけてはいるが、S君の笑顔とともに美しい思い出として今も脳裏に去来する。

あれから、そろそろ半世紀になるだろうか。S君との再会は、近年まめに同窓会をやるようになってからだった。浜離宮朝日ホールでの長女のピアノリサイタルにも、わざわざ佐渡から出てきてくれて、私たちの友情はさらに深まった。2年に1度の同窓会を前にした去年の4

月、常連のS君から返事がないので連絡をとって見た「きみ、元気でいいねえ。ぼく、きょう退院して来たばかりなんだよ」「そうだったの」健康を気遣いつつ、私は短い電話を切った。それからわずか2か月半、S君は忽然と旅立ってしまったのだった。親しい友との永久の別れが多くなり、無常ということを感じずにはいられないこの頃である。(下山 進平記)

## ようこそ倶楽部へ

## =新入社員紹介=

(敬称略)



石原 雄二

## =桐生倶楽部だより=

【8月】	
・正副理事長・会計理事会議	(6日)
・理事会	(11日)
・歩く会世話人会	(20日)
・長期修繕計画委員会	(29日)
【9月】	
・自衛消防訓練	(11日)
・理事会	(14日)
・歩く会世話人会	(17日)
・会報委員会	(17日)
【退会社員】	
坪野 恵治	
高松 一博(ご逝去)	

\*投稿原稿は5月現在の内容となっています。

一般社団法人 桐生倶楽部 第239号  
 2020年 (令和2年) 10月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 坪井 良 廣  
 版下製作者 桑原 志 郎



# 桐生倶楽部会報

〒376-0035 桐生市仲町2丁目9番36号 一般社団法人 桐生倶楽部  
TEL0277-45-2755 FAX0277-45-2980 E-mail jimu@kiryuclub.jp

## 紅葉の戦場ヶ原から

### 小田代ヶ原を歩く

—10月歩く会例会—

土、日曜日になると崩れる天気がこの日は太陽も顔を見せて、しばらくぶりの行動日を喜びの様子、いいハイキングになる予感。

振り返れば今年の歩く会の例会は1月の正月恒例の吾妻山以来で、2月、3月は悪天候でやむなく中止、4月以降9月まではコロナ感染拡大防止のため中止を余儀なくされて、この10月の例会は待つて待つての暫くぶりハイキング、参加していただいた皆さんありがとうございます。

予定通り6時40分出発で日光へ向かう清滝周辺から男体山頂上の冠雪（ニュースで初冠雪と）を見るなかバスは清滝の交差点へ、旅行会社からはこの時期（日光は紅葉が最高の見頃）の渋滞はつきものと聞いてはいたものの、前日のニュースで日光紅葉の見ごろと放映の影響で清滝の交差点は日光市内から中禅寺湖方面に向かう車の流れはのろのろと多く、バスも流れの中で周囲の紅葉が日に映えている中禅寺湖畔から竜頭の滝までの渋滞で戦場ヶ原・赤沼駐車場に概ね1時間の遅れで到着。出発前に全員で記念に一枚をとり小田代ヶ原に向かうグループと戦場ヶ原周辺散策グループに分かれての行

動。戦場ヶ原の草紅葉は盛りを少し過ぎてはいるが小田代ヶ原は今日が一番？

（それは見る人それぞれの感覚で）又、遠くに見える貴婦人（白樺）にあれかの声、また見上げる男体山の冠雪も昼ごろには朝の半分に減少している。コースは小田代ヶ原から泉門池・小田代橋から光徳入り口に向かいバスに乗車、湯元温泉に向かう、途中の湯滝で戦場ヶ原グループと合流して向かう湯ノ湖周辺の車窓から紅葉を見ながらホテル着、昼食・入浴・地域共通クーポン券の使用の後帰路。帰路も湯元から竜頭の滝から華厳の滝までは渋滞気味ののろのろで清滝交差点まで約2時間、約1時間の遅れの桐生着になりましたが「奥日光・戦場ヶ原・紅葉・中禅寺湖・湯ノ湖・男体山初冠雪・グループハイク」と今日一日が参加された皆さんそれぞれにとって楽しいハイキングになったことと思います。

（追記）

今回のハイキングはGOTOトラベルの割引対象で事業として実施しました。利用した赤城観光のバスはコロナ対策対応の自動車内換気の新バスで、座席は密にならない様に原則2人席を1人席利用で実施しました。（新井 晴夫記）



## 河岸段丘の街・沼田

—ぶらりまち歩き10月例会—

国内でも美しいと云われ教科書にも載る「河岸段丘の街・沼田」をぶらり。この沼田には中心市街地の上町（うわまち）と下町（したまち）の標高差約80mに大きな坂が三つあります。まずは国道17号から上る「遊覧坂」、榛名神社前を通る「榛名坂」、JR沼田駅前からの「滝坂」の3本です。今回は沼田城址公園前の観光案内所駐車場に車を止めて榛名坂を下り、滝坂を上りその後中心市街地を少しぶらりの予定。職員の方にいろいろ尋ねると、榛名坂には生活・通学路と利用している道があると聞き早速出発。民家脇から細い急な坂道・階段を右に左と曲がりトンネルで榛名坂を潜りさらに急坂から下に見える家並みを見ながらとっと、とっと一気に下ってJR沼田駅前に到着。一息入れて今度は上町に戻るために駅前から真っ直ぐに伸びる滝坂を上る。この坂も途中で歩行者利便の屋根付の階段道が中心市街地への近道で、年配の買い物帰りの方にお聞きすると、用事のある時は往きはバスで帰りは歩くのかなと云っていた。階段から坂道を上がり右の交差点が国道120号沿いの中心市街地「上之町（かみのちょう）、中町（なかまち）、下之町（しものちょう）」の下之町の入り口で、すぐ前に大きな建物が見える。行ってみると歴史資料展示館とあったので見学。館内の模型で沼田を見ると西の利根川、南の片品川、北の薄根川の三つの川に囲まれた段丘はきれいで美しい台地となっている。また驚いたのがこの建物で、ここがテラス沼田として

「賑わいの拠点」、「市民活動の拠点」、「安全・安心の拠点」の三つをテーマに「明日の沼田をつくる元気づくりの拠点」を目指す（テラス沼田から引用）とある複合の市役所庁舎で、去年五月にオープンと聞いたこと。え！ここが市役所と本当に驚きと共にいいねーの感じで素晴らしい。（この建物は再開発事業の複合商業施設として建てられ、いろいろと複雑な変遷の後、沼田市が所有して今に至っているので興味ある方は調べてみてください。）新築でなく既存建物の改修で中心市街地の一角に市庁舎があるのもいいね。



ぶらりと中町へ、江戸後期創業約200年の呉服屋さんからお話を聞くことができました。沼田は通りの幅は

11メートル（約6間）、間口の単位は3間で呉服店さんは間口6間、奥行36間で店蔵づくり立派なお店、今後は区画整理が行われ通りは幅員18メートルに拡張されるとか。次は焼きまんじゅうの老舗東見屋さんへ創業は江戸後期で約200年、焼きまんじゅう（店内の飲食自粛）を買い求め、川場・道の駅「田園プラザ」へ移動して自由昼食時に食べる、美味しい。帰路は沼田大間々線で途中のりんご園に立ち寄る。名前が「アンナプルナりんご園」と云うので何故と聞いたところ、ヒマラヤで8,000m級の山・2峰の登山経験があるのでこの名前にと。

今日は桐生からみどり市、前橋市、渋川市、赤城町、昭和村で片品川まで下り橋を渡り沼田市街へと坂道を上り、帰りは川場村から沼田市、みどり市から桐生

と赤城山麓を大きく一周して概ね予定通りに帰着。

知らない街を歩いてみたい・・・と歌詞にあるように、知らない街は「見るもの」、「聞くもの」が新鮮な感じがするからいい。知っていても歩いてみないとわからないので年に1、2回市外の街をぶらりも新鮮。 (新井 晴夫記)

### 「ブータン王国の思い出」(1)

2009年のある日、森口先輩から「ブータンに行こう」とのお誘いを受けた。

「ブータン」ですか、鎖国ではないですか？ 小学校か中学校の授業での記憶では、ヒマラヤ山脈の中腹に「ネパール」と「ブータン」いう国があるのは記憶の隅にあったが、「ブータン」は鎖国中ということで何も説明が無かったように記憶していた。最近制限付きで解放され訪問旅行ができるようになったとのこと。

ヒマラヤ山脈の雪山が観られるかという単純な思いで、お誘いを受けることになり、10月22日出発の「ブムタン谷を訪ねて9日間」というツアーに申し込んだ。10月22日に成田空港にて出発前の手続きをし、航空チケットを受け取る。今回のツアー参加者は我々2名のみとのこと！！ 11:00のタイ国際航空にてバンコクに行き前泊するとのこと。翌朝(23日3:00起床)5:50便にて出発し、ダッカ空港(バングラデッシュ)到着して機内待機(給油のためか)40分その後の再出発。山あいの峡谷をぬって飛行し、約1時間後にブータン唯一のパロ空港に着陸した。滑走路も短いので大

型のジェット機の進入、着陸はとても無理のようです。

入国手続きを終えてロビーに出てゆくと、民族衣装を着た現地ガイドとドライバーさんが出迎えてくれた。旅行者2名に現地スタッフ2名という豪華ツアー(?)となった。公務員、学生と観光関係者は民族衣装着用が義務付けられているとのことだった。

4WDのジープタイプの車で出発、山岳地なので道がせまく、カーブが多いのでマイクロバスより大型の車は通行不可とのこと。ツアー客は我々2名なので、好きなどころで止めてもらえてとっても便利。日本車は大人気とのこと(インドに工場のあるスズキ車が多い)、マイクロバスはインドの”タタ”製が多かった。ガイドと共にヒマラヤの展望台”ドチュ・ラ(峠)(3,150m)(ヒマラヤ山脈は見えぬ)を超え一気に標高約1,300mのワンデュボタン(中央部)(ブータンを代表する稲作地帯とのこと)へ行き宿泊。翌日は中央部のブムタン地方に行く。途中マーケットに立ち寄る。



独特の様式の仏教施設もあった。ブータンには特別な観光施設はなく、自然、

風俗習慣、ゾン(僧院+官公庁)、仏教関係施設、田園風景を観て回ることになる。

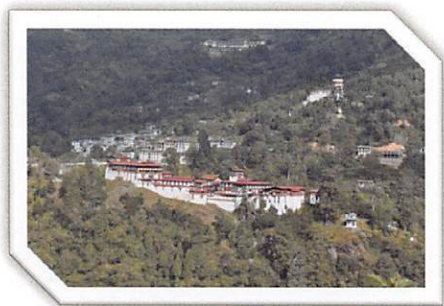


青空マーケットにも立ち寄り見学した。作物は量り売りのようで、懐かしい天秤計りが使われていた。見学後ペレ・ラ峠(3,360m)を超えてブムタン谷の中心地ジャカルへ向かう。写真は途中立ち寄った食堂の様子。食堂、売店の従業員



員はすべて英語で対応する、当方のブロン・イングリッシュよりレベルが高い。細かいところや現地語はガイドが通訳してくれるので困ることはなかった。小学校から大学まで授業はすべて英語で授業料は大学まですべて無料(国費)とのことである。

再出発し途中のペレラ峠(3,360m)を超え東西ブータンの要衝のトンサ地区につくと、川の向こう岸に大きな白い建物「トンサ・ゾン」が観えた。



「ゾン」は宗教施設と行政府が半々になっている建物の名称とのことで、単なる僧院や寺院は「ラカンとかゴンパ」というらしい。上方斜面には「タ・ゾン」(元は出城で現在は博物館)が見えた。続きは次回会報にて。(吉田 章記)

**クリスマス祭・新年互礼会**

**中止のお知らせ**

未だ感染拡大が治まらず全世界に大きな被害をもたらせております。新型コロナウイルス感染拡大防止し、社員の皆様の健康・安全を第一に考慮いたしました。クリスマス祭・新年互礼会を中止する事が理事会で決定されました。

《お知らせ》

事務局の勤務時間  
 月曜日 10:00~16:00  
 火曜日 10:00~16:00  
 水曜日 休み  
 木曜日 10:00~16:00  
 金曜日 10:00~16:00  
 土・日・祝祭日 休み  
 (貸館は今まで通りです。)



**= 桐生倶楽部だより =**

【10月】

- ・ 囲碁部会毎週土曜日の対局再開 (3日)
- ・ 正副理事長会議 (6日)
- ・ 理事会 (13日)
- ・ 文化資産小委員会 (14日)
- ・ 歩く会例会「日光戦場ヶ原・紅葉の湿原ハイキング」 (18日)
- ・ 長期修繕計画委員会 (19日)
- ・ 歩く会世話人会 (22日)
- ・ ぶらりまち歩き部会例会「河岸段丘の街・沼田」 (31日)

【11月】

- ・ 理事会 (9日)
- ・ 歩く会例会「赤城鈴ヶ岳」 (15日)
- ・ 美術部会 (19日)
- ・ 歩く会世話人会 (20日)
- ・ 会報委員会 (26日)

【退会社員】

清水宏康

一般社団法人 桐生倶楽部 第240号  
 2020年(令和2年) 12月発行  
 発行人 森 壽 作  
 編集責任者 坪井 良 廣  
 版下製作者 桑原 志 郎

2020年12月吉日

桐生倶楽部 社員の皆様へ

一般社団法人桐生倶楽部

絵画展開催のお知らせ

このたび、「桐生倶楽部会館創建100周年記念企画 桐高・桐女美術部合同展」を12月12日(土)、13日(日)の午前10時から午後17時まで桐生倶楽部会館別館にて開催いたしますのでご案内申し上げます。桐生倶楽部会館創建100年目の昨年12月に両校美術部のスケッチが開始され、8月には当倶楽部ホームページ上で桐生倶楽部のスケッチと自由画のウェブ展覧を行って来ましたが、今般、それをもとにさらに充実した展覧会を開催することとなりました。下記のとおり、コロナ対策を講じて実施いたしますのでご理解、ご協力をお願い致します。なお、会館南面の修繕工事を行っておりますのでご来館の際には工事現場等への立ち入りはしないようお願いいたします。

【お 願 い】

群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」に基づく要請(11月28日(土)以降)を遵守して当館は新型コロナ感染拡大防止を行いますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

1. 来館時に検温を実施し体温が37.0度を超える方は入館をご遠慮いただきます。発熱のほか体調のすぐれない場合は来館を控えていただきます。
2. 緊急連絡先用紙に住所、氏名、電話番号等の記入をしていただきます。
3. 会館各室での一定の人数までの入室制限をさせていただきます。
4. 出入口や館内に設置の消毒液によるこまめな手指消毒をお願いします。
5. マスクの着用が必要です。
6. 咳エチケットの遵守していただきます。
7. 会話は控えめに、大声はご遠慮ください。飲食禁止です。
8. 近くの方とおよそ2メートルの間隔を空けての利用願います。
9. 適時換気を実施します。



## 桐生倶楽部・歩く会 2021年 計画表

	行き先	テーマ・見所	交通	担当
1月10日 第2日曜	吾妻山	正月恒例山行	吾妻公園 駐車場集合	吉田 腰塚
2月21日 第3日曜	八王子丘陵	地元広沢の里山歩きと 彦部屋敷散策	市バス	新井 栗原
3月28日 第4日曜	太平山	桜と藤信平の眺望	JR	栗原 吉田
4月11日 第2日曜	経塚山	地元川内の里山歩き	市バス	腰塚 新井
5月2日 第1日曜	熊鷹山 根本山	ミツバツツジ、アカヤシオ、 シロヤシオ	自家用車分乗	山口 岸田
6月6日 第1日曜	赤城、荒山 鍋割山	レンゲツツジ	マイクロバス	岸田 栗原
7月25日 第4日曜	車山高原と 八島ヶ原湿原	日本百名山 霧ヶ峰 高山植物の宝庫	小型バス	武井 吉田 栗原
9月12日 第2日曜	西上州 荒船山	日本200名山 軍艦を思わ せる特徴的な山容	マイクロバス	腰塚 岸田
10月3日 第1日曜	尾瀬ヶ原	紅葉の湿原歩き	小型バス	山口 武井 新井
11月21日 第3日曜	榛名山	紅葉と眺望	マイクロバス	腰塚 岸田
12月12日 第2日曜	東京方面		小型バス	山口 武井 新井

1. 月毎の詳しいスケジュールは各月の案内にてお知らせします。ご参加お待ちしております。

2. 「歩く会」世話人は下記の7名です。

担当理事：岸田信克

世話人代表栗原信治、副代表吉田章(会計)

世話人：腰塚富夫、新井晴夫、武井弘美、山口一郎